

別 表

遺 構

別表 1	竪穴建物跡一覧表	52
別表 2	土坑一覧表	57
別表 3	縄文時代土坑一覧表	60
別表 4	縄文時代その他の遺構一覧表	61
別表 5	中世以降その他の遺構一覧表	61

遺 物

別表 6	土器観察表	62
別表 7	中世土器観察表	70
別表 8	縄文時代土器観察表	71
別表 9	土製品観察表	71
別表 10	鉄製品観察表	73
別表 11	石製品・石器観察表	73
別表 12	縄文時代・旧石器時代石器観察表	74

別 表 1

竪 穴 建 物 跡 一 覧 表

N 76－S I 8 A・B		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査			
図面二～五，図版一～四					
建物	グ リ ッ ド プ ラ ン 主 軸 規 模	N 76 (50, 45～47) N 77 (1, 45～47) 区。 方形。 N－4°－E。 南北 4.00 (4.24) × 東西 3.68 (4.00) m。			
	竈 壁	北壁中央に位置する(竈 A)。東壁中央に古い竈(竈 B)が位置する。 高さ最大 82cm。ほぼ垂直に立ち上がり，東壁はやや斜めに立ち上がる。			
	ピ ッ ト 周 溝	2 個(床下より検出)。 古い周溝が全周する。幅 16～24cm・深さ 8～16cm。			
	床 掘 り 方 備 考	ほぼ全面貼り床。ほぼ全面が強く，周辺部はやや軟弱。壁際は素掘り。 全体を深く掘り込み，西側・北東・北西隅部を深く掘り窪める。 南東隅部上部，南西隅部上部を攪乱に切られ，竈 A 内でピットを切る。古い建物跡 S I 8 B の南壁を除く全ての壁面を拡張して新しい建物跡 S I 8 A がつくられる。掘り方底面に U 字状の鋤痕が残る。覆土上層に遺物が集中して出土。			
	位 置 用 材 中 央 部 軸 長 壁 掘 り 込 み 床 掘 り 込 み 奥 壁 煙 道 両 袖 部 内 幅 内 方 張 り 出 し 火 床	北壁中央。 白色砂質粘土。 108 (108) cm。 U 字形に 68cm。 不整形に 20cm。 65～90°で立ち上がる。 不明。 40cm。 右 8・左 16cm。 建物床面より 12cm低い。	竈 B	位 置 用 材 中 央 部 軸 長 壁 掘 り 込 み 床 掘 り 込 み 奥 壁 煙 道 両 袖 部 内 幅 内 方 張 り 出 し 火 床	東壁中央。 白色砂質粘土。 1.08 (1.08) cm。 凸字形に 60cm。 不整形に 8 cm。 75～82°で立ち上がり，上部を攪乱される。 不明。 44cm。 不明。 不明。

N 76－S I 9		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査		
図面五・六，図版五・六				
建物	グリッド プラン 主軸 規模 竈壁 ピット 周溝 床掘り 掘備	N 76（48・49，46・47）区。 方形？ N－5°－E。 南北 3.68（3.92）×東西 3.20（3.20）以上m。 北壁中央に位置する。 高さ最大 40cm。やや斜めに立ち上がる。 なし。 巡る。幅 16～25，深さ 8～12cm。 全面貼り床。ほぼ全面が強く，周辺部は軟弱。 全体的に平坦に掘り込むが，中央部がやや浅い。 北周辺部・西周辺部は調査区外に位置し，北西壁で S K 11 を切る。東壁沿い周溝内に壁柱穴 5 個伴う。		
	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	北壁中央？ 白色砂質粘土。 80（88）以上cm。 不明。 不整形に 44cm。 不明。 不明。 64cm。 右 20・左 24cm。 建物床面とほぼ同じ。	竈 備 考	掘り方底面に U 字状の鋤痕が 3 箇所残る。
N 76－S I 10		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査		
図面七・八，図版六～九				
建物	グリッド プラン 主軸 規模 竈壁 ピット 周溝 床掘り 掘備	N 76（50，40・41） N 77（1，40・41）区。 方形。 N－102°－E。 南北 2.96（3.12）×東西 3.60（3.76）m。 東壁中央南寄りに位置する。 高さ最大 48cm。ほぼ垂直に立ち上がる。 2 個。 全周する。幅 16～24，深さ 5～12cm。 全面貼り床。中央部南寄りのみ強く，そのほかは軟弱。 中央部を浅く平坦に掘り込み，竈手前を一段深く掘り込む。 ピットを切る。掘り方底面に U 字状の鋤痕が残る。炭化材が覆土下層に混入する。		
	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	東壁中央南寄り。 白色砂質粘土。 104（104）cm。 V 字形に 52cm。 不整形に 28cm。 62～75°で立ち上がる。 径 16cm の煙道がある。 64cm。 右 20・左 16cm。 建物床面よりやや低い。	竈 備 考	火床面より奥壁寄りの底面上に立石した砂岩礫に底部穿孔・胴部打ち欠きされた土師器甕が逆位に覆い被された状態で出土。

N 76－S I 11		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査		
図面九・一〇・一二，図版九・一〇				
建物	グリッド プラン 主軸 規模	N 76（47～49，41・42）区。 方形。 N－96°－E。 南北 3.20（3.36）×東西 3.04（3.12）m。 東壁中央南寄りに位置する。 高さ最大 40cm。ほぼ垂直に立ち上がる。		
	竈壁 ピット 周溝 床掘り 掘り方 備考	1 個。 全周する。幅 16～32，深さ 8～16cm。 全面貼り床。竈手前から中央部のみ堅く，そのほかはやや軟弱。 全体的に平坦に掘り込む。 N 76－S I 12 を切る。掘り方底面に，床下粘土土坑を掘り込む。		
竈	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	東壁中央南寄り。 白色砂質粘土。 88（256）cm。 V 字形に 52cm。 楕円形に 20cm。 上部で浅い段を有し，段下 60～72°で立ち上がった後，32°で立ち上がる。 不明。 44cm。 右 28・左 20cm。 建物床面とほぼ同じ。	竈 備 考	
N 76－S I 12		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査		
図面一一・一二，図版一一・一二				
建物	グリッド プラン 主軸 規模	N 76（47～49，41・42）区。 方形。 N－6°－E。 南北 3.36（3.60）×東西 3.92（4.08）m。 北壁中央東寄りに位置する。 高さ最大 40cm。ほぼ垂直に立ち上がる。		
	竈壁 ピット 周溝 床掘り 掘り方 備考	なし。 なし。 全面貼り床。竈左袖手前のみ堅く，そのほかは軟弱。 全体的に浅く平坦に掘り込む。 N 76－S I 11 に切られる。		
竈	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	北壁中央東寄り。 白色砂質粘土。 68（68）cm。 U 字形に 64cm。 不整形に 8cm。 56°で立ち上がる。 不明。 48cm。 右 4・左 8cm。 不明。	竈 備 考	

N 76－S I 13		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査		
図面一三，図版一二・一三				
建物	グリッド プラン 主軸 規模 竈壁 ピット 周溝 床 掘り方 備考	N 76（46，42・43）区。 方形？ N－80°－E。 南北 2.64（2.88）×東西 1.04（1.20 以上）m。 東壁中央南寄りに位置する。 高さ最大 32cm。やや斜めに立ち上がる。 なし。 巡る。幅 6～16，深さ 8cm。 全面貼り床であるが，北側は素掘りに近い。ほぼ全面が堅く，周辺部はやや軟弱。 全体を浅く掘り込み，南側は一段深く掘り込む。 西側は調査区外に位置する。南側を S K 9 に切られる。床下より，白色砂質粘土が充填された箇所を検出。		
	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	東壁中央南寄り。 白色砂質粘土。 68（68）cm。 V字形に 48cm。 不整形に 8cm。 58～73°で立ち上がる。 不明。 44cm。 右 16cm・左不明。 不明。		
N 76－S I 14		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査		
図面一四～一六，図版一四～一六				
建物	グリッド プラン 主軸 規模 竈壁 ピット 周溝 床 掘り方 備考	N 76（49・50，43・44） N 77（1，43・44）区。 方形。 N－94°－E。 南北 4.24（4.72）×東西 4.08（4.32）m。 東壁中央南寄りに位置する。 高さ最大 75cm。ほぼ垂直に立ち上がる。 4 個（全て支柱穴）。 全周する。幅 16～24，深さ 9～14cm。 全面貼り床。中央部から竈手前のみ堅く，そのほかはやや軟弱。 全体を平坦に掘り込み，北側を一段深く掘り込む。 竈上部を S K 65 に，南壁上部を攪乱に切られ，S I 15 A・B を切る。		
	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	東壁中央南寄り。 白色砂質粘土。 180（192）cm。 V字形に 92cm。 不整形に 52cm。 奥壁部は，段を有し，段下 40°で立ち上がった後，56°で立ち上がる。 径 16cmの煙道がある。 88cm。 右 39・左 2cm。 建物床面とほぼ同じ。		

N 76－S I 15 A・B		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査	
図面一六～一八，図版一六～一八			
建物	グリッド プラン 主軸 規模 竈壁 ピット 周溝 床 掘り 備考	N 76 (49・50, 43～45) N 77 (1, 43～45) 区。 方形？ N－8°－E。 南北 3.80 (3.84) 以上×東西 4.32 (4.56) m。 北壁中央に位置する。 高さ最大 50cm。やや斜めに立ち上がる。 6 個。(うち, 4 個が S I 15 A 主柱穴, 2 個が S I 15 B の柱穴。) 巡る。新旧ともに幅 16～24cm, 深さ 5～7 cm。 全面貼り床。竈手前のみ堅く, そのほかはやや軟弱。 全体的に平坦に掘り込み, 中央部から南側が一段深く掘り込まれる。 南側を S I 14 に, 中央部北東寄りをピットに切られ, 竈内でピットを切る。古い建物跡 S I 15 B の東西壁・南壁を拡張して新しい建物跡 S I 15 A がつくられる。	
	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	北壁中央。 白色砂質粘土。 100 (100) cm。 凸字形に 76cm。 不整形に 12cm。 75°で立ち上がる。 径 32cmの煙道がある。 52cm。 右 20・左 8cm。 建物床面とほぼ同じ。	竈 備 考
N 76－S I 16		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査	
図面一九・二〇，図版一八・一九			
建物	グリッド プラン 主軸 規模 竈壁 ピット 周溝 床 掘り 備考	N 76 (46・47, 38～40) 区。 方形。 N－1°－E。 南北 3.12 (3.28) ×東西 3.28 (3.44) m。 北壁中央西寄りに位置する。 高さ最大 62cm。ほぼ垂直に立ち上がる。 なし。 全周する。幅 8, 深さ 8～16cm。 全面貼り床。竈手前から南壁中央寄りまで堅く, そのほかはやや軟弱。 全体的に平坦に掘り込む, 周辺部をやや深く掘り込む。 南西隅下部を攪乱に切られる。	
	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	北壁中央西寄り。 白色砂質粘土。 88 (68 以上) cm。 V 字形に 56cm。 不整形に 8 cm。 55°～65°で立ち上がる。 なし。 72cm。 右 42・左 40cm。 建物床面とほぼ同じ。	竈 備 考

N 77－S I 42		府中市八幡町三丁目 17－1 地内集合住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査		
図面二一・二二，図版二〇・二二				
建物	グリッド プラン 主軸 規模	N 77（3・4，47・48）区。 方形？ N－12°－E。 南北 2.88（3.12）以上×東西 3.44（3.45）m 以上。		
	竈壁 ピット 周溝 床 掘り 備考	北壁？ 高さ最大 64cm。ほぼ垂直に立ち上がる。 1 個。 巡る。幅 12～24，深さ 4～16cm。 全面貼り床。ほぼ全面が堅く，周辺部はやや軟弱。 全体的に平坦に掘り込む，周辺部はやや深く掘り込む。 北・東周辺部は調査区外に位置する。南周辺部で S K 57 を切る。		
竈	位置 用材 中央部軸長 壁掘り込み 床掘り込み 奥壁 煙道 両袖部内幅 内方張り出し 火床	北壁？ 白色砂質粘土。 不明。 不明。 不明。 不明。 不明。 不明。 不明。 不明。 不明。	竈 備考	調査区外に位置し，詳細は不明。

別 表 2			
土 坑 一 覧 表			
遺 構 名・グリッド	図面・図版	プラン・規模	備 考
N 76 - S K 8 N 76 (50, 47) 区	図面二三 図版二一	楕円形 深さ 0.28 m 長軸 0.76 m×短軸 0.60 m	
N 76 - S K 9 N 76 (46, 42) 区	図面二三 図版二一	不整形 深さ 0.54 m 長軸 0.52 m 以上×短軸 0.92 m	西側は調査区外に位置する。S I 13 を切る。
N 76 - S K 11 N 76 (48, 47) 区	図面二三 図版二二	不明 深さ 0.44 m 長軸 0.84 以上 m×短軸 0.32 以上 m	北側は調査区外に位置する。S I 9 に切られる。

遺 構 名・グリッド	図面・図版	プラン・規模	備 考
N 76 - S K 12 N 76 (46・47, 40) 区	図面二三 図版二二	楕円形 深さ 0.40 m 長軸 2.00 m×短軸 1.00 m	
N 76 - S K 13 N 76 (48, 38・39) 区	図面二三 図版二二	楕円形 深さ 0.24 m 長軸 1.12 m×短軸 0.64 m	
N 77 - S K 57 N 77 (4, 46・47) 区	図面二三 図版二三	楕円形? 深さ 0.24 m 長軸 1.48 m×短軸 0.60 以上m	S I 42 に切られる。
N 77 - S K 58 N 77 (3, 47) 区	図面二三 図版二四	楕円形 深さ 0.32 m 長軸 1.00 m×短軸 0.80 m	
N 77 - S K 59 N 77 (1・2, 47) 区	図面二三 図版二四	楕円形 深さ 0.36 m 長軸 1.40 m×短軸 1.04 m	攪乱に切られる。
N 77 - S K 60 N 77 (1・2, 47) 区	図面二三 図版二四	楕円形 深さ 0.48 m 長軸 1.12 m×短軸 1.00 m	底面に楕円形の窪みを伴う。
N 77 - S K 61 N 77 (1, 46) 区	図面二三 図版二四	円形 深さ 0.24 m 径 0.44 ~ 0.48 m	
N 77 - S K 62 N 77 (3・4, 45・46) 区	図面二三 図版二五	隅丸方形 深さ 0.40 m 長軸 1.20 m×短軸 0.88 m	
N 77 - S K 63 N 77 (1・2, 47・48) 区	図面二三 図版二五	楕円形? 深さ 0.36 m 長軸 2.28 以上m×短軸 2.24 m	北側は調査区外に位置する。底面東側に窪みを伴う。
N 77 - S K 64 N 77 (4, 45) 区	図面二三 図版二五	隅丸方形 深さ 0.52 m 長軸 1.16 m×短軸 0.88 m	
N 77 - S K 65 N 76 (50, 43) N 77 (1, 43) 区	図面二三 図版二五	類円形 深さ 0.20 m 径 1.08 ~ 1.12 m	S I 14 を切る。
N 77 - S K 66 N 77 (3, 46) 区	図面二三 図版二六	不整楕円形 深さ 0.36 m 長軸 0.92 m×短軸 0.64 m以上	攪乱に切られ, S K 72 を切る。
N 77 - S K 67 N 77 (2, 46) 区	図面二三 図版二六	円形 深さ 0.36 m 径 0.52 m	

遺 構 名・グリッド	図面・図版	プラン・規模	備 考
N 77 - S K 68 N 77 (2, 42) 区	図面二四 図版二六	楕円形 深さ 0.36 m 長軸 1.44 m×短軸 0.32 m	
N 77 - S K 69 N 77 (3, 45) 区	図面二四 図版二六	楕円形 深さ 0.40 m 長軸 0.96 m×短軸 0.80 m	西壁面一部攪乱に切られる。
N 77 - S K 70 N 77 (3・4, 45) 区	図面二四 図版二七	類円形 深さ 0.28 m 径 0.56 ~ 0.64 m	西側上部を攪乱に切られる。
N 77 - S K 71 N 77 (1, 46) 区	図面二四 図版二七	楕円形 深さ 0.24 m 長軸 0.84 m×短軸 0.48 m	
N 77 - S K 72 N 77 (3, 46) 区	図面二三 図版二七	不整楕円形? 深さ 0.28 m 長軸 0.76 m×短軸 0.40 m	N 77 - S K 66 に切られる。
N 77 - S K 73 N 77 (3, 45・46) 区	図面二四 図版二七	隅丸方形 深さ 0.32 m 長軸 1.28 m×短軸 1.12 m	
N 77 - S K 74 N 76 (50, 41) N 77 (1, 41) 区	図面二四 図版二八	類円形 深さ 0.29 m 径 0.88 ~ 0.96 m	
N 77 - S K 75 N 77 (1, 41) 区	図面二四 図版二八	楕円形 深さ 0.40 m 長軸 0.64 m×短軸 0.48 m	
N 77 - S K 76 N 77 (1・2, 42) 区	図面二四 図版二八	楕円形 深さ 0.32 m 長軸 1.36 m×短軸 0.72 m	攪乱に上部を切られる。
N 77 - S K 77 N 77 (3, 41) 区	図面二四 図版二八	円形 深さ 0.40 m 径 0.62 ~ 0.64 m	
N 77 - S K 79 N 77 (1, 38) 区	図面二四 図版二九	楕円形 深さ 0.40 m 長軸 0.72 m×短軸 0.56 m	
N 77 - S K 80 N 77 (2, 35) 区	図面二四 図版二九	方形? 深さ 0.24 m 長軸 1.04 m以上×短軸 0.80 m以上	西側と東側は調査区外に位置する。
N 77 - S K 81 N 77 (2・3, 39) 区	図面二四 図版三〇	円形 0.24 m 径 0.54 ~ 0.56 m	南側上部を攪乱に切られる。

別表 2 - 4

遺構名・グリッド	図面・図版	プラン・規模	備 考
N 77 - S K 82 N 77 (2, 37) 区	図面二四 図版三〇	類円形 深さ 0.24 m 径 0.46 ~ 0.48 m	

別表 3 - 1

<p>別 表 3</p> <p>縄 文 時 代 土 坑 一 覧 表</p>			
遺構名・グリッド	図面・図版	プラン・規模	備 考
N 76 - S K 10 N 76 (47・48, 44) 区	図面二五 図版二二	類円形 深さ 0.36 m 径 0.72 ~ 0.80 m	
N 76 - S K 14 N 76 (49, 39) 区	図面二五 図版二三	楕円形 深さ 0.40 m 長軸 0.80 m × 短軸 0.60 m	
N 76 - S K 15 N 76 (48, 35) 区	図面二五 図版二三	楕円形? 深さ 0.60 m 長軸 0.68 m 以上 × 短軸 1.04 m	南側は調査区外に位置する。底面に不整形の窪みを伴う。
N 76 - S K 16 N 76 (50, 35) 区	図面二五 図版二三	類円形 深さ 0.44 m 径 0.52 ~ 0.60 m	
N 77 - S K 78 N 77 (1・2, 44・45) 区	図面二五 図版二九	楕円形 深さ 0.72 m 長軸 1.84 m × 短軸 1.04 m	落とし穴? 東側と南東側を撓乱に切られる。

別 表 4

縄文時代その他の遺構一覧表

遺構名・グリッド	図面・図版	規 模	備 考
N 76 - S X 5 N 76 (50, 37) 区	図面二五 図版三〇・ 三一	円形 深さ 0.41 m 径 1.00 ~ 1.02 m	集石土坑。
N 76 - S X 6 N 76 (45, 37) 区	図面二五 図版三一・ 三二	類円形 深さ 0.12 m 径 0.72 ~ 0.80 m	集石土坑。

別 表 5

中世以降その他の遺構一覧表

遺構名・グリッド	図面・図版	規 模	備 考
N 77 - S X 15 N 77 (2・3, 36 ~ 38) 区	図面二六 図版三二・ 三三	不明 深さ 0.16 m 長軸 1.96 m × 短軸 0.52 m 以上	東側は調査区外に位置する。 全容は不明であるが、竪穴状遺構の可能性が ある。

別 表 6

土 器 観 察 表

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
1001 図面二七 図版三四	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	15.4 3.7 —	平らな底部から体部・口縁部は内湾 気味に立ち上がる。外面は口縁部が ヨコナデ、体部・底部がヘラケズリ。 内面はミガキ。一部の破片に、他と全 く色調の異なるものあり。北武蔵型。	橙色。軟らかい。普 通。砂粒微粒やや多 量、赤色スコリア少 量、石英微量。	口縁部少量欠 損。覆土。
1002 図版三四	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	(16.2) (3.0) —	体部・口縁部は内湾して立ち上がる。 外面はナデ。体部に輪積み痕を残す。 内面はミガキ。北武蔵型。	橙色。軟らかい。普 通。砂粒微粒やや多 量、石英少量、赤色ス コリア少量、白色ス コリア微量。	口縁～底部 1/4 残存。覆土。
1003 図面二七 図版三四	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	12.1 2.6 —	平らな底部から体部は内湾気味に立 ち上がり、口縁部はほぼ直立する。外 面は口縁部がヨコナデ、体部・底部が ヘラケズリ。内面はヨコナデ・ナデ。 北武蔵型。	褐色。軟らかい。普 通。角閃石・石英微 量・砂粒微粒多量。	口 縁 ～ 体 部 1/8, 底部 1/2 弱残存。覆土。
1004 図面二七 図版三四	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	15.3 3.4 —	平らな底部から体部・口縁部は内湾 気味に立ち上がる。外面は口縁部が ナデ、体部・底部がヘラケズリ。内面 はミガキ。体部外面に輪積み痕を残 す。底部外面に線刻「十」ヘラ記号 B。一部の破片に、他と全く色調の異 なるものあり。北武蔵型。	外面：褐色、内面：黒 褐色。軟らかい。普 通。砂粒微粒少量、赤 色スコリア少量、角 閃石微量。	1/2 弱残存。覆 土。
1005 図面二八 図版三五	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	— (0.8) —	平らな底部。外面はヘラケズリ。内面 はミガキ。外面に線刻「十」ヘラ記号 B。北武蔵型。	明赤褐色。軟らかい。 普通。赤色スコリア 少量。砂粒微粒やや 多量。	底部少量残存。 覆土。
1006 図面二八 図版三五	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	— (1.1) —	平らな底部。外面ヘラケズリ。内面ナ デ。外面に線刻「十」ヘラ記号 B。	にぶい赤褐色。軟ら かい。普通。砂粒微粒 多量・赤色スコリア 微量・白色スコリア 微量。	底部 1/4 残存、 体下部少量残 存。覆土。
1007 図面二八 図版三五	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	13.6 2.7 8.7	平らな底部から体部・口縁部は外上 方に立ち上がる。口縁部・体部は内外 面ともヨコナデ、底部は外面が全面 回転ヘラケズリ、内面がナデ。全面赤 彩。平底盤状坏。	暗赤褐色。軟らかい。 普通。砂粒微粒やや 多量。	口縁部～体部 1/8 強, 底 部 3/4 弱残存。覆 土。
1008 図面二八 図版三五	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	15.1 (3.5) —	丸みを帯び、体部と一体となった底 部から、口縁部は直線的に短く立ち 上がり、口唇部が外傾する。口唇部内 面は沈線状となる。外面は口縁部が ヨコナデ、底部がヘラケズリ。内面は ナデ。続比企型。	赤褐色。やや硬い。普 通。赤色スコリアや や多量、砂粒大粒微 粒、砂粒微粒やや多 量。	口縁部 1/4 強、 体部～底部 1/8 残存。覆土。
1009 図面二八 図版三五	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	13.2 (3.0) —	丸みを帯びる底部から体部・口縁部 は外上方へ直線的に立ち上がる。外 面は口縁部・体部がヨコナデ、底部が ヘラケズリ。内面はヨコナデ。体部外 面に輪積み痕を残す。口縁部・体部の 内外面を赤彩。落合型。	にぶい橙色。軟らか い。普通。赤色スコ リア微量、砂粒微粒多 量、石英微量。	口縁部 1/4 強、 体部 1/8 残存。 覆土。

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
1010 図面二八 図版三五	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	15.0 6.0 —	平らな底部から体部・口縁部は内湾 気味に立ち上がる。外面は口縁部・体 部が横位のミガキ、底部がヘラケズ リ。内面はミガキ。一部の破片に、他 と全く色調の異なるものあり。甲斐 V期・定型化以前の甲斐型坏。	明赤褐色。軟らかい。 普通。赤色スコリア 少量、白色スコリア 微量、砂粒微粒少量。	口縁部 5/8, 体 部 3/4 弱, 底部 1/2 強残存。覆 土。
1011 図面二九 図版三六	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	15.1 4.1 —	丸みを帯びる底部から稜をもって内 湾気味に立ち上がる口縁部に続く。 外面は口縁部がヨコナデ、底部がヘ ラケズリ。内面はミガキ。内面黒色処 理。東北系。	にぶい橙色。軟らか い。普通。角閃石少 量、砂粒微粒やや多 量、砂粒大粒微量、雲 母少量。	口縁～体部 1/2 弱, 底部 5/8 残 存。覆土。
1012 図面二九 図版三六	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	17.0 4.6 —	丸みを帯びる底部から稜をもって内 湾気味に立ち上がる口縁部に続く。 外面は口縁部がヨコナデ、底部がヘ ラケズリ。内面はミガキ。内面黒色処 理。東北系。	にぶい黄橙色。軟ら かい。普通。砂粒微粒 やや多量、石英微量。	口縁～体部 1/2 弱 底 部 5/8 残 存。覆土。
1013 図面二九 図版三六	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	15.6 4.3 11.0	平らな底部から体下部に稜をもち、 体上部は外上方へ直線的に立ち上が り、口縁部はわずかに外反する。ロク 口調整。底部はヘラケズリ。底部内面 タール付着カ。底部外面に則天文字 「元（天）カ」の墨書。口縁部内面摩 滅。房総産。	灰黄褐色。堅い。普 通。微砂粒やや多量、 雲母・石英・角閃石微 量。	口縁部 1/8, 体 部～底 部 1/4 弱残存。覆土。
1014 図面二九 図版三六	N 76 - S I 8 A	土師器 坏	14.3 (3.8) —	丸みを帯びる底部から体部・口縁部 は内湾気味に立ち上がる。外面は口 縁部がヨコナデ、体上部が無調整、体 下部・底部がヘラケズリ。内面はヨコ ナデ。焼成軟。相模型。	橙色。軟らかい。普 通。石英微量。赤色ス コリア微量、砂粒微 粒やや多量。	口縁～底部 5/8 残存。覆土。
1015 図面三〇 図版三七	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	21.8 (6.5) —	内傾する胴部から口縁部は大きく外 反し、口唇部はわずかに内湾する。外 面は口縁部が指頭圧痕・ヨコナデ、胴 部が斜位のヘラケズリ。内面は口縁 部がヨコナデ、胴部がヘラナデ。胴部 外面に工具痕。口縁部外面に輪積痕 跡。武蔵型。	橙色。軟らかい。普 通。石英少量、砂粒微 粒多量。	口 縁 部 3/8 残 存、頸部 1/4 強 残存。覆土。
1016 図面三〇 図版三七	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	21.4 (9.0) —	わずかに内傾する胴部から頸部は 「く」の字に屈曲し、口縁部は外上方 へ直線的に立ち上がる。口縁部は内 外面ともにヨコナデ、胴部は外面が 斜位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。 口縁部外面に工具痕、輪積痕。武蔵 型。	橙色。軟らかい。普 通。角閃石微量、石英 微量、砂粒微粒多量。	口縁部 1/8, 胴 上 部 1/4 弱 残 存。覆土。
1017 図面三〇 図版三七	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	24.2 (7.0) —	胴部と頸部の間に段を有し、口縁部 は外反する。口縁部・頸部は内外面と もにヨコナデ。胴部は外面がヘラケ ズリ、内面がヘラナデ。武蔵型。	内外面：赤褐色、黒褐 色。軟らかい。普通。 赤色スコリア・石英・ 角閃石微量・砂粒微 粒やや多量。	口縁部 1/4 強、 頸 部 1/4 弱 残 存。覆土。
1018 図面三〇 図版三七	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	— (4.2) 9.0	底部から胴部は外上方に広がる。外 面はヘラケズリ。内面はナデ。丸胴 甕。	明赤褐色。軟らかい。 普通。石英少量。	胴最下部～底 部 3/4 弱残存。 覆土。
1019 図面三〇 図版三七	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	— (3.2) 8.4	平らな底部から胴部は外上方に立ち 上がる。外面は胴部が横位のヘラケ ズリ後にナデ、底部がヘラケズリ。内 面はヘラケズリ。鬼高系。	外面：灰褐色、内面： にぶい橙色。軟らか い。普通。石英微量、 赤色スコリア微量、 砂粒微粒多量。	底部少量欠損。 覆土。

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
1020 図面三〇 図版三七	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	— (16.7) 6.9	平らな底部から胴下部は外上方に広がり、中位から内湾する。外面は胴部が縦位のヘラケズリ、底部がヘラケズリ。内面はヘラナデ。胴部内面に輪積み痕を残す。鬼高系。支脚転用カ。	赤色。軟らかい。普通。石英微量、砂粒微粒やや多量。	胴下半分 1/2 強残存、底部 3/4 残存。竈。
1021 図面三〇 図版三七	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	18.5 (19.5) —	ゆるやかに内湾する胴部から口縁部は大きく外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が縦位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。口縁部外面に工具痕。胴部下半の外面が被熱。鬼高系。煙突部材として転用カ。	明褐灰色。軟らかい。普通。砂粒小粒少量、白色スコリア少量。	口縁～頸部残存、胴上部 3/4 強残存。竈。
1022 図面三一 図版三七	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	16.3 (13.4) —	内湾する胴部から、口縁部はゆるやかに外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は内外面ともにナデ。相模型。	橙色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量、金雲母微量、赤色スコリア微量。	口縁～胴部 1/4 残存。覆土。
1023 図面三一 図版三八	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	— (15.5) 8.2	内湾して立ち上がる胴部。内外面ともにナデ。相模型。1024 と同一として扱う。	にぶい橙色。軟らかい。普通。角閃石少量・石英少量・橙色スコリア微量・砂粒微粒多量・大粒 2 mm 以上微量。	胴下半分 1/4 弱残存。竈。
1024 図面三一 図版三八	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	— (15.5) 8.2	底部から胴部が外反気味に立ち上がる。内外面ともにナデ。底部外面に木葉痕。相模型。1023 と同一として扱う。	にぶい橙色。軟らかい。普通。角閃石少量・石英少量・橙色スコリア微量・砂粒微粒多量・大粒微量。	底部 3/4 残存。竈。
1025 図版三八	N 76 - S I 8 A	土師器 甕	(17.8) (10.1) —	口縁部はゆるやかに外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は内外面ともにナデ。相模型カ。	橙。軟らかい。普通。砂粒微粒多量、橙色スコリア少量。	口縁～胴部 1/8 残存。竈崩落土下層。
1026 図面三一 図版三八	N 76 - S I 8 B	土師器 甕	11.6 (12.0) —	丸みを帯びる胴部から口縁部はゆるやかに外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が斜位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。外面の摩耗が激しい。丸胴甕。	にぶい橙色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量、石英多量、角閃石微量、赤色スコリア微量、砂粒大粒微量。	口縁部 1/4 弱、胴上～胴中部 3/8 残存。掘り方。
1027 図面三一 図版三八	N 76 - S I 8 A	土師器 壺	13.6 15.7 10.0	底部から胴下部は外上方に立ち上がり、中位で強く内湾する。胴上部は内傾し、頸部は屈曲して外傾する口縁部に続く。外面は口縁部がヨコナデ、胴上部が横位のヘラケズリ後にナデ、胴下部と底部がヘラケズリ。内面は口縁部がヨコナデ、胴部と底部がナデ。粉碎後に被熱箇所あり。	灰黄褐色。軟らかい。普通。砂粒微粒少量、石英少量。	口頸部 1/8 強、胴部 3/8 強。竈崩落土中。
1028 図面三一 図版三八	N 76 - S I 8 A	須恵器 高台付坏	14.0 4.2 10.2	体部から口縁部は直線的に立ち上がる。底部は全面回転ヘラケズリ後、高台貼付。南多摩窯。ロクロ回転順回り。	灰黄褐色。堅い。普通。砂粒微粒多量、砂粒小粒・大粒微量、細礫少量。	口縁部 3/8、底部残存。覆土。
1029 図面三一 図版三九	N 76 - S I 8 A	須恵器 坏	14.9 3.4 10.1	平らな底部から体下部に稜をもち、体上部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。底部は糸切り後、底部全面・体下部回転ヘラケズリ。一部の破片に、他と全く色調の異なるものあり。南多摩窯（和田・百草 1 号窯）。ロクロ回転順回り。	灰黄色。堅い。酸化焰。砂粒微粒多量、細礫少量、石英微量、角閃石微量。	口縁部 1/2 弱、体部 1/2 強残存、底部少量欠損。覆土。

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
1030 図面三二 図版三九	N 76 - S I 8 A	須恵器 坏	14.6 3.3 10.9	平らな底部から体部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。底部は静止糸切り後、外周ヘラケズリ。南多摩窯（和田・百草1号窯）。ロクロ回転逆回り。	内外面：褐灰色、にぶい黄橙色。堅い。普通。白色スコリア多量、石英やや多量、砂粒微粒やや多量。	口縁部 1/2 強、体部 5/8、底部残存。竈。
1031 図版三九	N 76 - S I 8 A	須恵器 坏	(15.2) 3.8 10.0	平らな底部から体下部にわずかに稜をもち、体上部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。底部全面回転ヘラケズリ。南多摩窯カ。底部摩耗。	灰白。やや軟らかい。普通。砂粒微粒やや多量、白色スコリア少量、橙色スコリア微量。	口縁～体部少量、底部 1/2 強残存。覆土。
1032 図面三二 図版三九	N 76 - S I 8 A	須恵器 坏	16.5 4.2 10.9	わずかに丸みを帯びた底部から体部は外上方へ直線的に立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。底部全面回転ヘラケズリ。底部外面の摩耗が激しい。内面に漆付着。南比企窯(山下6号窯)。漆パレットカ。	灰黄褐色。堅い。普通。砂粒微粒やや多量、砂粒大粒微粒、黒色スコリア・白色スコリア微量。	口唇部及び体下部少量欠損。覆土。
1033 図面三二 図版三九	N 76 - S I 8 A	須恵器 坏	15.1 3.6 9.9	平らな底部から体部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。底部は糸切り後、外周ヘラケズリ。破碎後、内外面に漆付着。南比企窯。ロクロ回転順回り。	明灰黄色。堅い。普通。白色針状物質多量、長石微粒、砂粒微粒少量、砂粒大粒微量。	口縁部 1/2 弱、体部 3/4 弱、底部残存。覆土。
1034 図面三二 図版四〇	N 76 - S I 8 A	須恵器 坏	15.4 4.1 8.9	平らな底部から体下部に稜をもち、体上部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。底部は糸切り後、全面回転ヘラケズリ。口縁部打ち欠き。南比企窯。ロクロ回転順回り。	口縁～体部灰色、底部にぶい橙色。堅い。普通。白色針状物質多量、砂粒微粒少量、砂粒大粒微量、長石微量。	口縁部～体上部 1/4 強、体下部 3/8、底部残存。覆土。
1035 図面三三 図版四〇	N 76 - S I 8 A	須恵器 碗	18.9 5.6 10.0	平らな底部から体部・口縁部は内湾気味に立ち上がる。底部は糸切り後、全面ヘラケズリ。南比企窯。ロクロ回転逆回り。	灰褐色・黄灰色。堅い。白色針状物質やや多量、砂粒微粒やや多量、砂粒大粒微量、長石少量。	口縁部～体上部 1/4 強、体下部 1/2 弱、底部 3/8 残存。覆土。
1036 図面三三 図版四〇	N 76 - S I 8 A	須恵器 碗	17.6 6.9 10.1	平らな底部から体部・口縁部は内湾して立ち上がる。口唇部は内面側が面取りされる。南比企窯。	褐灰色。堅い。普通。砂粒大粒微量、白色針状物質少量。	口縁部少量、体部～底部 1/8 残存。覆土。
1037 図面三三 図版四〇	N 76 - S I 8 A	須恵器 鉢	19.8 (4.9) —	内湾気味に立ち上がる胴部から口縁部は強く屈曲して水平にのびる。ヨコナデ。南比企窯。	にぶい褐色。堅い。普通。白色針状物質微量、砂粒小粒多量、砂粒大粒微量。	口縁～体上部 1/8 残存。覆土。
1038 図面三三 図版四〇	N 76 - S I 8 A	須恵器 壺	16.6 (5.4) —	外傾する頸部から、口縁部はゆるやかに外反する。湖西窯。	内外面：にぶい黄橙色、褐灰色。堅い。普通。黒色スコリア少量、白色スコリアやや多量、砂粒微粒多量、砂粒小粒少量、砂粒大粒微量。	口縁部 1/2 弱、頸部 1/4 強残存。竈。
1039 図面三三 図版四〇	N 76 - S I 8 B	須恵器 甕	— (6.7) —	内湾する胴部。外面に平行叩き、内面に当て具痕。南比企窯。	黄灰色。堅い。普通。白色針状物質微量、砂粒微粒多量、砂粒大粒微量。	胴部少量残存。掘り方。
1040 図版四〇	N 76 - S I 8 B	須恵器 甕	— (7.2) (17.6)	平らな底部から胴下部は外上方に広がる。胴部外面に平行叩き。	灰褐色。普通。堅い。砂粒微粒多量、砂粒小粒少量、砂粒大粒微量。	胴下部 1/4 弱、底部少量残存。掘り方。

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
1041 図面三三 図版四一	N 76 - S I 9	土師器 甕	22.2 (9.8) —	わずかに内湾する胴部から口縁部はゆるやかに外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が斜位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。口縁部～頸部外面に指頭圧痕。口縁部外面に輪積み痕。武蔵型。	にぶい橙色。軟らかい。普通。赤色スコリア微量、角閃石少量、石英微量。	口縁部 1/8 残存、頸部 1/4 弱残存、胴上部 1/8 残存。床直。
1042 図面三三 図版四一	N 76 - S I 9	土師器 甕	22.3 (9.6) —	わずかに内湾する胴部から頸部はゆるやかに外反し、口縁部は内湾気味に立ち上がる。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が斜位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。口縁部内外面に指頭圧痕。武蔵型。	にぶい赤褐色。軟らかい。普通。角閃石少量、赤色スコリア微量、砂粒微粒多量。	口縁～胴上部 1/8 残存。掘り方。
1043 図面三四 図版四一	N 76 - S I 9	土師器 甕	22.4 (11.0) —	胴部と頸部の間に段を有し、頸部は大きく外反し、口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が斜位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。口縁部外面に工具痕。武蔵型。	褐色。軟らかい。普通。赤色スコリア微量、角閃石微量、石英少量、砂粒微粒多量。	口縁～胴上部 3/4 強残存。上層。
1044 図面三四 図版四一	N 76 - S I 9	須恵器 坏	13.9 3.8 7.9	平らな底部から体部・口縁部は外上方へ立ち上がる。底部は糸切り後、全面回転ヘラケズリ。南比企窯。ロクロ回転順回り。	口縁～体部：灰白、底部：にぶい橙色。堅い。普通。白色針状物質多量、白色スコリア微量、砂粒微粒少量。	口縁部 3/4 強、体部～底部残存。床直。
1045 図面三四 図版四一	N 76 - S I 9	須恵器 坏	— (1.0) 10.0	平らな底部から体部は外上方に広がる。底部は糸切り後、外周ヘラケズリ。底部外面に墨書「王」。南比企窯。	灰褐色。堅い。普通。白色針状物質やや多量、砂粒微粒少量。	底部 1/4 弱残存。覆土。
1046 図面三四 図版四一	N 76 - S I 9	須恵器 坏	13.1 3.4 8.6	平らな底部から体部は外上方に立ち上がり、口縁部はわずかに内湾する。底部は糸切り後、全面ヘラケズリ。ヘラ記号 C「一」。南比企窯。ロクロ回転順回り。	口縁部～体部：黄灰色、底部：灰黄褐色。堅い。普通。白色針状物質やや多量、砂粒微粒多量、砂粒大粒微量。	口縁部 1/4 強残存、体部 1/2 弱残存、底部残存。覆土。
1047 図面三四 図版四一	N 76 - S I 9	須恵器 蓋	最大長 7.8 最大幅 6.8 最大厚 0.7	丸みを帯びる天井部から口縁部は外下方へ直線的のび、端部は下方にのびる。ロクロ調整後、天井部をヘラケズリ。破断面に磨り面がみられる。東金子窯。転用砥。	にぶい褐色。堅い。普通。砂粒微粒多量、白色スコリア少量。	覆土。
1048 図面三五 図版四二	N 76 - S I 10	土師器 坏	— (3.0) —	体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は外傾する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、体部は内外面ともにナデ。外面に赤彩。内面に放射状の線刻カ。北武蔵型。	浅黄橙色。軟らかい。普通。石英少量、赤色スコリア微量、砂粒微粒やや多量。	口縁～体部少量残存。覆土。
1049 図面三五 図版四二	N 76 - S I 10	土師器 甕	20.9 (5.8) —	わずかに内湾する胴部から頸部はゆるやかに外反し、口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が斜位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。頸部外面に輪積み痕が残る。武蔵型。	にぶい赤褐色。軟らかい。普通。角閃石微量、砂粒微粒多量。	口縁～頸部少量残存。竈。

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
1050 図面三五 図版四二	N 76 - S I 10	土師器 甕	21.2 (4.6) —	頸部はゆるやかに外反し、口縁部は内湾気味に立ち上がる。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が斜位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。頸部から口縁部外面に指頭圧痕が残る。武蔵型。	橙色。軟らかい。普通。石英微量、角閃石微量、砂粒微粒多量。	口縁 1/4 弱、頸部 1/8 残存。覆土・竈。
1051 図面三五 図版四二	N 76 - S I 10	土師器 甕	6.7 (13.2) —	内湾気味に立ち上がる胴部。外面が縦位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。内面に輪積み痕を残す。外面被熱。胴部中位と底部を打ち欠き、筒状に加工。鬼高系。	にぶい赤褐色。軟らかい。普通。赤色スコリア微量、石英微量、砂粒微粒多量、砂粒小砂微量。	胴下部残存、底部少量残存。竈。祭器に再利用力。
1052 図面三五 図版四二	N 76 - S I 10	須恵器 高台付坏	13.2 4.3 8.5	体部から口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。底部は全面回転ヘラケズリ後、高台貼付。南比企窯。ロクロ回転順回り。	褐灰色。堅い。普通。砂粒小粒微粒、砂粒微粒微量、白色針状物質やや多量。	口縁～体上部 1/4 強、体下部～底部残存。床直。
1053 図面三五 図版四二	N 76 - S I 10	須恵器 坏	12.6 3.5 7.6	平らな底部から体部・口縁部は外上方に立ち上がる。底部は静止糸切り後、外周ヘラケズリ。口縁部打ち欠き。南比企窯。ロクロ回転順回り。	褐灰色。堅い。普通。黒色スコリア微量、白色針状物質やや多量、砂粒微粒少量、砂粒大粒微量。	口縁部少量欠損。床直。
1054 図版四二	N 76 - S I 10	須恵器 甕	— (9.3) —	内湾気味に立ち上がる胴部。外面に平行叩き、内面に当て具痕（青海波文）。南比企窯。	内外面：灰褐色、にぶい橙色。軟らかい。普通。石英微量、赤色スコリア微量、砂粒微粒多量。	胴部破片。床直。
1055 図面三五 図版四二	N 76 - S I 10	須恵器 不明小型製品	— (1.6) 4.1	体部は外上方に立ち上がる。ロクロ調整。底部に高台貼付。東金子窯。小型高台付坏・小型壺カ。	褐灰色。堅い。普通。砂粒微粒多量。	底部 1/2 強残存。覆土。
1056 図面三六 図版四三	N 76 - S I 11	土師器 坏	12.3 3.7 —	丸みを帯びる底部から体部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。外面は口縁部がヨコナデ、体部が指頭押圧、底部がヘラケズリ。内面はヨコナデ・ナデ。南武蔵型。	にぶい褐色。軟らかい。普通。赤色スコリア少量、石英少量、微砂粒やや多量。	口縁部 1/4 弱、底部 3/4 弱残存。覆土。
1057 図面三六 図版四三	N 76 - S I 11	土師器 甕	17.2 (6.8) —	直立する胴部から口縁部はゆるく、短く外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が縦位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。内面に輪積み痕を残す。外面摩耗・剥離。鬼高系。	にぶい赤褐色。軟らかい。普通。石英微量、砂粒微粒やや多量。	口縁部 1/4 弱残存。覆土。
1058 図面三六 図版四三	N 76 - S I 11	須恵器 坏	12.5 3.2 8.7	平らな底部から体部・口縁部は外上方に立ち上がる。底部糸切り後、底部・体下部外周手持ちヘラケズリ。東金子窯（前内出 1 号窯）。ロクロ回転逆回り。	灰黄褐色。堅い。普通。砂粒微粒微量、白色スコリア微量。	口縁～体部 1/4 強、底部 1/2 強残存。覆土。
1059 図面三六 図版四三	N 76 - S I 11	須恵器 坏	— (1.1) 8.9	平らな底部から体部は外上方に立ち上がる。底部は全面ヘラケズリ。東金子窯。ロクロ回転順回り。	灰黄色。堅い。普通。砂粒微粒少量、白色スコリア少量。	体下部少量、底部 1/2 弱残存。竈。
1060 図面三六 図版四三	N 76 - S I 11	須恵器 坏	— (2.0) 10.8	平らな底部から体部は外上方に立ち上がる。底部は全面ヘラケズリ。南比企窯。ロクロ回転順回り。	体下部：灰黄褐色、底部：褐灰白色。堅い。普通。白色針状物質やや多量、砂粒微粒多量、砂粒小粒微量、石英少量。	体下部 1/4 弱、底部 1/4 強残存。覆土。

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
1061 図版四三	N 76 - S I 11	須恵器 甕	— (7.8) —	内傾する胴部から頸部につづく。外面に自然釉。内面はナデ。内面に輪積み痕を残す。	内外面:灰黄褐色, 自然釉:暗オリーブ。堅い。普通。砂粒小粒微粒。	肩部破片。覆土。
1062 図面三六 図版四三	N 76 - S I 12	土師器 甕	20.4 (13.5) —	ゆるやかに内湾する胴部から口縁部はゆるく外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ, 胴部は外面が斜位のヘラケズリ, 内面がヘラナデ。武蔵型。	にぶい橙色。軟らかい。普通。角閃石微量, 石英微量, 砂粒微粒多量。	口縁部少量残存, 頸部~胴上部 1/8 弱残存。竈。
1063 図面三七 図版四四	N 76 - S I 14	土師器 坏	12.7 (2.9) 8.1	平らな底部から体部は内湾気味に立ち上がり, 口縁部は外傾する。外面は口縁部がヨコナデ, 体部が指頭押圧, 底部がヘラケズリ。内面はヨコナデ, ナデ。内面に漆付着。漆パレットに転用カ。南武蔵型。	にぶい橙色。軟らかい。普通。砂粒微粒やや多量, 赤色スコリア微粒, 石英微粒, 黒色スコリア微量。	口縁部・体部 1/8, 底部 1/3 残存。覆土
1064 図面三七 図版四四	N 76 - S I 14	土師器 坏	— (0.6) —	平らな底部。摩耗が激しい。外面に線刻「一」ヘラ記号 B。相模型カ。	橙色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量, 赤色スコリア少量。	底部少量残存。覆土。
1065 図面三七 図版四四	N 76 - S I 14	土師器 甕	— (9.9) 4.0	平らで小さな底部から胴部は外上方に立ち上がる。外面は斜位のヘラケズリ。内面はヘラナデ。武蔵型。	橙色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量, 角閃石少量, 赤色スコリア微量。	胴下部 1/4 強, 底部残存。覆土。
1066 図面三七 図版四四	N 76 - S I 14	土師器 甕	21.6 (6.4) —	内傾する胴部から口縁部は大きく外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ, 胴部は外面が斜位のヘラケズリ, 内面がヘラナデ。武蔵型。	にぶい褐色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量, 角閃石微粒。	口縁~頸部 1/8 残存。覆土。
1067 図面三七 図版四四	N 76 - S I 14	須恵器 高台付坏	— (1.9) 10.4	底部はヘラケズリ後, 高台貼付。内面は平滑化している。転用硯カ。南比企窯。内外面墨痕。	灰黄褐色。堅い。普通。砂粒微量やや多量, 砂粒大粒微量, 白色針状物質微量。	底部 1/4 弱 残存。覆土。
1068 図面三七 図版四四	N 76 - S I 14	須恵器 坏	14.0 3.6 8.5	平らな底部から体部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。底部は糸切り後, 全面回転ヘラケズリ。一部の破片に, 他と全く色調の異なるものあり。南比企窯。ロクロ回転順回り。	灰褐色。堅い。普通。白色針状物質やや多量, 砂粒微粒多量, 砂粒小粒・大粒微量。	口縁~体部~底部ほぼ残存。床直。
1069 図面三七 図版四四	N 76 - S I 14	須恵器 坏	12.7 3.7 8.6	平らな底部から体部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がり, 口縁部はやや外反する。底部は糸切り後, 外周ヘラケズリ。南比企窯。ロクロ回転順回り。	灰褐色。堅い。普通。白色針状物質やや多量, 砂粒大粒・小粒・微粒微量。	口縁部残存, 体部ほぼ残存, 底部残存。覆土
1070 図面三八 図版四四	N 76 - S I 15 A	土師器 坏	14.5 3.6 —	丸みを帯びる底部から, 体部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。外面は口縁部・体部がヨコナデ, 底部がヘラケズリ。内面はヨコナデ。内面に漆付着。漆パレットカ。須恵系土師質土器。	灰黄褐色。やや堅い。普通。砂粒微粒やや多量, 砂粒大粒微量, 角閃石微量, 白色スコリア少量。	口縁~底部 1/2 弱残存。竈内。
1071 図面三八 図版四四	N 76 - S I 15 B	土師器 坏	— (5.7) —	丸みを帯びる底部から体部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。外面は口縁部がヨコナデ, 体部が指頭押圧, 底部がヘラケズリ。内面はヨコナデ・ナデ。南武蔵型。	にぶい橙色。軟らかい。普通。赤色スコリア微量, 石英微量, 砂粒微粒多量, 黒雲母微量。	口縁~体部少量残存。下層。

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
1072 図面三八 図版四四	N 76 - S I 15 A	土師器 甕	24.3 (10.7) —	わずかに内湾する胴部から頸部は「く」の字状に屈曲して、口縁部は外傾して立ち上がる。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が斜位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。頸部に粘土紐補強痕。武蔵型。	にぶい赤褐色。軟らかい。普通。石英やや多量、赤色スコリア微量。	口縁～体上部少量。床直。
1073 図面三八 図版四五	N 76 - S I 15 A	土師器 甕	23.3 (17.8) —	内湾する胴部から口縁部は大きく外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が縦位のヘラケズリ、内面がヘラナデ。外面被熱。武蔵型。	明赤褐色。軟らかい。普通。石英微量、赤色スコリア微量、砂粒微粒多量。	口縁～頸部 3/4 強残存、胴上部 1/8 残存。竈内。
1074 図面三八 図版四五	N 76 - S I 15 A	土師器 甕	— (20.9) 4.2	平らで小さな底部から胴部はわずかに内湾しつつ立ち上がる。外面は斜位のヘラケズリ。内面はヘラナデ。内面に輪積み痕を残す。武蔵型。竈芯材。	にぶい橙色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量、雲母微量。	胴部 1/2 残存、底部 1/4 残存。竈袖部。
1075 図面三八 図版四五	N 76 - S I 15 A	土師器 甕	— (18.5) —	胴部はわずかに内湾しつつ立ち上がる。外面は縦位のヘラケズリ。内面はヘラナデ。内面に輪積み痕を残す。武蔵型。竈芯材。	明赤褐色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量、白色スコリア少量。	胴中央～胴下部 3/4 残存。竈袖部。
1076 図面三八 図版四五	N 76 - S I 15 A	須恵器 坏	— (0.6) —	平らな底部。糸切り後、外周ヘラケズリ。外面に線刻「二」ヘラ記号 B。南比企窯。ロクロ回転順回り。	灰黄褐色。堅い。普通。砂粒微粒多量、白色針状物質やや多量。	部 1/8 残存。上層。
1077 図面三九 図版四六	N 76 - S I 16	土師器 鉢	18.2 (8.1) —	内湾する体部から口縁部は外傾して短く立ち上がる。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が指頭圧痕とナデ、内面がナデ。	にぶい橙色。軟らかい。普通。赤色スコリア微量、石英少量、砂粒微粒少量。	口縁少量残存、胴部 1/8 残存。床直。
1078 図面三九 図版四六	N 76 - S I 16	須恵器 坏	13.9 3.1 7.8	平らな底部から体部・口縁部は外上方に立ち上がる。底部は全面回転ヘラケズリ。体下部外面に墨書「家カ」。東金子窯(前内出 2 号窯カ)。ロクロ回転順回り。	口縁～体部：灰白色、底部：にぶい橙色。堅い。普通。赤色スコリア微量、砂粒微粒多量、砂粒小粒微量、白色スコリア少量。	口縁～体部 1/2 強残存、底部 5/8 残存。上層。
1079 図面三九 図版四六	N 76 - S I 16	須恵器 坏	— (1.0) 10.0	平らな底部から体部は外上方に立ち上がる。底部は糸切り後、外周ヘラケズリ。南比企窯。ロクロ回転逆回り。	褐灰色。堅い。普通。白色針状物質やや多量、砂粒微粒やや多量、砂粒小粒微量、砂粒大粒微量。	底部 3/8 残存。床直。
1080 図面三九 図版四六	N 77 - S I 42	土師器 甕	— (5.9) —	口縁部はゆるやかに外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が横位のヘラケズリ、内面がナデ。武蔵型。	明赤褐色土。軟らかい。普通。砂粒微粒多量、角閃石やや多量、雲母少量。	口縁～頸部少量残存。上層。
1081 図面三九 図版四六	N 77 - S I 42	土師器 甗	— (5.9) —	口縁部は直線的に立ち上がり、口唇部は外反する。口縁部は内外面ともにヨコナデ、胴部は外面が縦位のヘラナデ、内面がナデ。外面にスス付着。	明赤褐色土。軟らかい。普通。赤色スコリアやや多量、砂粒微粒少量。	口縁部少量残存。下層。
1082 図面三九 図版四六	N 77 - S I 42	土師器 甗	— (3.7) —	把手。胴部から牛角状にのびる。ナデ。	にぶい褐色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量、砂粒小粒・大粒微量、石英少量、角閃石・赤色スコリア微粒。	把手部残存。中層。

別表 6 - 9

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
1083 図面三九 図版四六	N 77 - S I 42	土師器 甗	— (2.8) —	外反形状の把手。ナデ。	にぶい褐色。軟らかい。普通。微砂粒多量, 砂粒小粒少量, 角閃石微粒。	把手部 1/2 弱残存。上層。
1084 図面四〇 図版四六	N 77 - S I 42	須恵器 坏	13.4 3.5 7.2	平らな底部から体部は外上方に広がり, 口縁部はやや内湾して立ち上がる。底部は糸切り後, 底部・体下部全面ヘラケズリ。火襷。内面の一部摩滅。東金子窯。ロクロ回転逆回り。	灰白色。堅い。普通。白色粒, 砂粒微粒多量, 砂粒大粒微量。	口縁～体上部 5/8, 底部 1/2 強残存 1/4 強, 体下～底部 1/2 強残存。下層。
1085 図面四〇 図版四六	N 77 - S I 42	須恵器 坏	13.4 3.6 8.7	平らな底部から体部は外上方に立ち上がり, 口縁部はわずかに外反する。底部は糸切り後, 外周ヘラケズリ。東金子窯。ロクロ回転順回り。	灰色。堅い。白色粒, 微砂粒多量。	口 縁 ～ 体 部 5 / 8 , 底部 1/2 強 残 存。周溝内。
1086 図面四〇 図版四六	N 77 - S I 42	須恵器 坏	— (1.2) 7.4	平らな底部から体下部に稜をもつ。底部全面回転ヘラケズリ。東金子窯。	にぶい橙色。堅い。普通・酸化炎焼成。砂粒微粒やや多量, 小粒微量, 赤色スコリア微量。	底部 7/8 残存。上層。
1087 図面四〇 図版四六	N 77 - S I 42	須恵器 坏	14.2 4.1 8.5	平らな底部から体部・口縁部は外上方へ直線的に立ち上がる。底部は糸切り後, 全面ヘラケズリ。南比企窯。ロクロ回転順回り。	灰白色。堅い。普通。白色針状物質やや多量, 微砂粒やや多量。	口縁～体部 1/2 弱, 底部 5/8 残存。床直。
1088 図面四〇 図版五〇	N 76 - 遺構外	須恵器 坏	15.0 2.8 10.3	平らな底部から体部は外上方へ直線的に立ち上がる。底部は糸切り後, 全面ヘラケズリ。南比企窯。ロクロ回転逆回り。	黒褐色。堅い。普通。白色針状物質やや多量, 砂粒微粒多量。	口縁部～体部少量, 底部 1/4 強残存。
1089 図面四〇 図版五〇	N 76 - 遺構外	須恵器 壺	— (5.3) —	屈曲する胴部。屈曲部に横位の平行沈線を回し, 上下は櫛歯状工具による波状沈線文を描く。北関東産。	灰色。堅い。普通。石英多量, 砂粒微粒多量, 黒雲母微量。	胴部少量残存。

別表 7 - 1

別 表 7 中 世 土 器 観 察 表						
番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
2001 図面四一 図版四七	N 77 - S X 15	陶器 甕	— (3.8) —	胴部。ナデ。中世陶器。	褐灰色。堅い。普通。砂粒微粒多量, 砂粒小粒微量, 白色針状物質微粒。	胴部少量残存。覆土。

別 表 8

縄 文 時 代 土 器 観 察 表

番号	遺構	器種 器形	法量	特 徴	色調・質・焼成・胎土	残量・出土位置
3001 図面四一 図版五〇	N 76 - 遺構外	縄文土器 浅鉢	— (4.1) —	内湾気味に立ち上がる口縁部。口唇部内側が肥厚になる。浮線による変形工字文。縄文晩期終末、浮線文土器。	にぶい黄橙色。軟らかい。普通。赤色スコリア微量、石英やや多量、砂粒微粒多量。	口縁部少量残存。S I 9 竈掘り方。
3002 図面四一 図版五〇	N 76 - 遺構外	縄文土器 深鉢	— (5.8) —	尖底。縦位の条痕。縄文早期後半、条痕文系土器。	黒褐色。軟らかい。普通。白色スコリア・赤色スコリア少量、砂粒微粒多量、砂粒小粒少量、砂粒大粒微量。	底部残存。S K 10 覆土内。
3003 図面四一 図版五〇	N 76 - 遺構外	縄文土器 深鉢	— (8.9) —	口縁部。LR 縄文。縄文前期後半。	にぶい赤褐色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量、砂粒小砂微量、金雲母微量、石英微量、角閃石微量、白色スコリア微量。	胴部少量残存。表土・攪乱。
3004 図面四一 図版五〇	N 76 - 遺構外	縄文土器 深鉢	— (8.1) —	胴部。LR 縄文を地文とし、半截竹管による平行沈線を弧状に引き、弧の内側線に沿って、三角形の刺突文を施している。縄文中期、五領ヶ台式。	にぶい褐色。軟らかい。普通。砂粒微粒多量、砂粒小砂少量、砂粒大粒微量、金雲母多量、白色スコリア微量。	胴部少量残存。Ⅲ層上面。

別 表 9

土 製 品 観 察 表

番号	遺構	器種 器形	特 徴
Y 201 図面四一 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 羽口	現存長 (9.5), 径 5.8, 推定孔径 2.4cm, 重量 185.4 g。色調：明赤褐色。胎土：砂粒微粒多量、小粒微量、大粒 2 mm 以上微量。先端に融鉄付着。約 1/2 残存カ。被熱によりかなり脆い。覆土。
Y 202 図面四一 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土錘	紡錘形。長さ 5.8, 径 1.55, 孔径 0.4cm。重量 13.2 g。色調：にぶい褐色。胎土：金雲母微量、石英微量、砂粒微粒多量。土師質。完形。床直。
Y 203 図面四一 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土錘	紡錘形。長さ 5.3, 径 1.2, 孔径 0.4cm。重量 7.6 g。色調：黒褐色。胎土：砂粒微粒やや多量、金雲母微量、石英やや多量、赤色スコリア微量。土師質。両端欠損。覆土。

番号	遺構	器種 器形	特 徴
Y 204 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土鍾	紡錘形。現存長 (3.9), 径 1.4, 孔径 0.35cm。重量 6.8 g。色調: にぶい赤褐色。胎土: 砂粒微粒少量, 小粒少量, 赤色スコリアやや多量, 白色スコリア少量。土師質。片端欠損。覆土。
Y 205 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土鍾	紡錘形。現存長 (2.8), 径 1.6, 孔径 0.4cm。重量 6.8 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒多量, 金雲母少量, 石英微量, 赤色スコリア微量。土師質。片端欠損。摩耗。覆土。
Y 206 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土鍾	紡錘形。現存長 (2.7), 径 1.8, 孔径 0.4cm。重量 7.4 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒多量, 金雲母やや多量。土師質。両端欠損。摩耗。覆土。
Y 207 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土鍾	滴形。長さ (3.5), 径 1.7, 孔径 0.45cm。重量 8.0 g。色調: 灰黄褐色。胎土: 砂粒微粒やや多量, 大粒微量, 金雲母少量, 石英少量。土師質。完形。覆土。
Y 208 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土鍾	紡錘形。現存長 (2.1), 径 1.55, 孔径 0.4cm。重量 3.8 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒やや多量, 赤色スコリア少量, 白色スコリア微量。土師質。片端欠損。覆土。
Y 209 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土鍾	滴形。現存長 (2.9), 径 1.75, 孔径 0.4cm。重量 6.3 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒やや多量, 金雲母やや多量, 石英少量, 赤色スコリア微量。土師質。少量欠損。摩耗。覆土。
Y 210 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土鍾	紡錘形。現存長 (5.85), 径 1.0, 孔径 0.45cm。重量 13.8 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微量やや多量, 石英少量, 橙色スコリア微量。土師質。片端欠損。覆土。
Y 211 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土鍾	筒形。現存長 (2.3), 径 1.5, 孔径 0.4cm。重量 4.3 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒やや多量, 金雲母やや多量, 赤色スコリア微量。土師質。片端欠損。覆土。
Y 212 図版四七	N 76 - S I 8 A	土製品 土鍾	筒形。現存長 (3.5), 径 1.4, 孔径 0.4cm。重量 11.9 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒やや多量, 金雲母やや多量, 石英やや多量, 赤色スコリア微量。土師質。両端欠損。覆土。
Y 213 図版四七	N 76 - S I 8 B	土製品 土鍾	筒形。片端欠損。摩耗。現存長 (3.5), 径 1.7, 孔径 0.45cm。重量 8.3 g。胎土: 砂粒微粒やや多量, 石英少量, 橙色スコリア微量。色調: にぶい黄橙色。土師質。片端欠損。掘り方。
Y 214 図版四七	N 76 - S I 9	土製品 土鍾	筒形。現存長 (2.2), 径 1.45, 孔径 0.45cm。重量 5.5 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒やや多量, 金雲母やや多量, 角閃石微量, 橙色スコリア微量。土師質。両端欠損。覆土。
Y 215 図版四七	N 76 - S I 9	土製品 土鍾	紡錘形。現存長 (3.9), 径 1.9, 孔径 0.5cm。重量 12.0 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒やや多量, 金雲母少量, 石英微量, 赤色スコリア微量。土師質。片端欠損。摩耗。覆土。
Y 216 図版四七	N 76 - S I 9	土製品 土鍾	紡錘形。現存長 (3.5), 径 1.9, 孔径 0.45cm。重量 11.2 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒少量, 金雲母やや多量, 石英微量, 赤色スコリア微量。土師質。片端欠損。摩耗。覆土。
Y 217 図版四八	N 76 - S I 10	土製品 土鍾	紡錘形。現存長 (3.0), 径 1.3, 孔径 0.3cm。重量 4.6 g。色調: 灰褐色。胎土: 砂粒微粒少量, 角閃石微量, 石英微量, 赤色スコリア微量。土師質。片端欠損。覆土。
Y 218 図版四八	N 76 - S I 11	土製品 土鍾	筒形。現存長 (1.8), 径 1.5, 孔径 0.35cm。重量 4.9 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒多量, 大粒微量, 金雲母少量, 石英少量, 橙色スコリア微量。土師質。両端欠損。穿孔が端に寄る。覆土。
Y 219 図版四八	N 76 - S I 14	土製品 土鍾	筒形。現存長 (3.95), 径 1.9, 孔径 0.5cm。重量 12.3 g。色調: にぶい橙色。胎土: 砂粒微粒多量, 金雲母やや多量, 石英やや多量, 赤色スコリア微量。土師質。片端欠損。覆土。
Y 220 図版四八	N 76 - S I 15 A	土製品 土鍾	紡錘形。現存長 (2.6), 径 1.7, 孔径 0.5cm。重量 5.8 g。色調: 灰白色。胎土: 砂粒微粒多量, 金雲母少量, 石英少量, 赤色スコリア微量。土師質。両端欠損。覆土。

別 表 10			
鉄 製 品 観 察 表			
番号	遺構	器種 器形	特 徴
M 301 図面四二 図版四八	N 76 - S I 8 A	鉄製品 鉄鏃	現存長 (7.3), 根・箆被 (5.45), 茎 (2.4), 厚さ 0.3cm, 重量 5.9 g。鋒・基部途中より欠損。鏃身は柳葉形。茎欠損。茎断面方形。覆土。
M 302 図面四二 図版四八	N 76 - S I 8 A	鉄製品 鎌	現存長 (6.1), 横幅 (6.1), 縦幅 (3.8), 中央幅 1.4, 中央部厚 0.2, 折曲部高 1.0 cm。重量 14.9 g。1/2 残存。刃部欠損。覆土。
M 303 図面四二 図版四八	N 76 - S I 8 A	鉄製品 鉄鏃	現存長 (10.1), 箆被 7.7, 基 (2.4), 厚さ 0.3 ~ 0.4cm。重量 11.9 g。箆被・基部一部残存。茎欠損。茎断面方形。竈崩落土。
M 304 図面四二 図版四八	N 76 - S I 10	鉄製品 鉄鏃	現存長 (7.8), 幅 (2.7), 厚さ 0.2cm。重量 10.3 g。逆刺先端部欠損。無茎有孔柳葉式。鏃身は三角形。腸状。有孔。無茎。覆土。
M 305 図面四二 図版四八	N 76 - S I 14	鉄製品 鏃	現存長 (7.6), 幅 1.1, 厚さ 0.7cm。重量 16.8 g。少量残存。両端欠損。断面方形。竈崩落土。
M 306 図面四二 図版四八	N 76 - S I 15 B	鉄製品 刀子	現存長 (12.3), 刃長 9.2, 刃幅 1.3, 棟厚 0.3, 茎幅 0.7cm。重量 11.9 g。茎先端部欠損。茎欠損。茎断面長方形。旧貼り床上面。
M 307 図面四二 図版四八	N 77 - S I 42	鉄製品 鎌	現存長 (5.6), 横幅 (6.1), 縦幅 (3.9), 中央幅 2.9, 中央部厚 0.25cm, 重量 14.8 g, 1/3 残存。両端欠損。周溝。

別 表 11			
石 製 品 ・ 石 器 観 察 表			
番号	遺構	器種 器形	特 徴
Q 401 図面四三 図版四八	N 76 - S I 10	礫	自然礫。長さ 13.7, 幅 9.8, 厚さ 5.2cm。重量 1,034 g。砂岩。祭器の可能性もあり。完存。竈。
Q 402 図面四三 図版四九	N 76 - S I 10	石製品 砥石	撥形。長さ 5.7, 幅 4.0, 厚さ 2.8cm。重量 66.4 g。凝灰岩。上部欠損。7/8 残存。床直。

別表 11 - 2

番号	遺構	器種 器形	特 徴
Q 403 図面四三 図版四九	N 76 - S I 11	不明石製品 剥片	長さ 4.5, 幅 2.9, 厚さ 0.85cm。重量 10.9 g。チャート。剥片・石銚加工片カ。床直。
Q 404 図面四三 図版四九	N 76 - S I 14	石製品 砥石	撥形。長さ (10.5), 幅 5.2, 厚さ 5.9cm。重量 337.4 g。凝灰岩。掘り方。
Q 405 図版四九	N 76 - S I 14	礫	長さ 7.7, 幅 5.0, 厚さ 3.3cm。重量 45.3 g。軽石。浮子の材料カ。覆土。

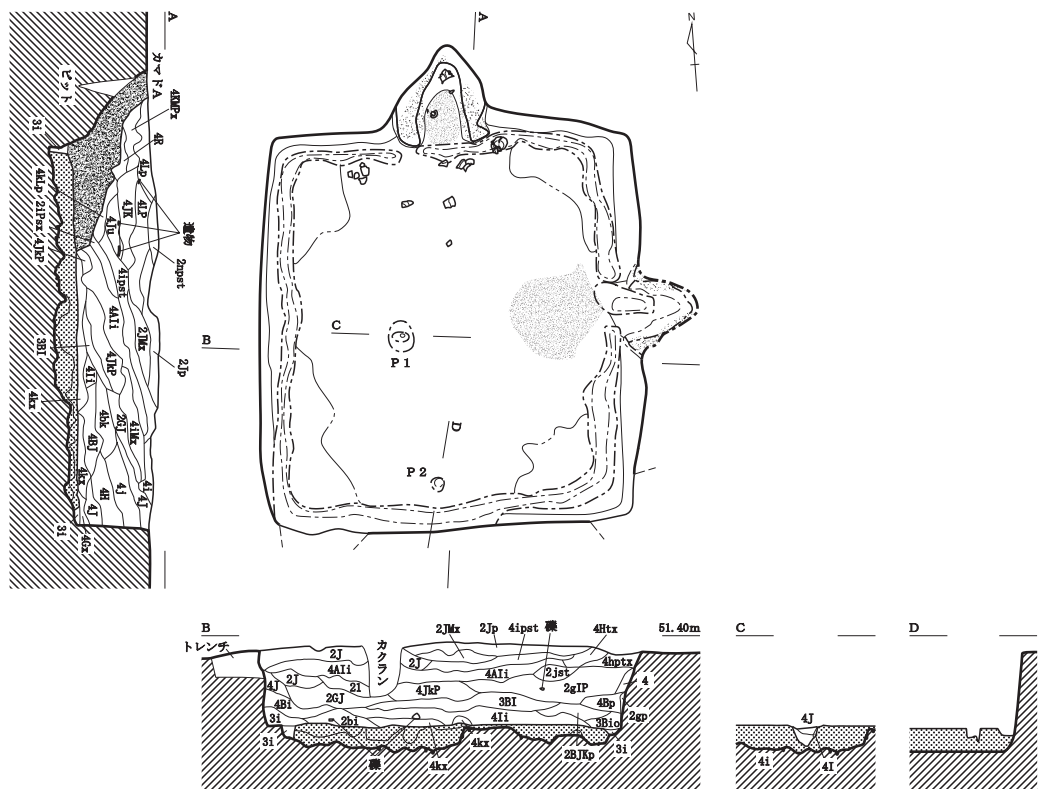
別表 12 - 1

<div>別 表 12</div> <div>縄文時代・旧石器時代石器観察表</div>			
番号	遺構	器種 器形	特 徴
Q 501 図面四四 図版五〇	N 76 - S X 5	石器 凹石・敲石	長さ 12.1, 幅 6.0, 厚さ 4.8cm。重量 487.2 g。完形品。やや扁平な棒状礫を素材にしている。使用痕跡として凹み痕・敲打痕がある。凹み痕は表裏の平坦面に形成され、片面は 2 箇所の凹みが顕著に穿たれ、別面は疎らな凹み痕である。敲打痕は不明瞭な痕跡であるが両端にみられる。砂岩。覆土。
Q 502 図面四四 図版五〇	N 76 - S X 5	石器 磨石	長さ 9.5, 幅 5.0, 厚さ 4.2cm。重量 232.02 g。欠損品。欠損しているが棒状礫が素材と思われる。使用痕跡として敲打痕・磨痕がある。敲打痕は表面・下端部の 2 箇所ある。表面は明瞭で面的に形成され、磨るための目立ての可能性はある。下端部は不明瞭な痕跡である。磨面に隣接するため、目立ての可能性はある。磨痕は正面平坦面と端部の 2 箇所に残る。どちらも不明瞭な痕跡である。砂岩。覆土。
Q 503 図面四四 図版五〇	N 76 - 遺構外	石器 打製石斧	長さ 8.5, 幅 4.1, 厚さ 1.4cm。重量 65.97 g。欠損品。石材の風化が著しく、剥離面・稜が非常に不鮮明である。表裏からの加工によって平面形状は短冊形に加工される。ホルンフェルス。表土・攪乱。
Q 504 図面四四 図版五〇	N 76 - 遺構外	石器 ナイフ形 石器	長さ 3.8, 幅 1.5, 厚さ 0.5cm。重量 1.96 g。欠損品。縦長剥片あるいは石刃を素材とする。残存部分は基部・先端部どちらも考えられるが基部として配置した。素材剥片末端側を基部として用い、左側縁に素材縁辺形状に沿って 60°前後の急角度な二次加工が施される。残存部分だけでは、一側縁加工のナイフ形石器と判断する。黒曜石。信州産。覆土。



全体図 (1 / 200)

図面二 遺構実測図

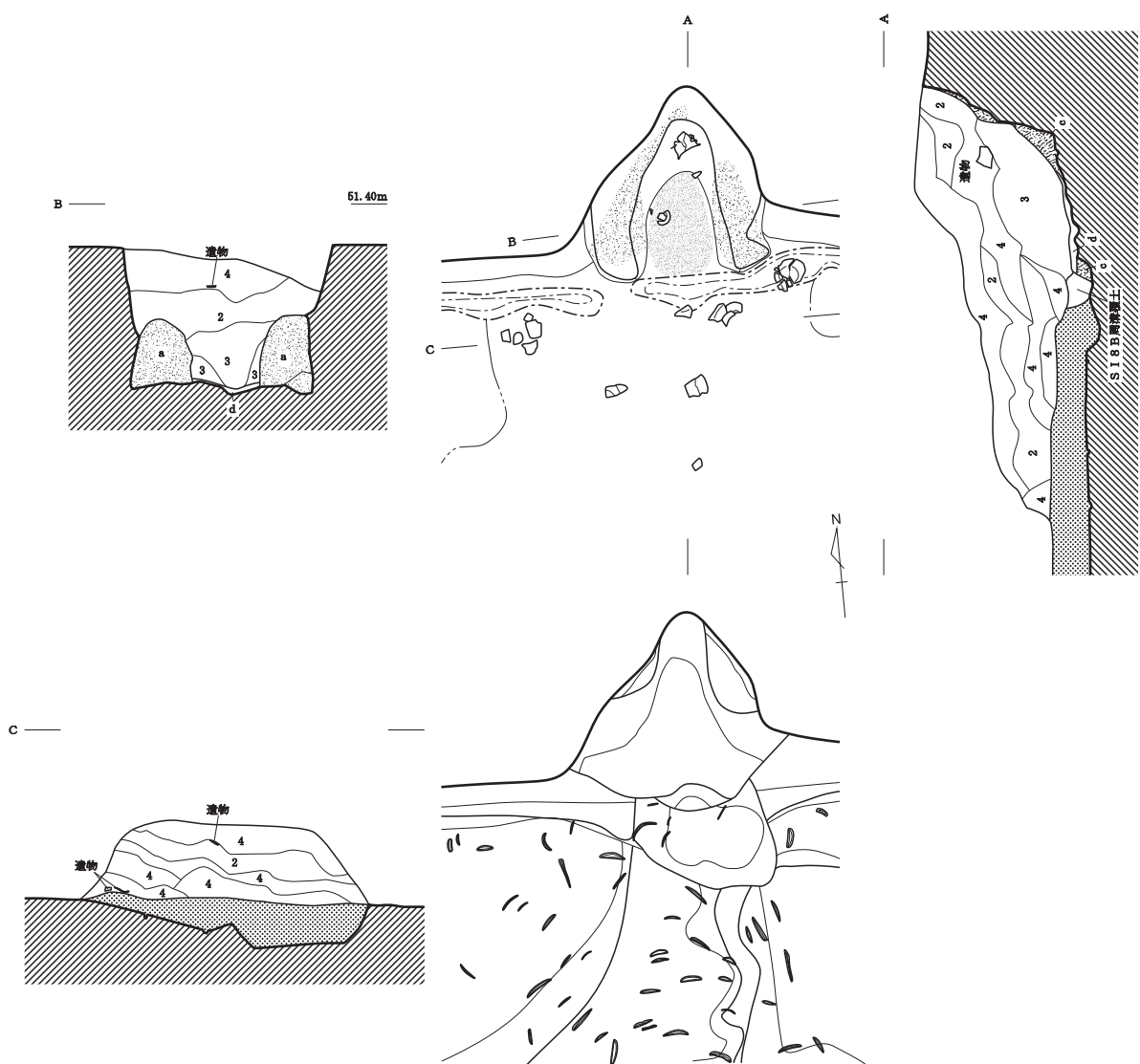


1. N76-S I 8 A・B実測図 (1/80)

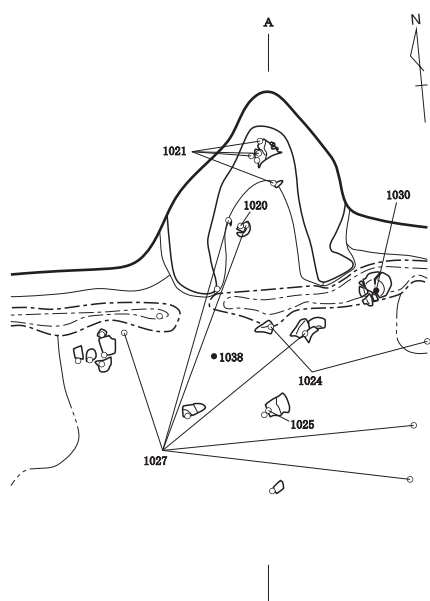


2. N76-S I 8 A・B掘り方実測図 (1/80)

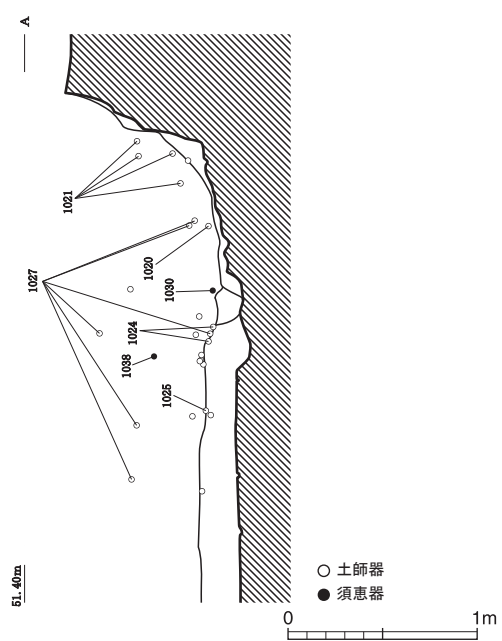
図面三 遺構実測図



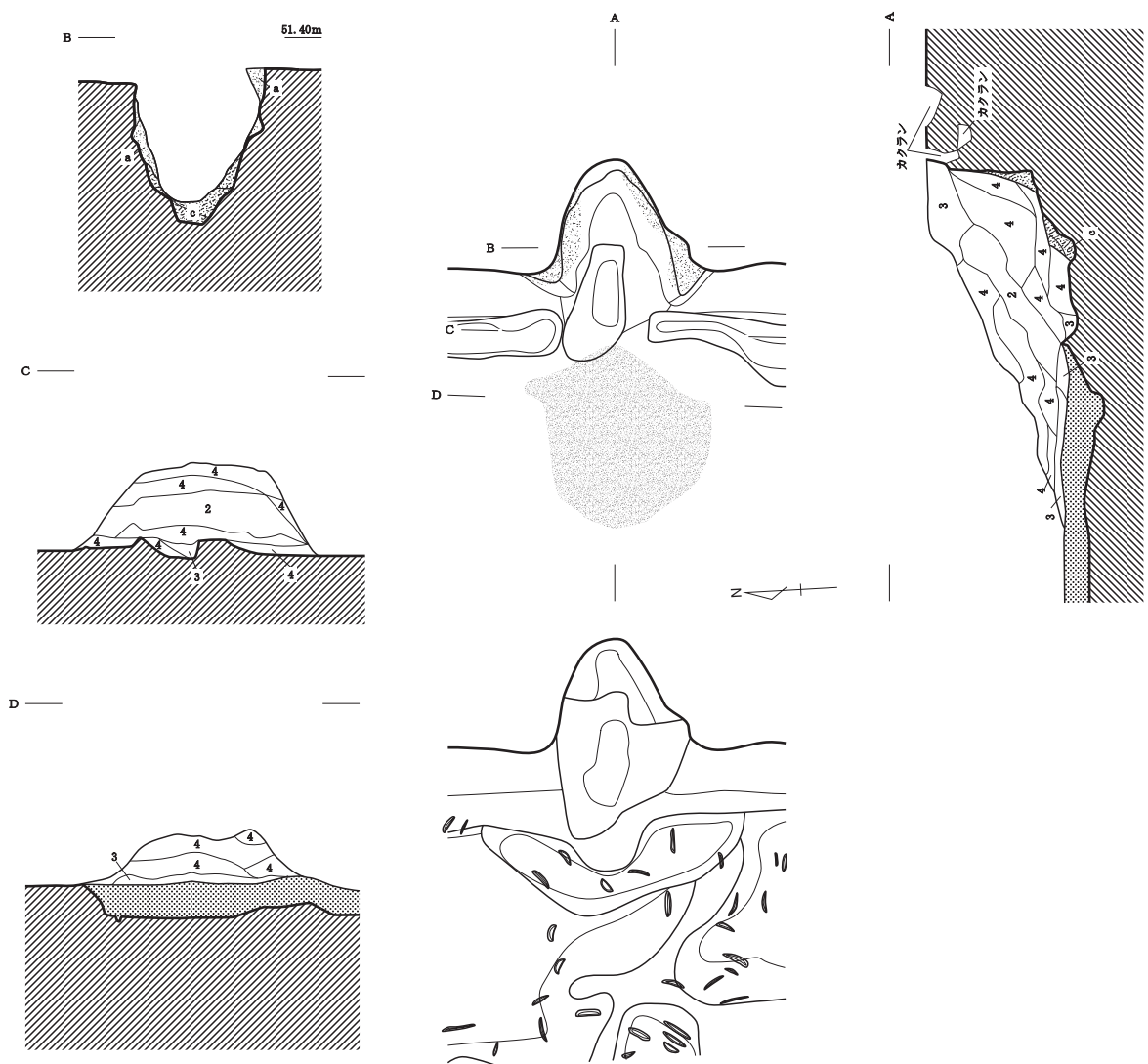
1. N76-S18竈A実測図 (1/40)



2. N76-S18竈A遺物分布図 (1/40)

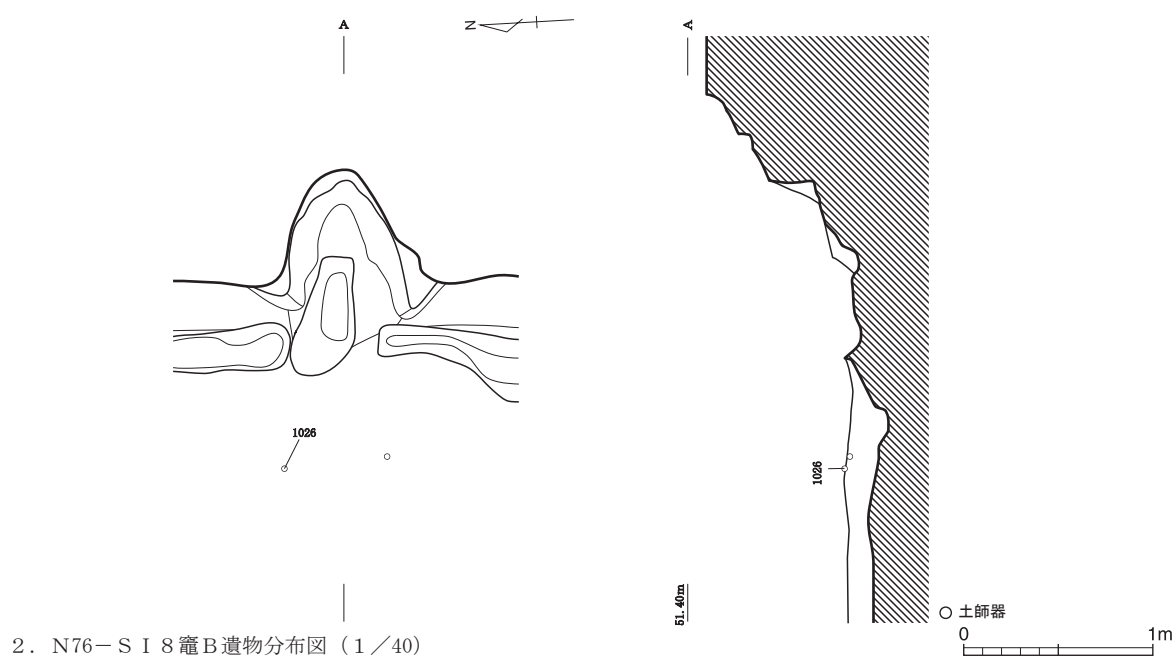


図面四 遺構実測図



1. N76-S I 8 竈B実測図 (1/40)

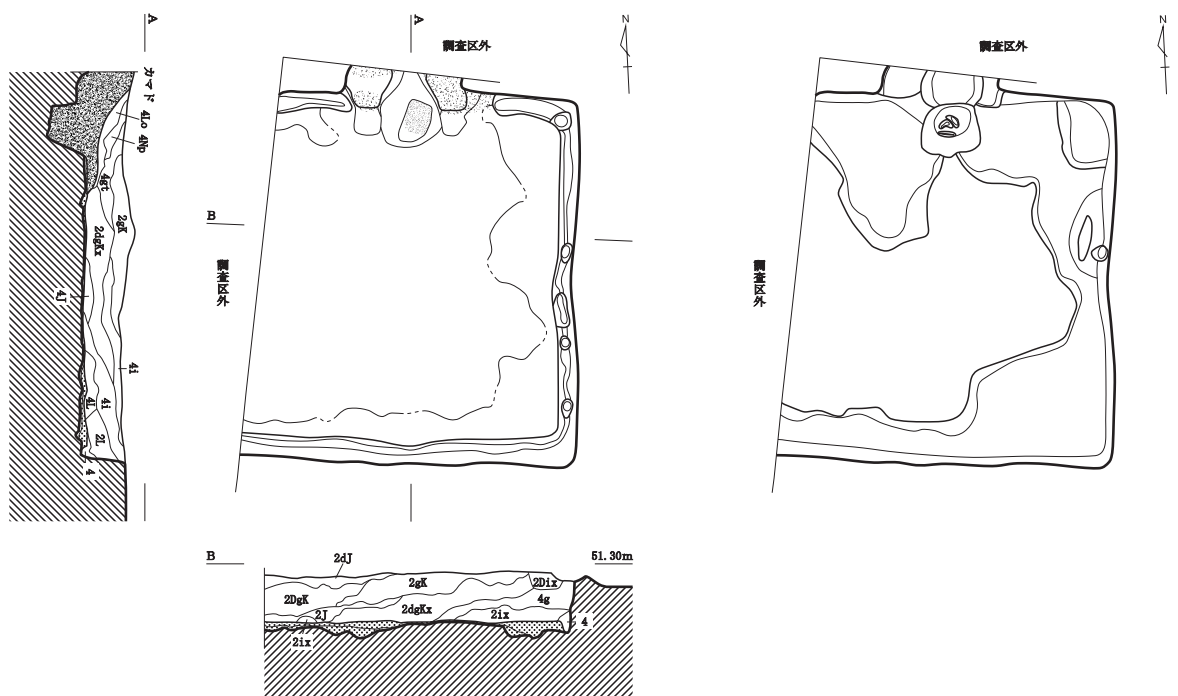
0 1m



2. N76-S I 8 竈B遺物分布図 (1/40)

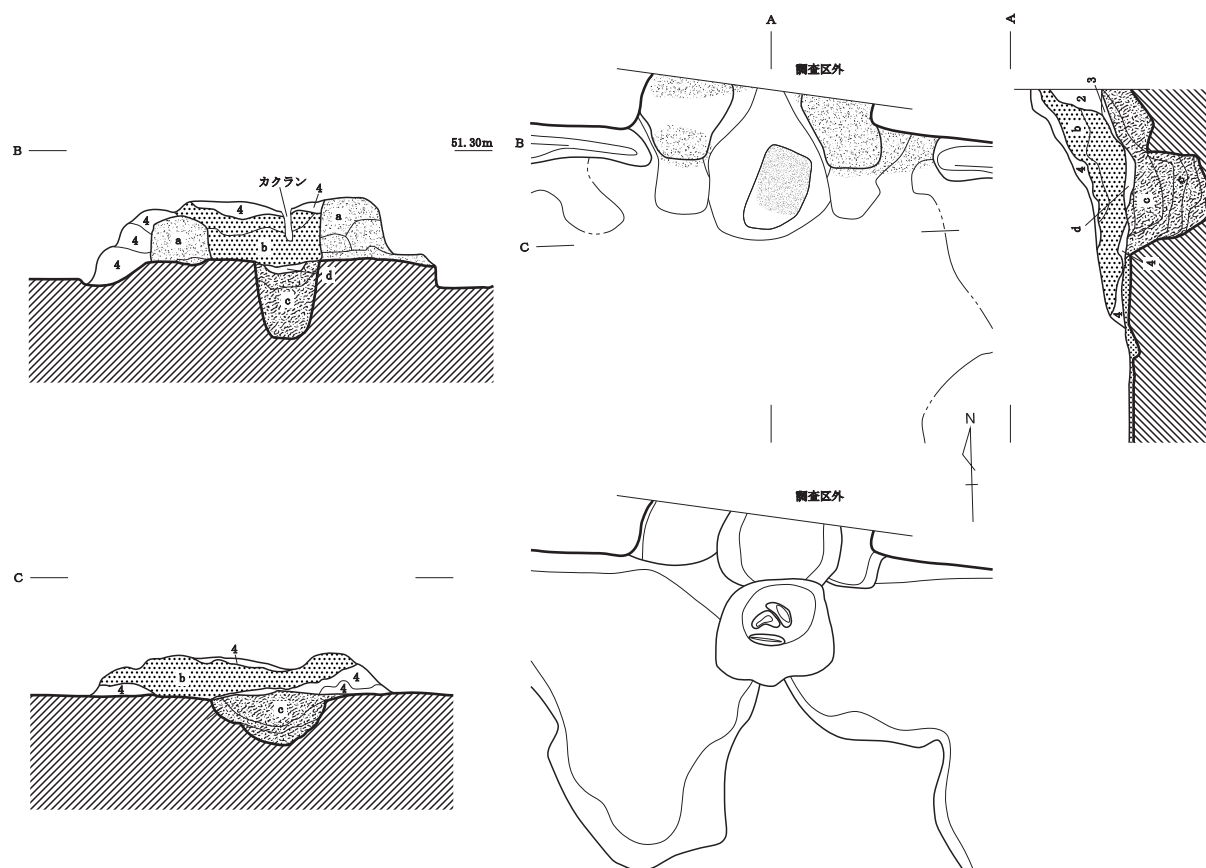
○ 土師器
0 1m

A horizontal number line is shown with three major tick marks labeled 0, 1, and 2m. The segment between 0 and 1 is further divided into five equal sub-segments by four smaller tick marks.



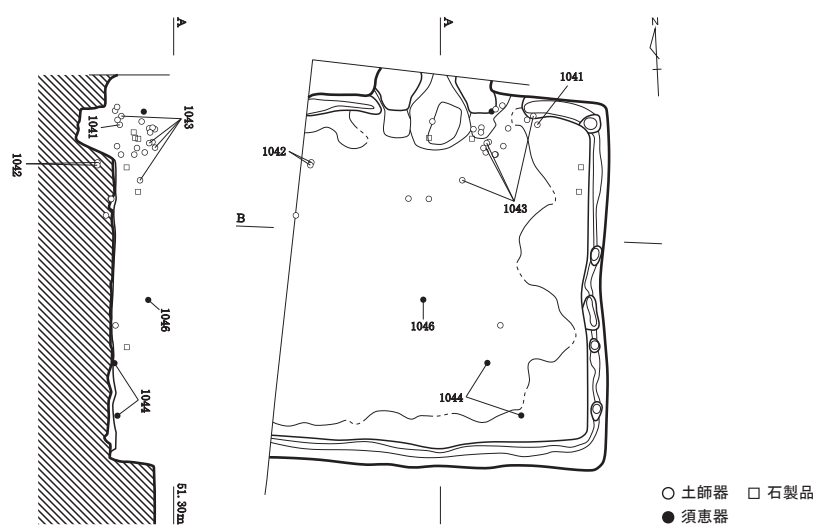
A horizontal number line is shown with three major tick marks labeled 0, 1, and 2m. The segment between 0 and 1 is further divided into five equal sub-segments by four intermediate tick marks.

図面六 遺構実測図



1. N76-S I 9 竈実測図 (1/40)

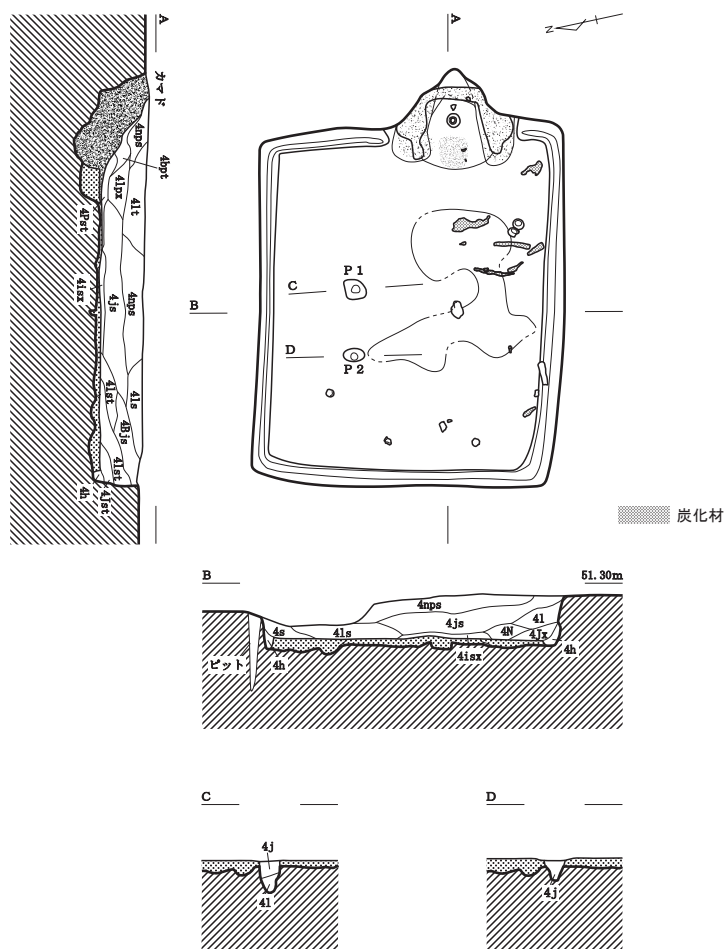
0 1m



2. N76-S I 9 遺物分布図 (1/80)

0 1 2m

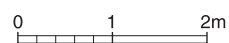
図面七 遺構実測図



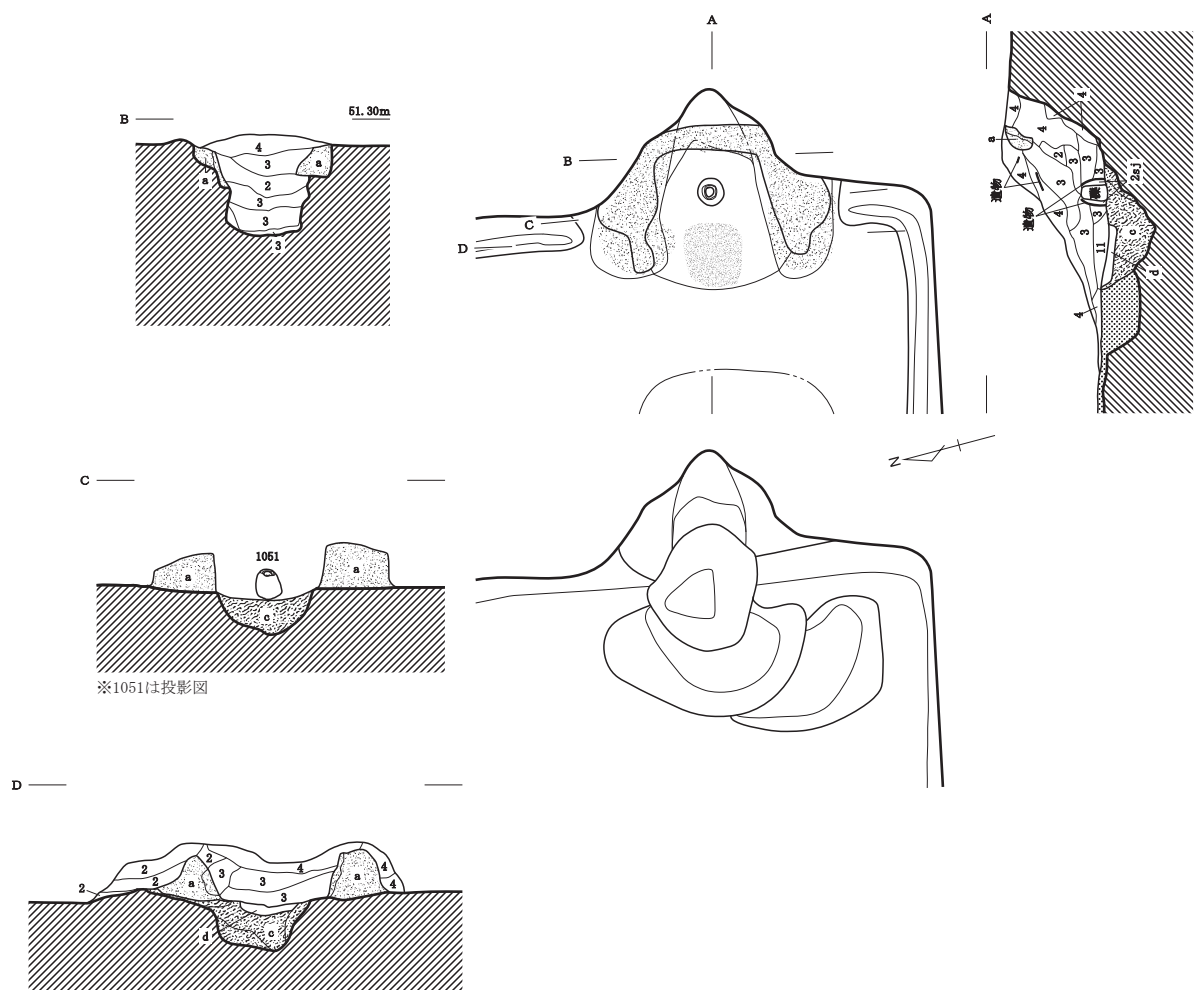
1. N76-S I 10実測図 (1/80)



2. N76-S I 10掘り方実測図 (1/80)

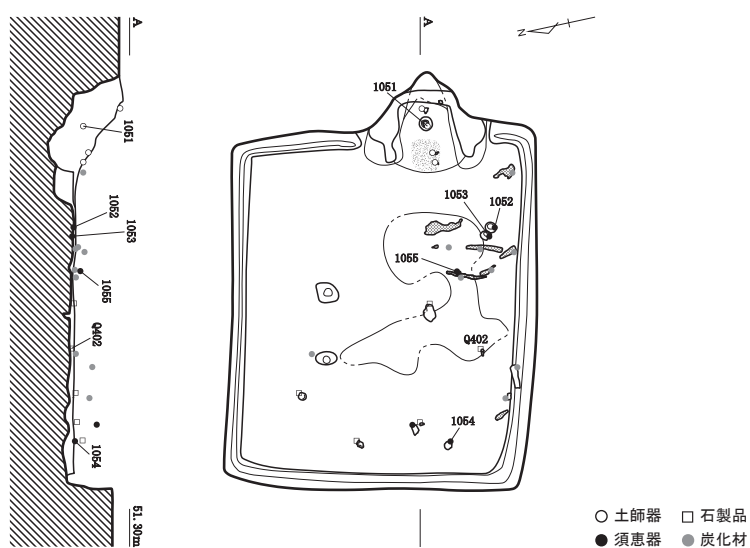


図面八 遺構実測図



1. N76-S I 10竈実測図 (1/40)

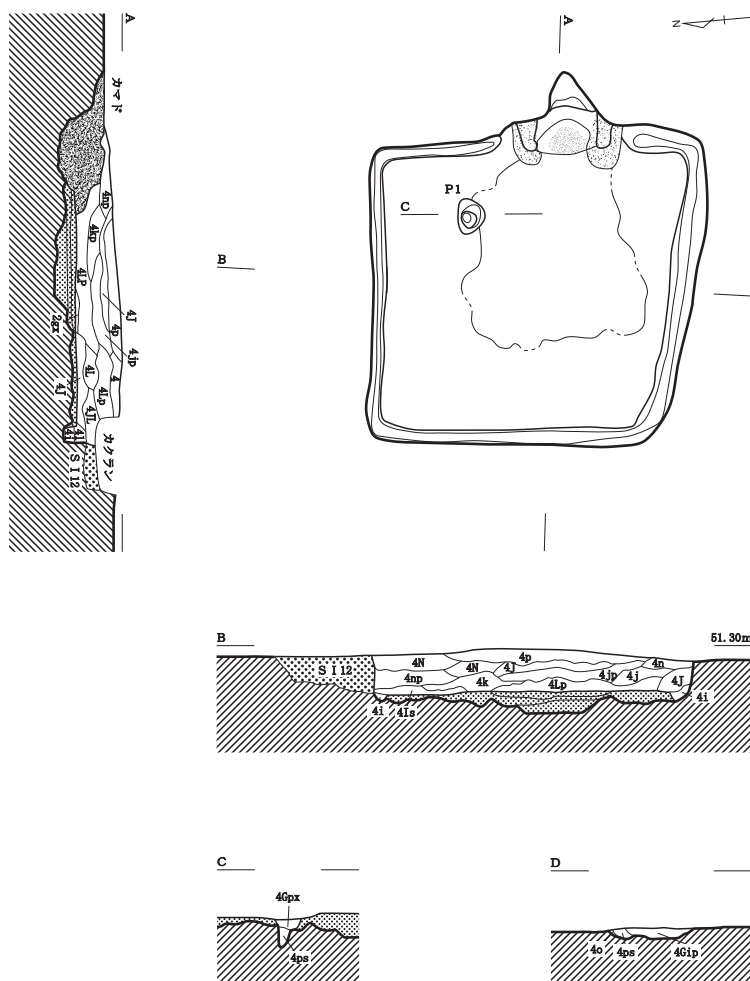
0 1m



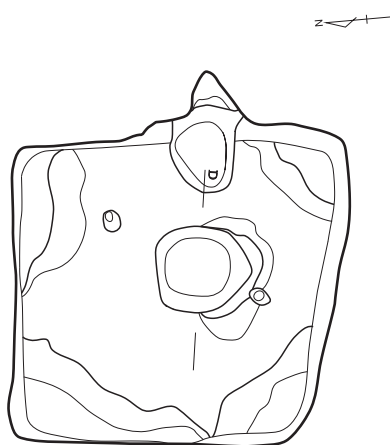
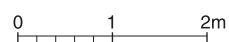
2. N76-S I 10遺物分布図 (1/80)

0 1 2m

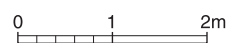
図面九 遺構実測図



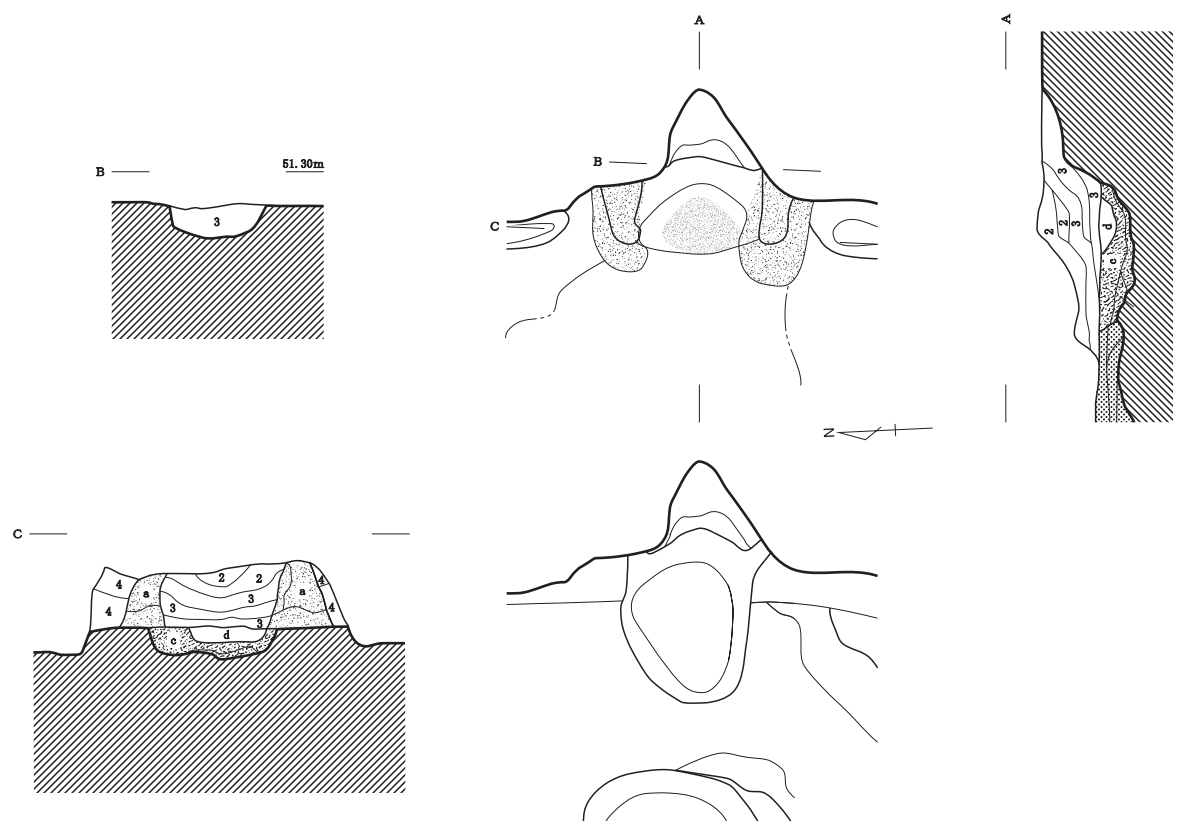
1. N76-S I 11実測図 (1/80)



2. N76-S I 11掘り方実測図 (1/80)

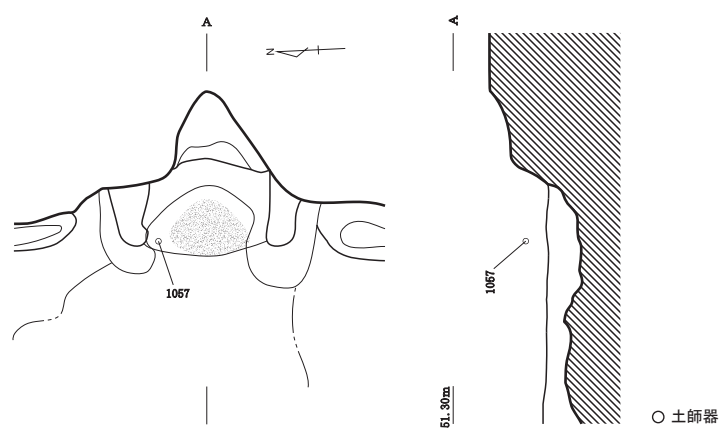


図面一〇 遺構実測図



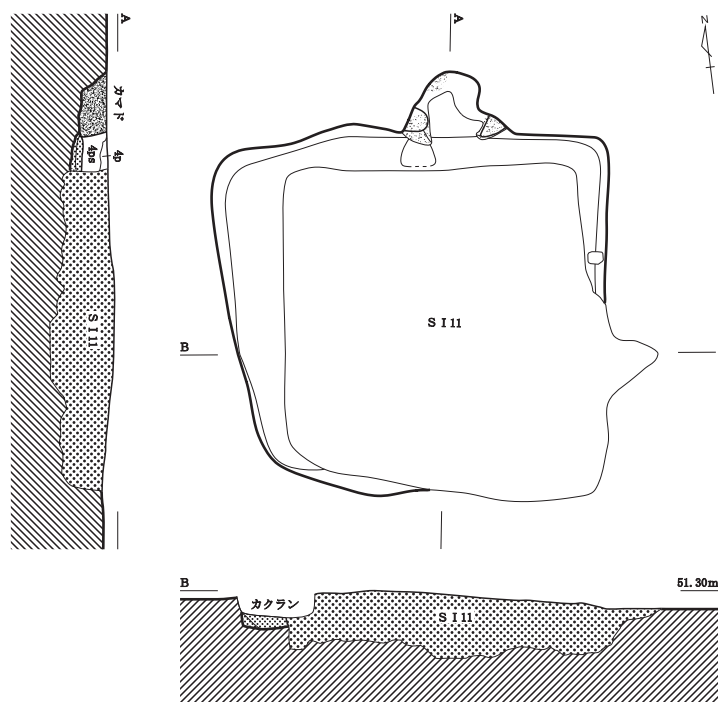
1. N76-S I 11竈実測図 (1/40)

0 1m

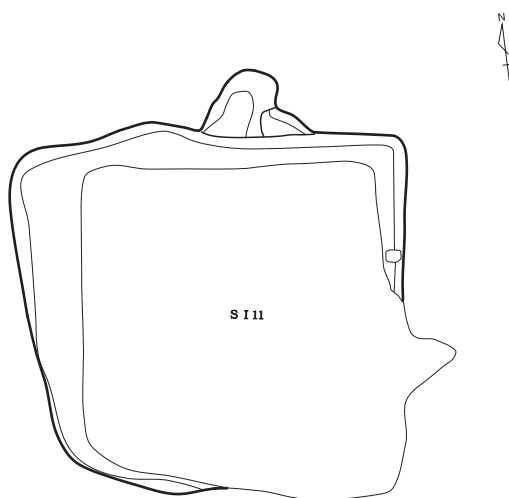
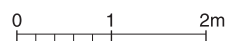


2. N76-S I 11竈遺物分布図 (1/40)

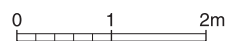
0 1m

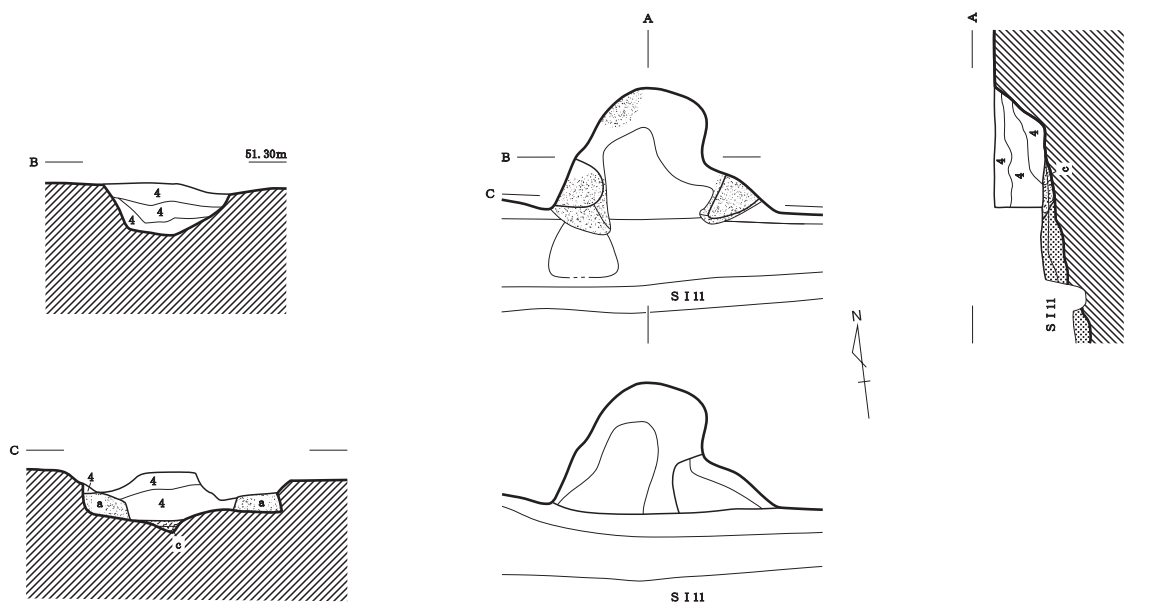


1. N76-S I 12実測図 (1/80)



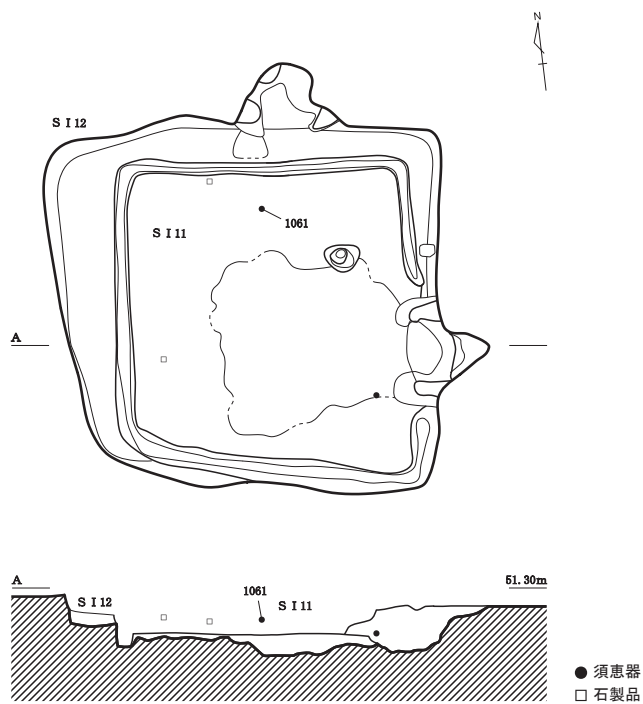
2. N76-S I 12掘り方実測図 (1/80)





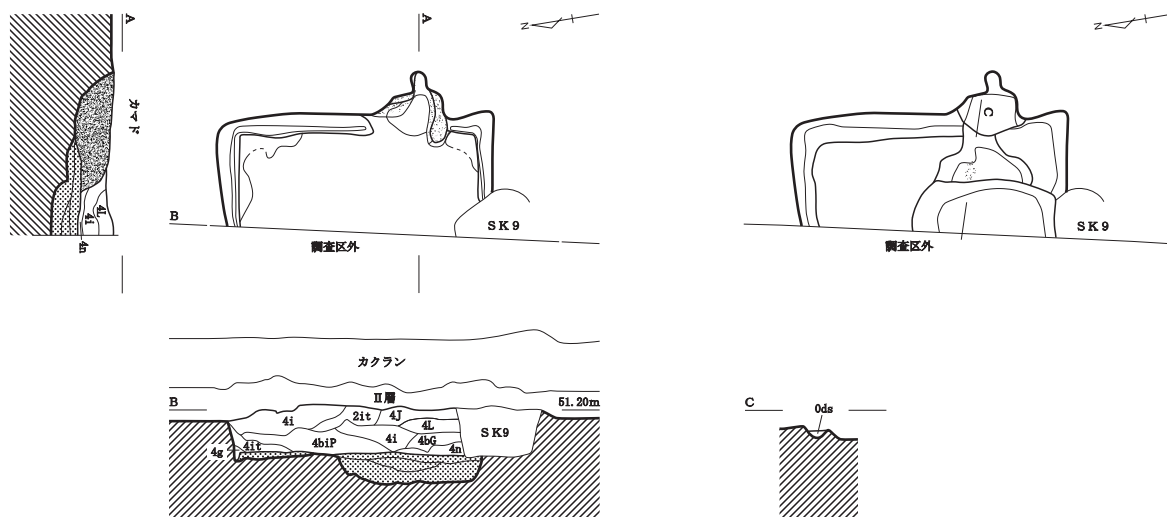
1. N76-S I 12竈実測図 (1/40)

0 1m



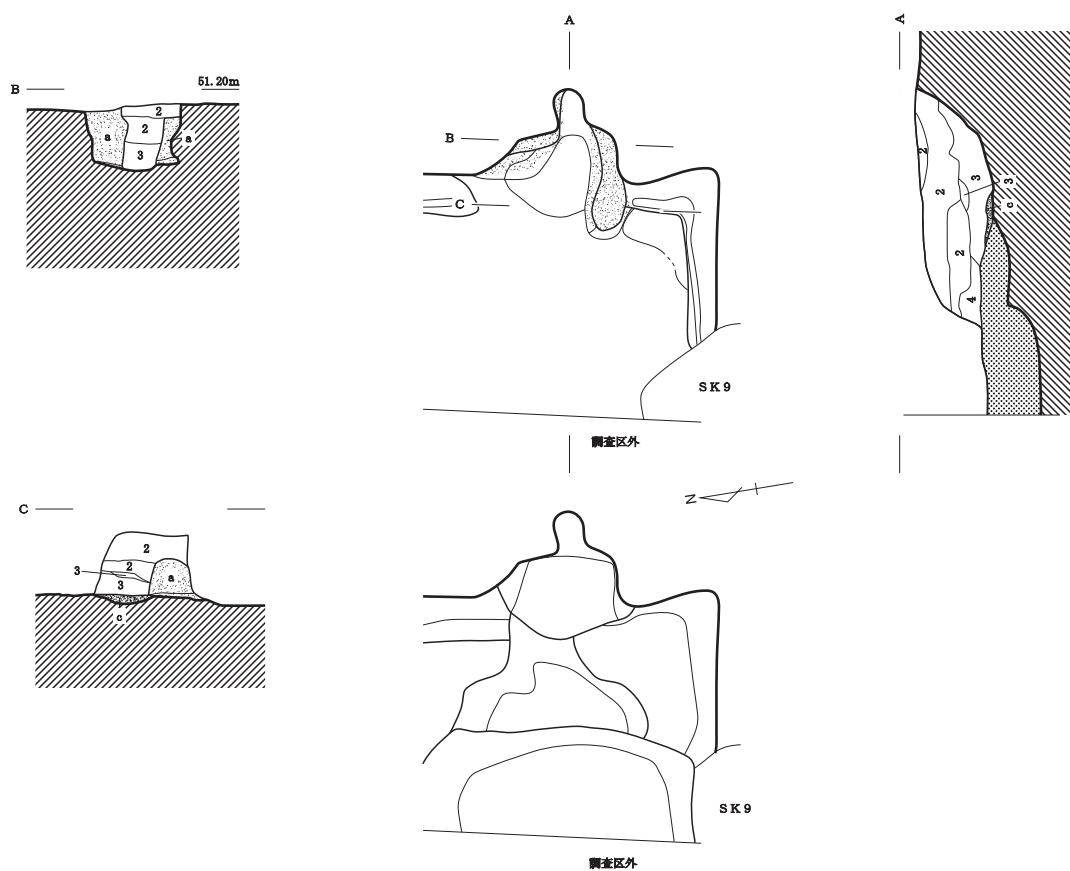
2. N76-S I 11・12遺物分布図 (1/80)

0 1 2m



1. N76-S I13実測図・掘り方実測図 (1/80)

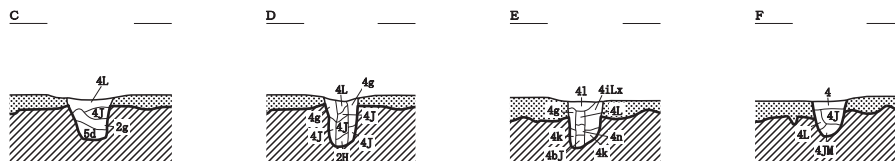
0 1 2m



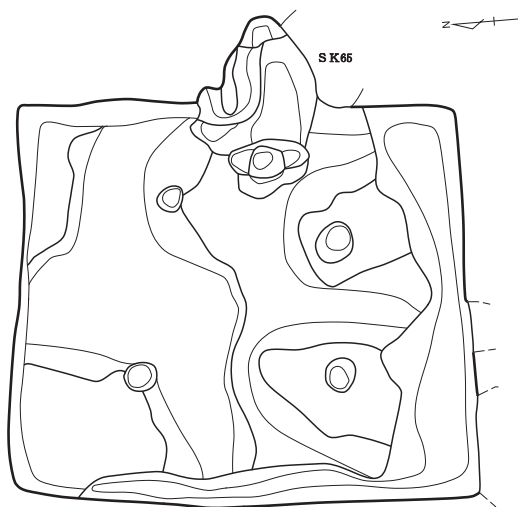
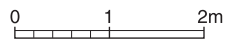
2. N76-S I13竈実測図 (1/40)

0 1m

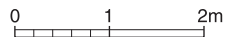
図面一四 遺構実測図



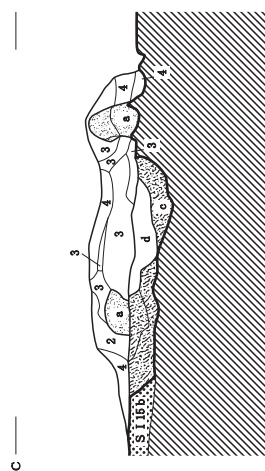
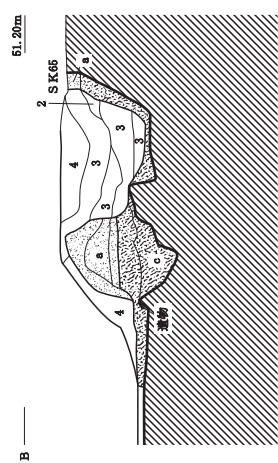
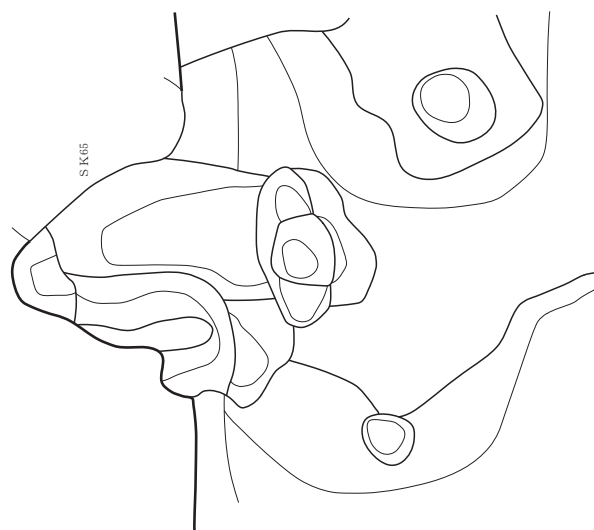
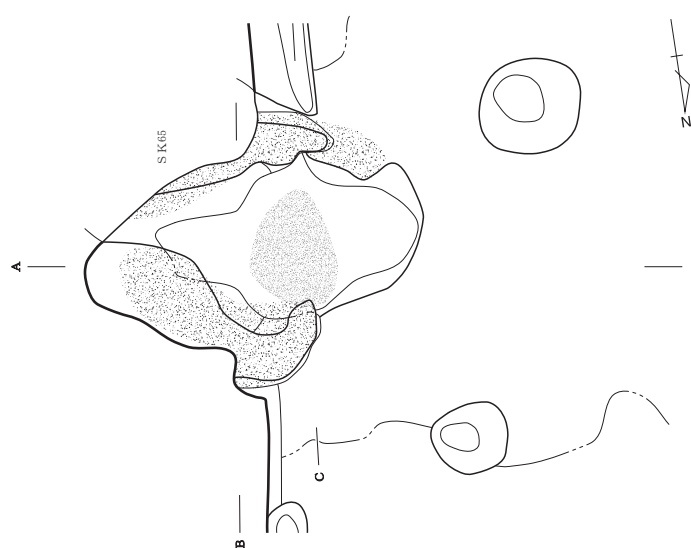
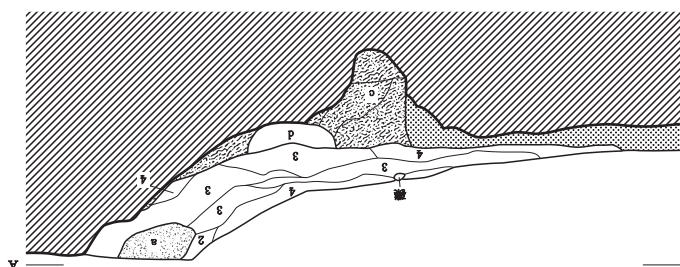
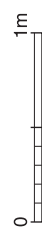
1. N76-S I 14実測図 (1/80)



2. N76-S I 14掘り方実測図 (1/80)

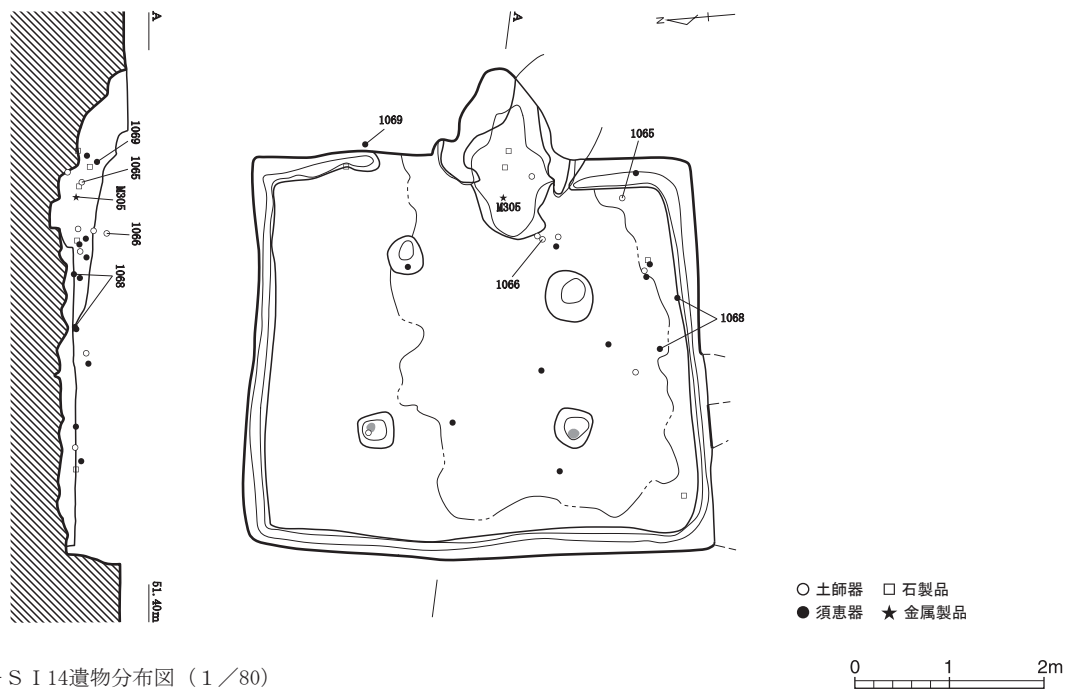


図面一五 遺構実測図

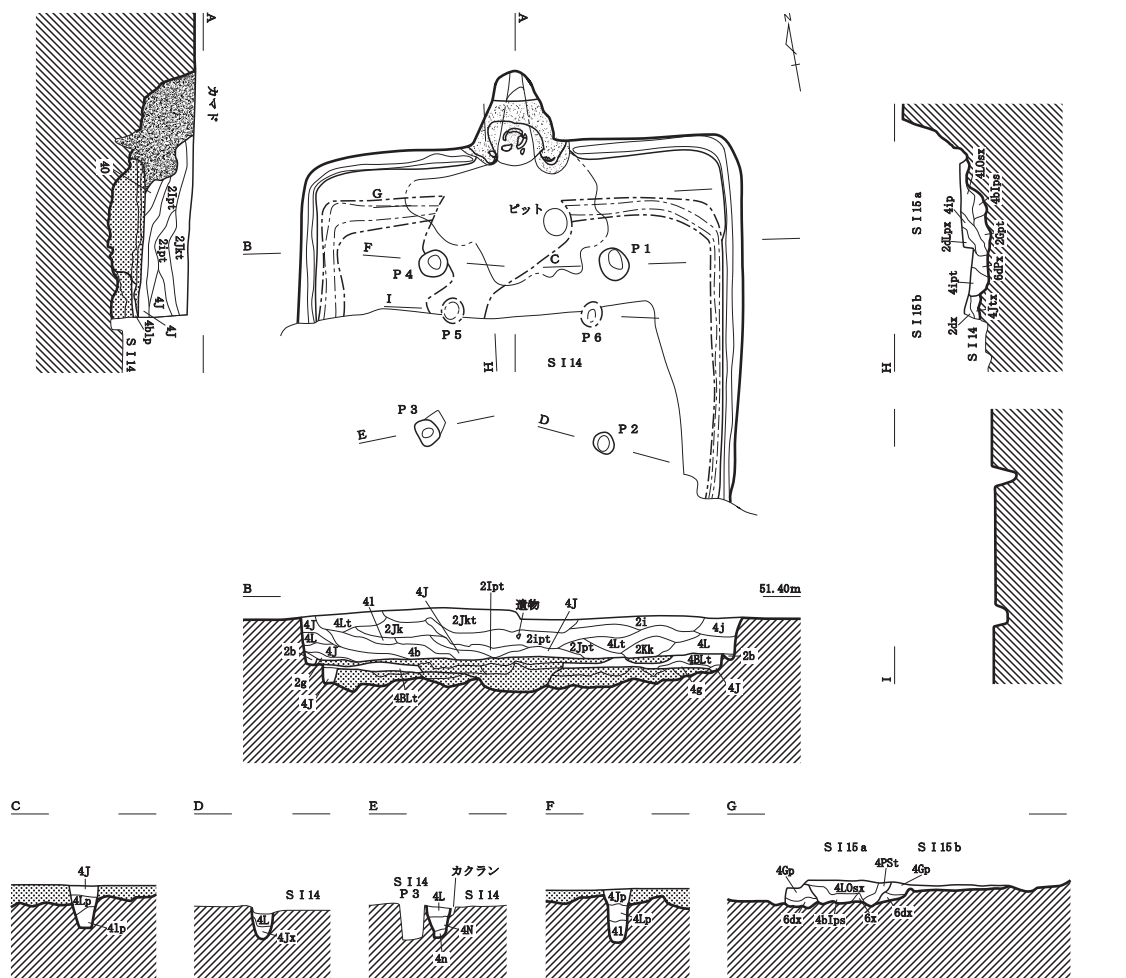


1. N76-S114竈実測図 (1/40)

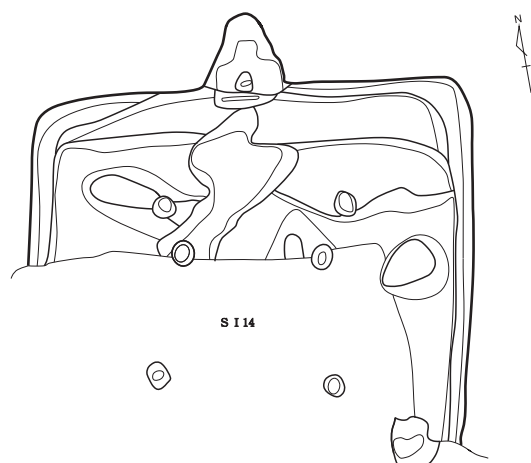
図面一六 遺構実測図



1. N76-S I14遺物分布図 (1/80)

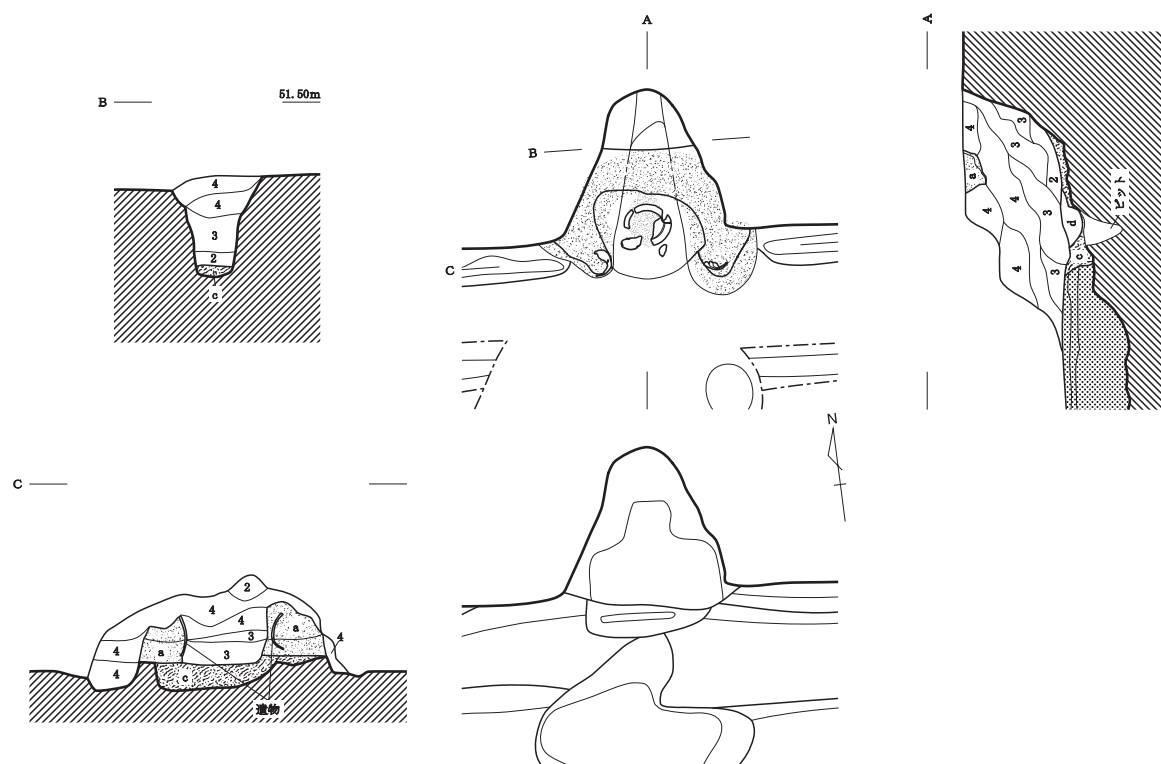


2. N76-S I15A・B実測図 (1/80)



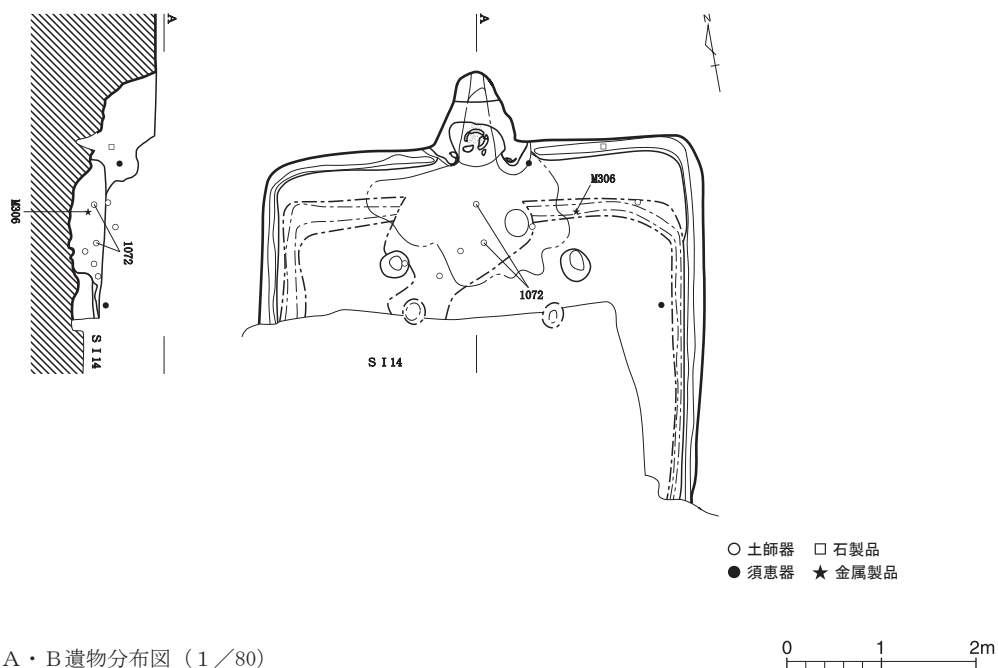
1. N76-S I 15A・B掘り方実測図 (1/80)

0 1 2m

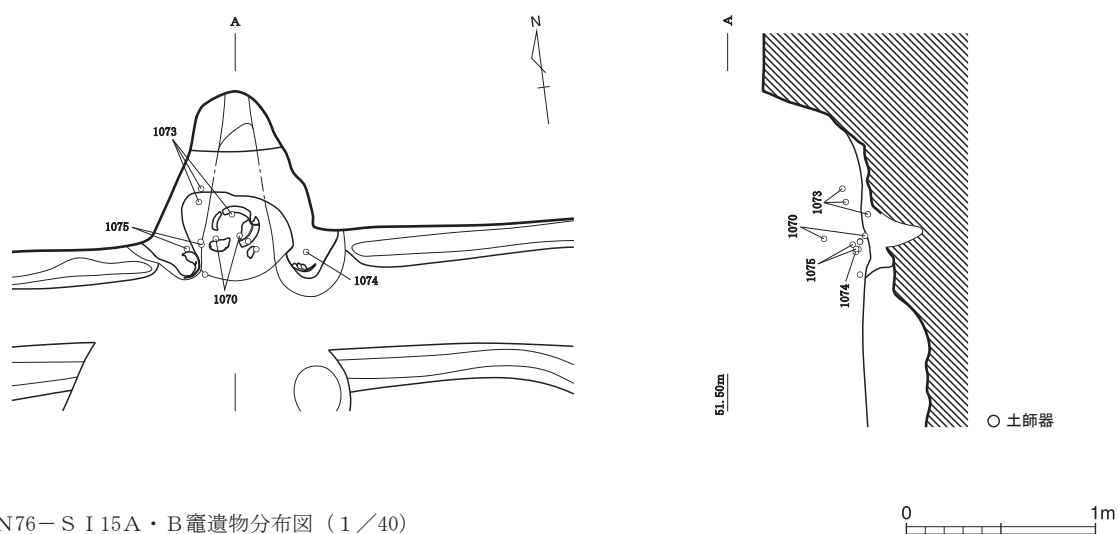


2. N76-S I 15A・B竈実測図 (1/40)

0 1m

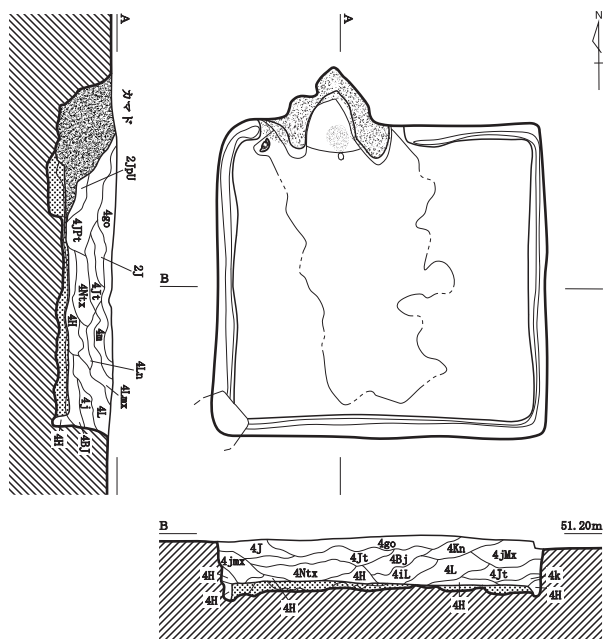


1. N76-S I 15A · B遺物分布図 (1/80)

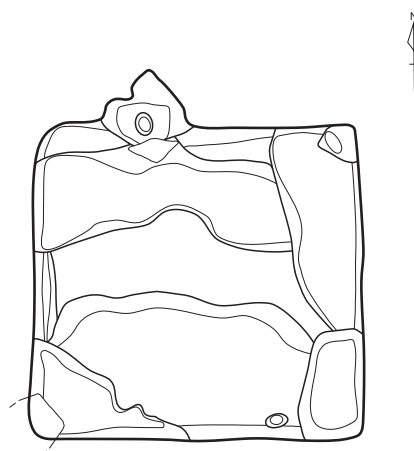
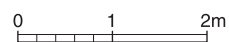


2. N76-S I 15A・B竈遺物分布図 (1/40)

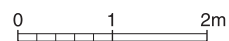
図面一九 遺構実測図



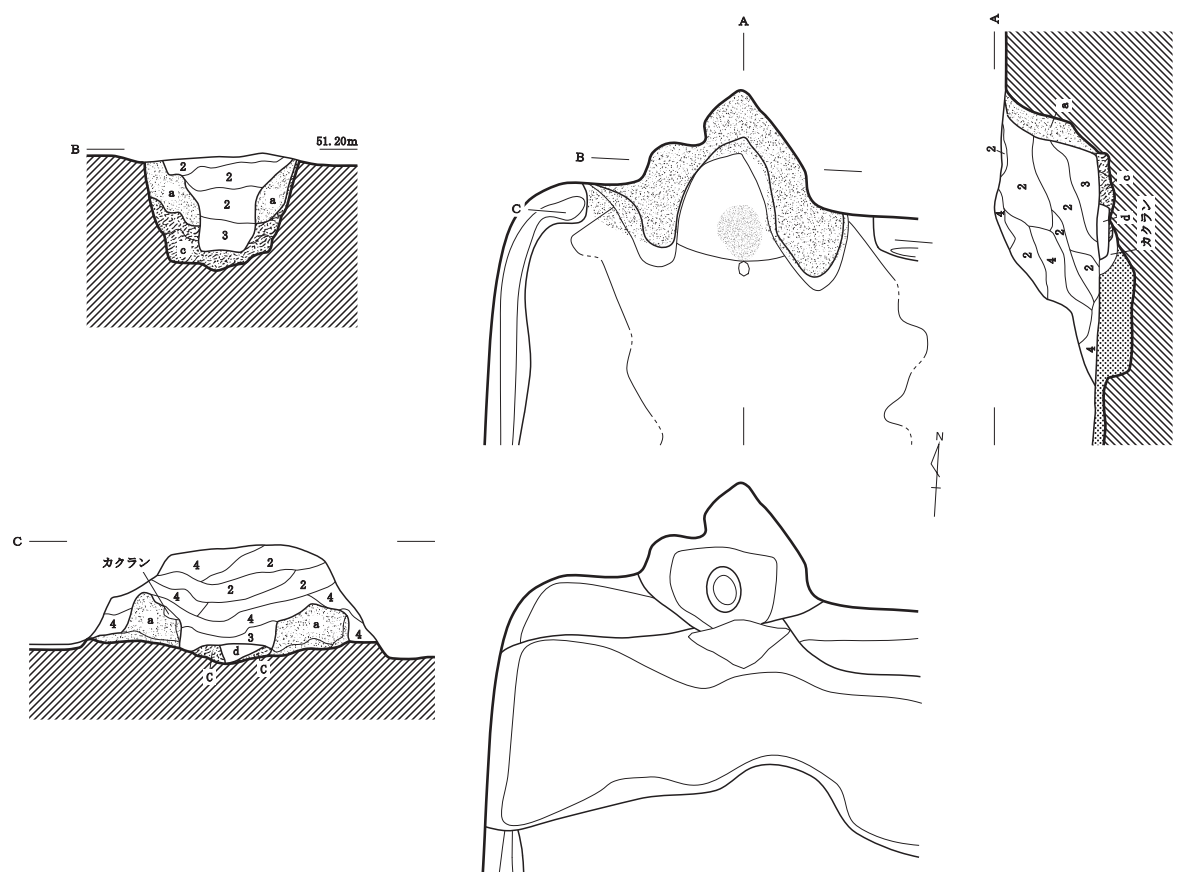
1. N76-S I 16実測図 (1/80)



2. N76-S I 16掘り方実測図 (1/80)

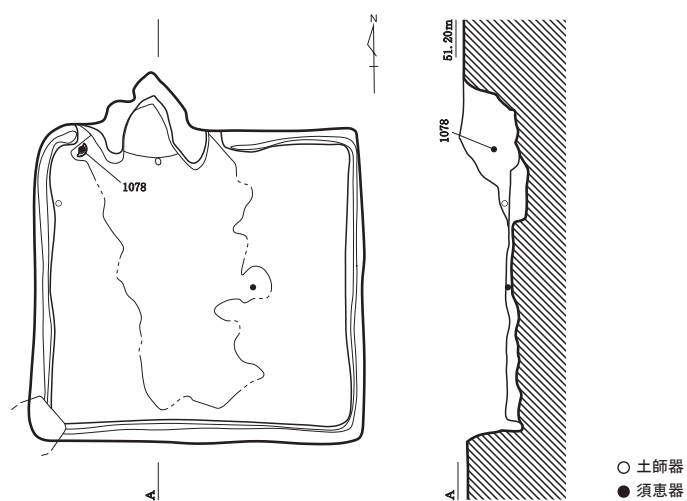


図面二〇 遺構実測図



1. N76-S116 竈実測図 (1/40)

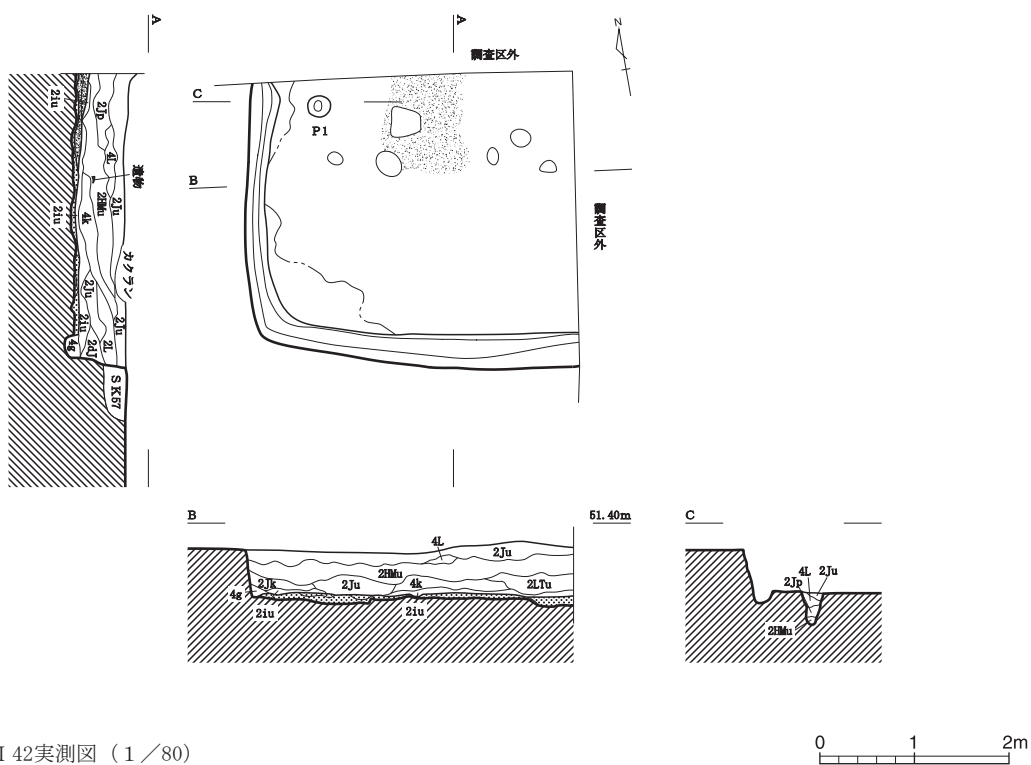
0 1m



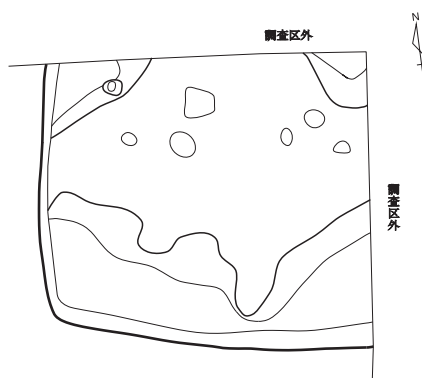
2. N76-S116 遺物分布図 (1/80)

0 1 2m

図面二 遺構実測図

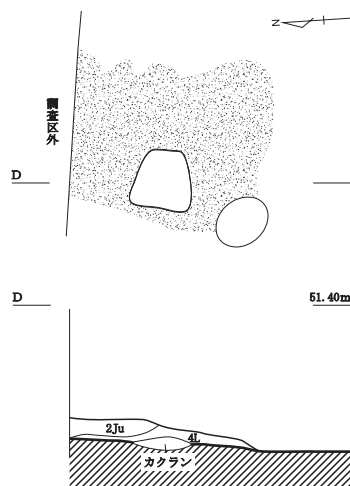


1. N77-S I 42実測図 (1/80)

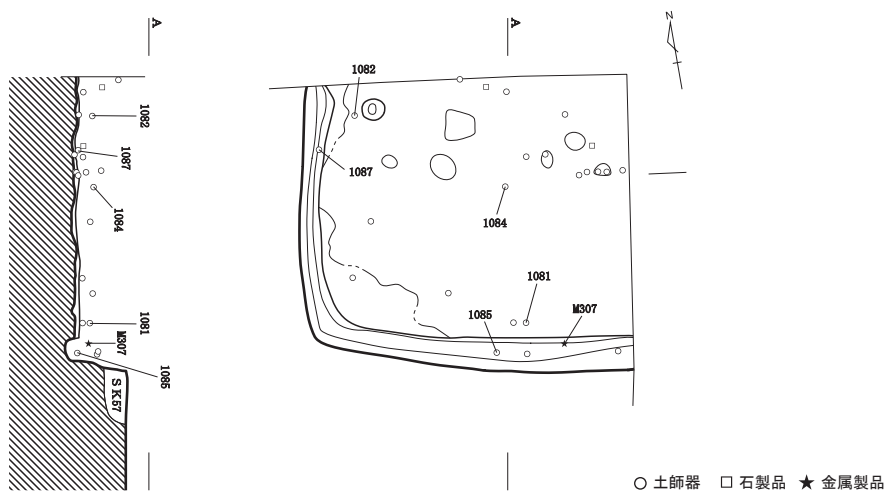


2. N77-S I 42掘り方実測図 (1/80)

図面三二 遺構実測図

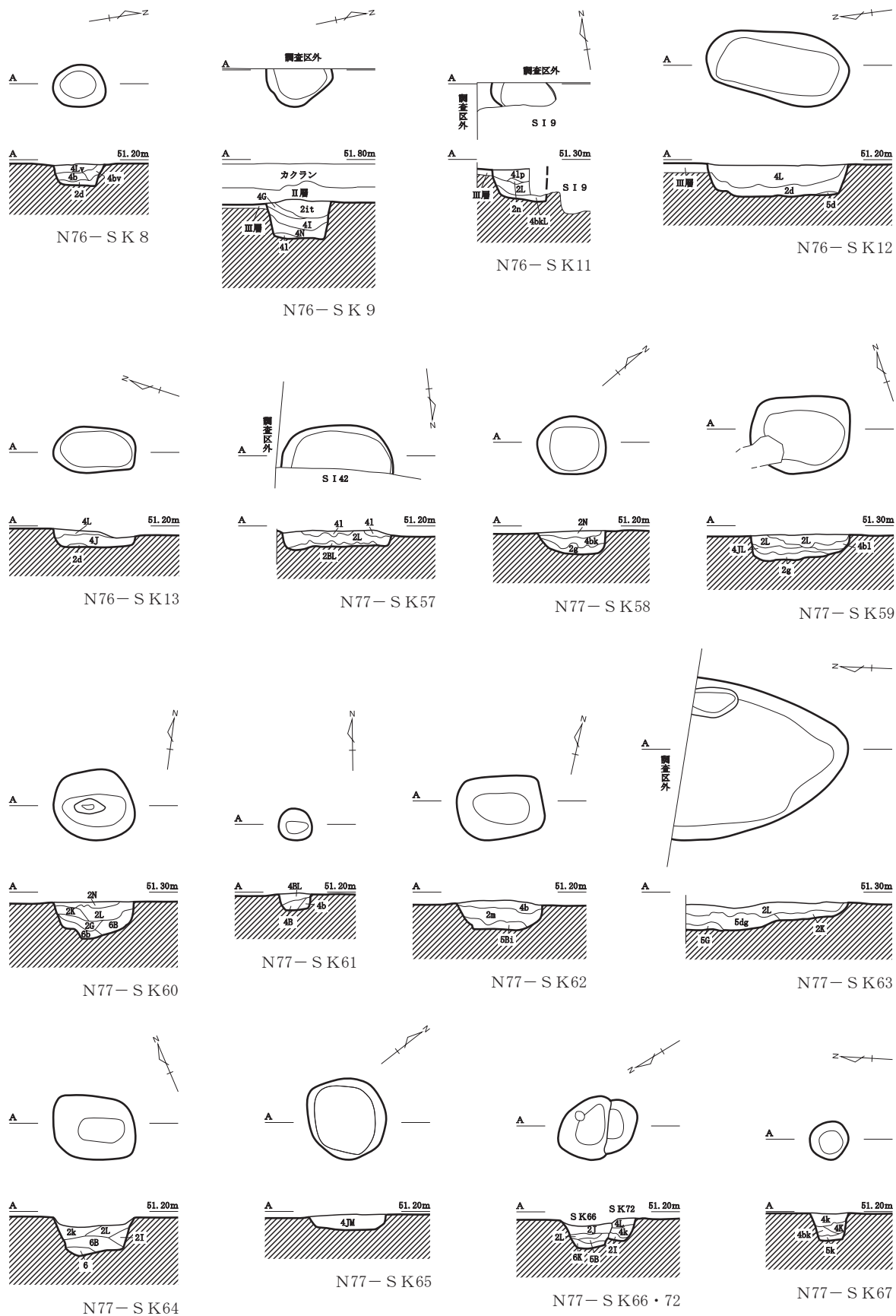


1. N77-S I 42竈（粘土範囲）実測図（1/40）



2. N77-S I 42遺物分布図（1/80）

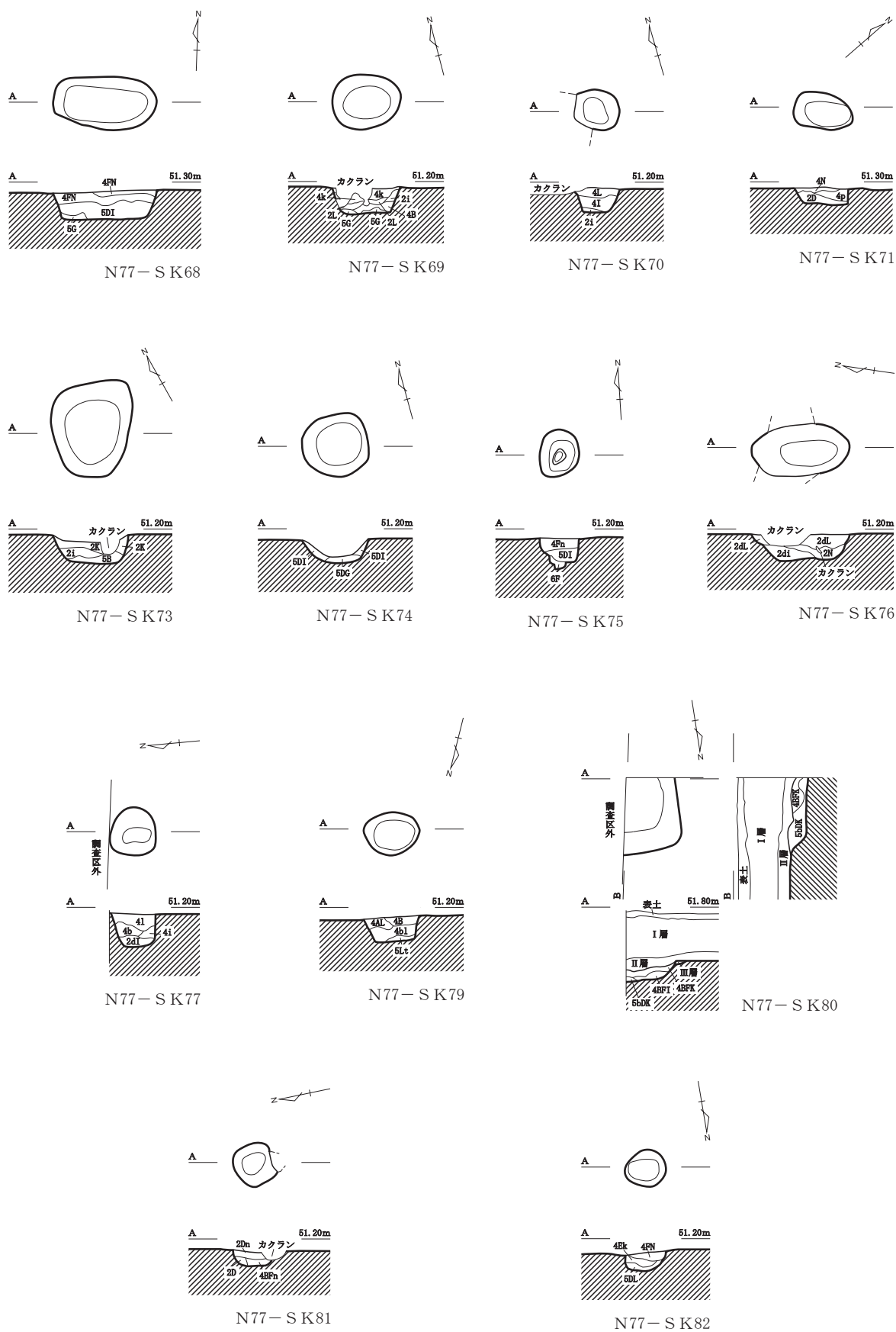




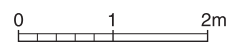
1. N76-SK 8・9・11~13, N77-SK 57~67・72実測図 (1/80)



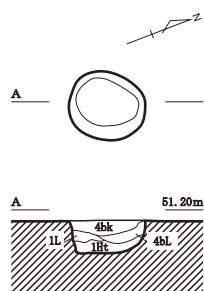
図面二四 遺構実測図



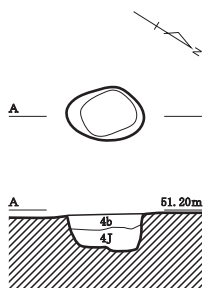
1. N77-S K68~71・73~77・79~82実測図 (1/80)



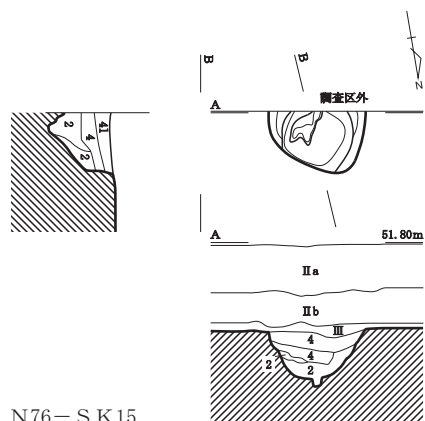
図面二五 遺構実測図



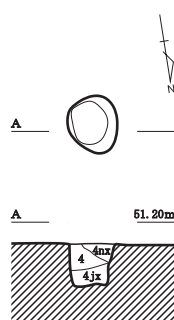
N76-S K10



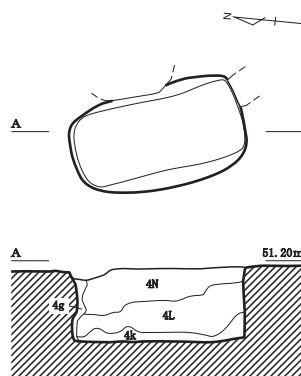
N76-S K14



N76-S K15

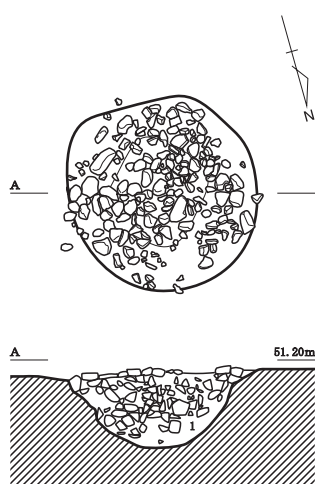
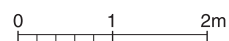


N76-S K16

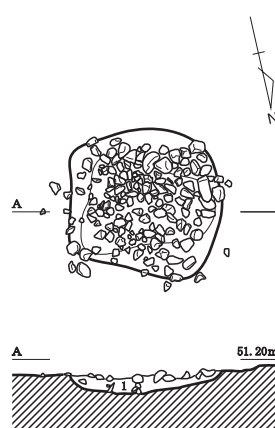


N77-S K78

1. N79-10・14~16, N77-S K78実測図 (1/80)



N76-S X 5

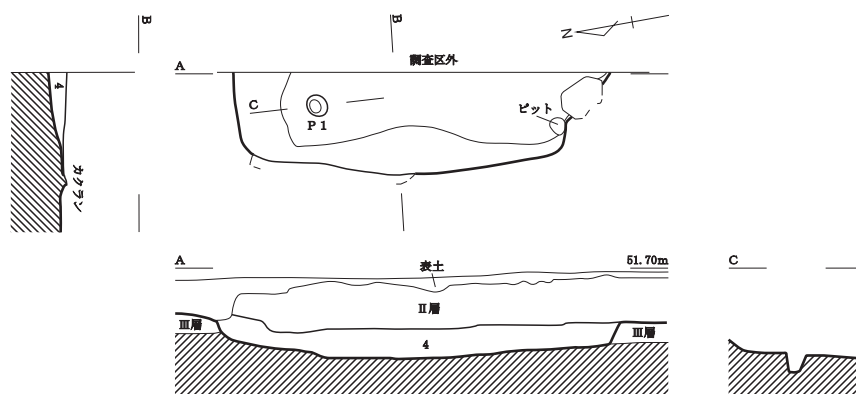


N76-S X 6

2. N76-S X 5・6実測図 (1/40)

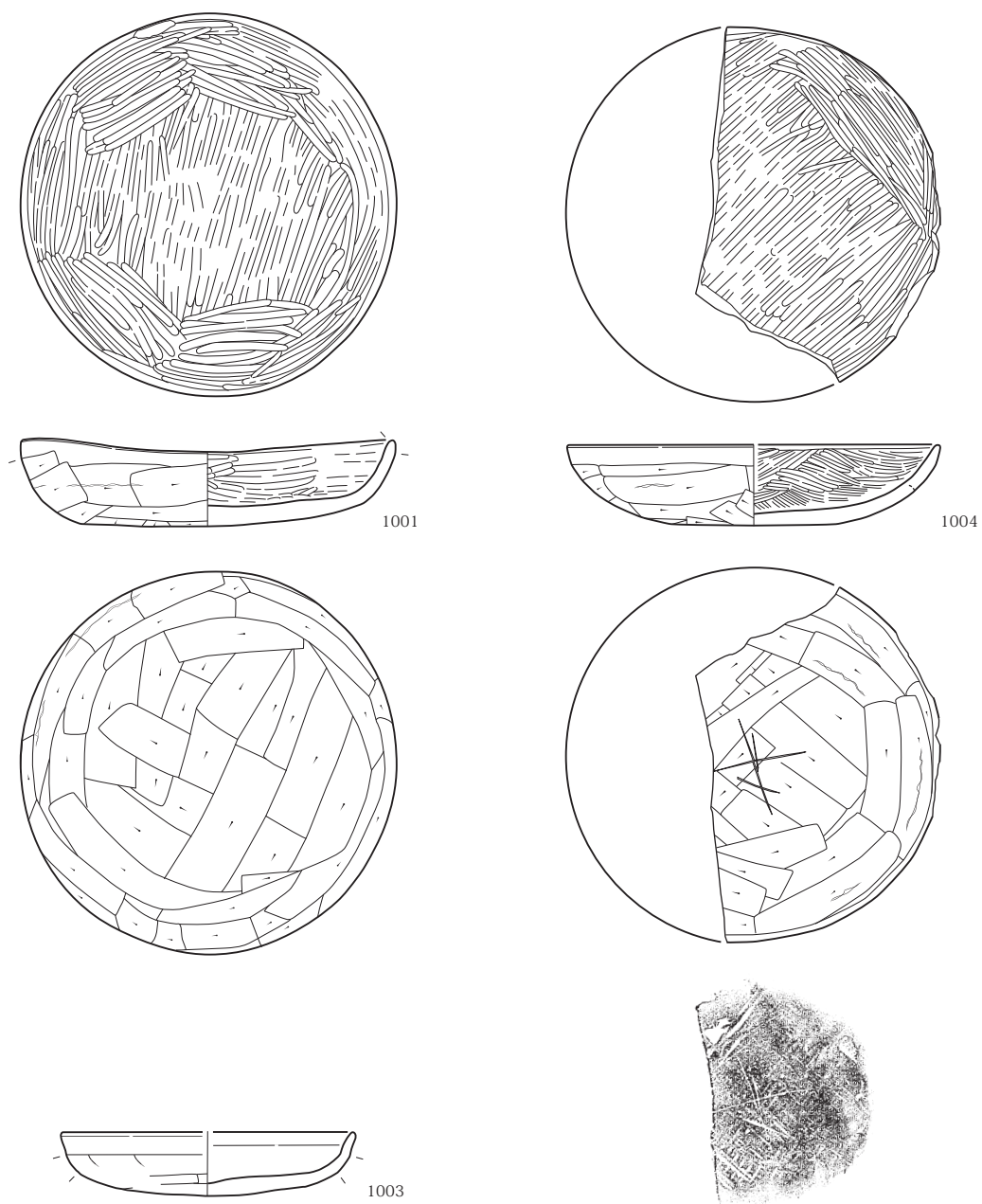


図面二六 遺構実測図



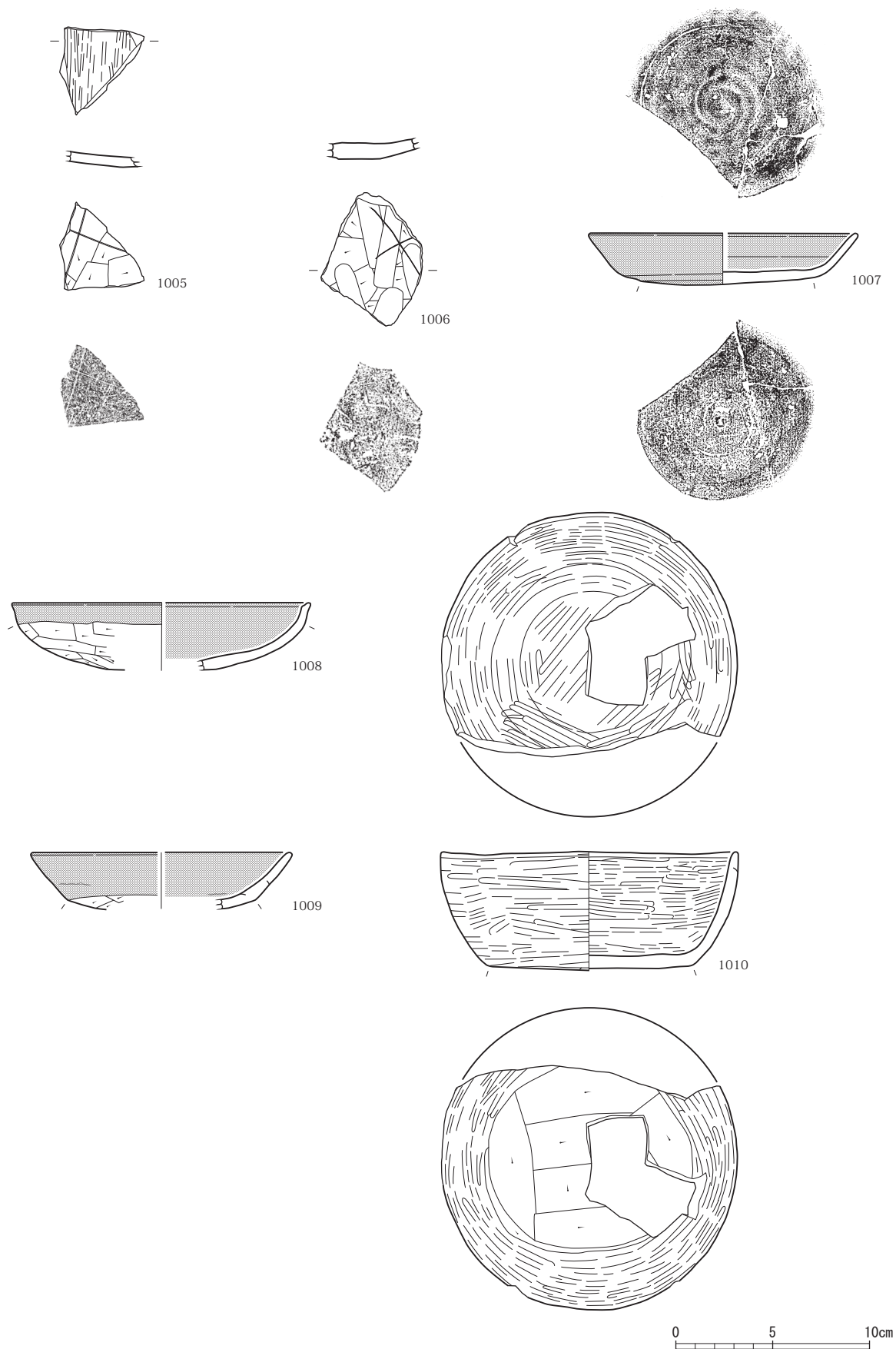
1. N77-S X15実測図 (1/40)

0 1m

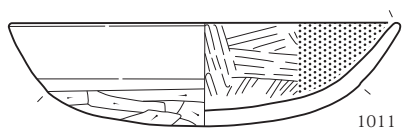
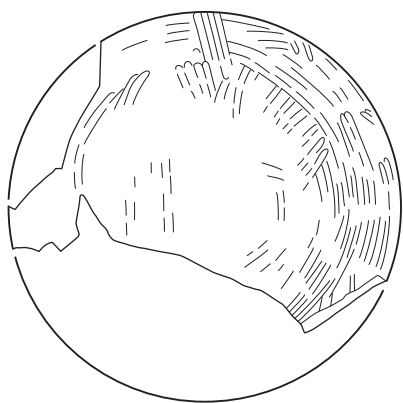


縮尺；1001・1003・1004 = 1 / 3 （1002 は写真のみ掲載）

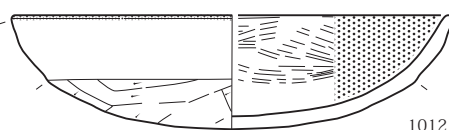
N 76 - S I 8 A ; 1005 ~ 1010 土師器



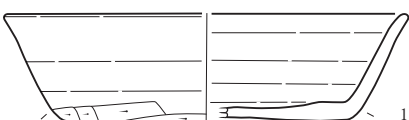
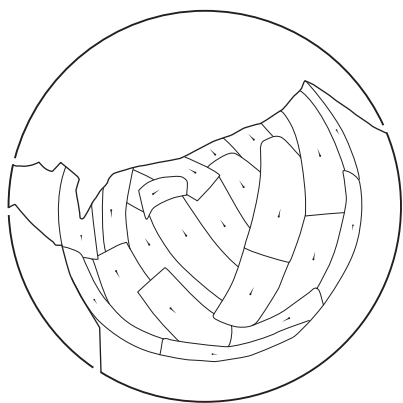
縮尺；1005 ~ 1010 = 1 / 3



1011



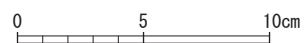
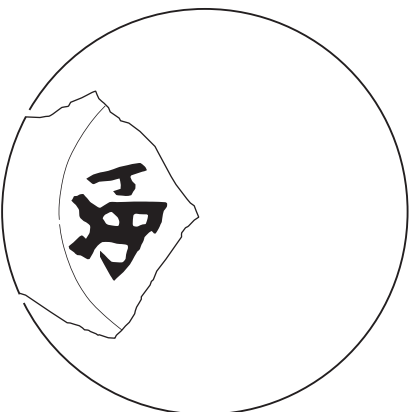
1012



1013

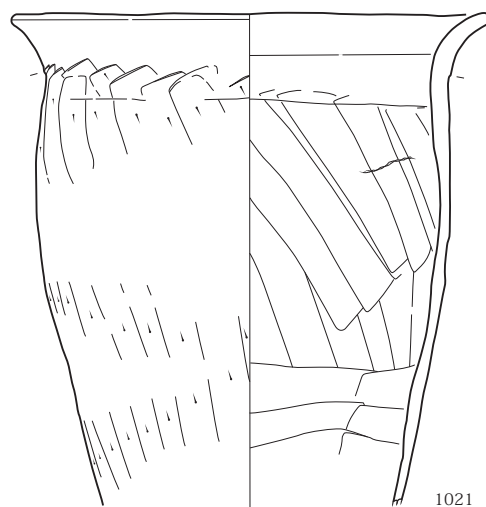
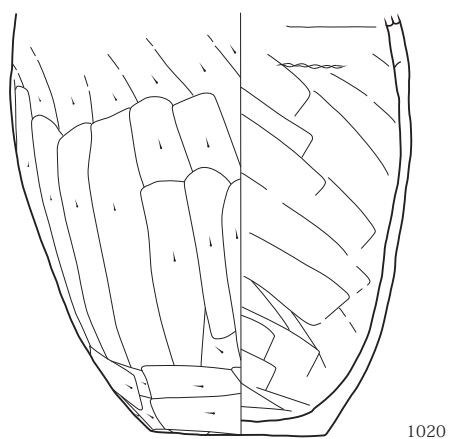
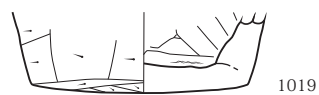
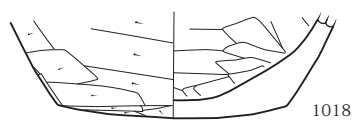
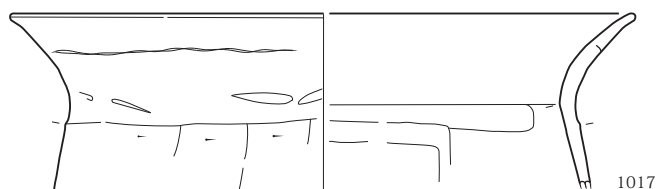
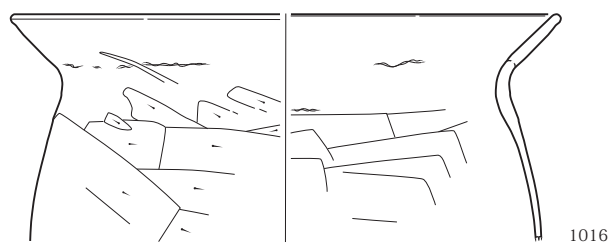
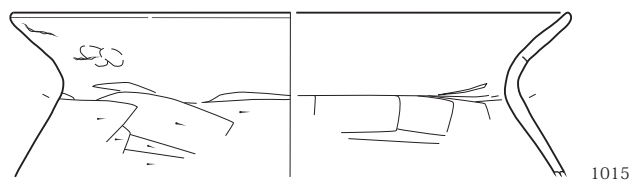


1014



縮尺；1011 ~ 1014 = 1 / 3

N 76 - S I 8 A ; 1015 ~ 1021 土師器

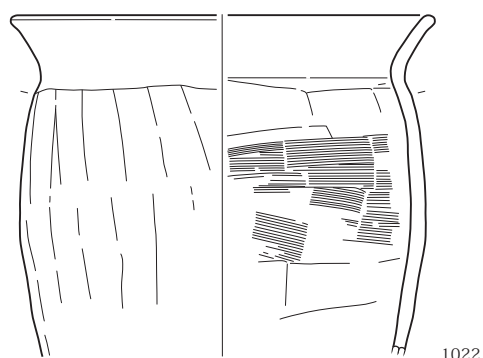


0 5 10cm

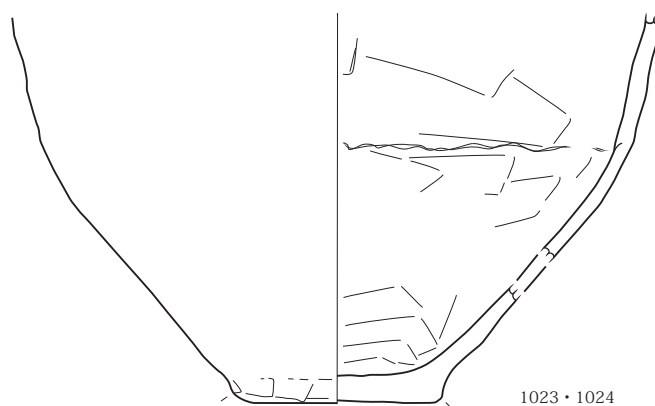
縮尺 ; 1015 ~ 1021 = 1 / 3

N 76 - S I 8 A ; 1022 ~ 1027 土師器, 1028・1029 須恵器

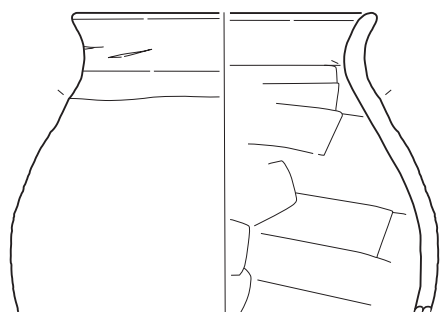
図面三一 遺物実測図(古代出土遺物)



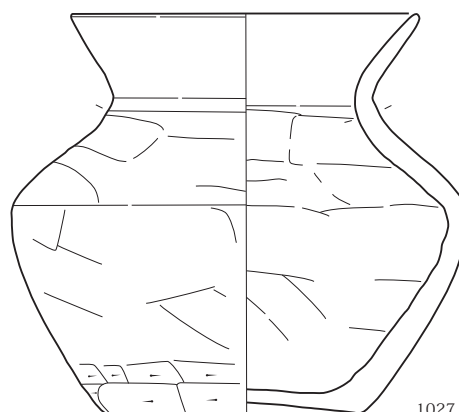
1022



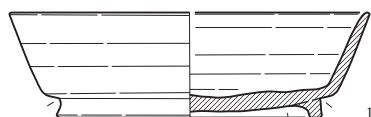
1023・1024



1026



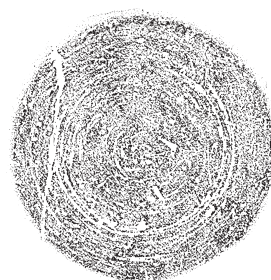
1027



1028



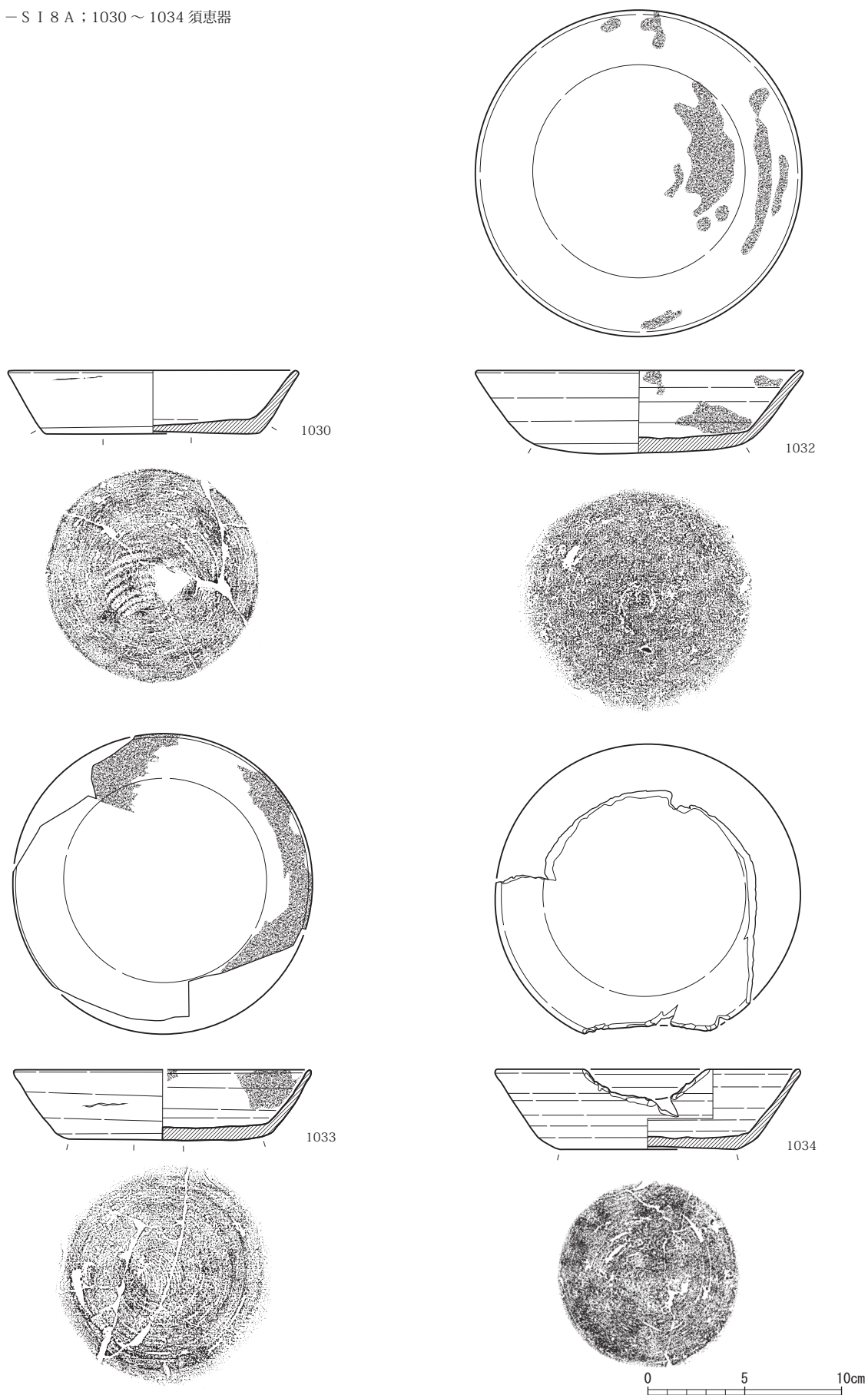
1029



0 5 10cm

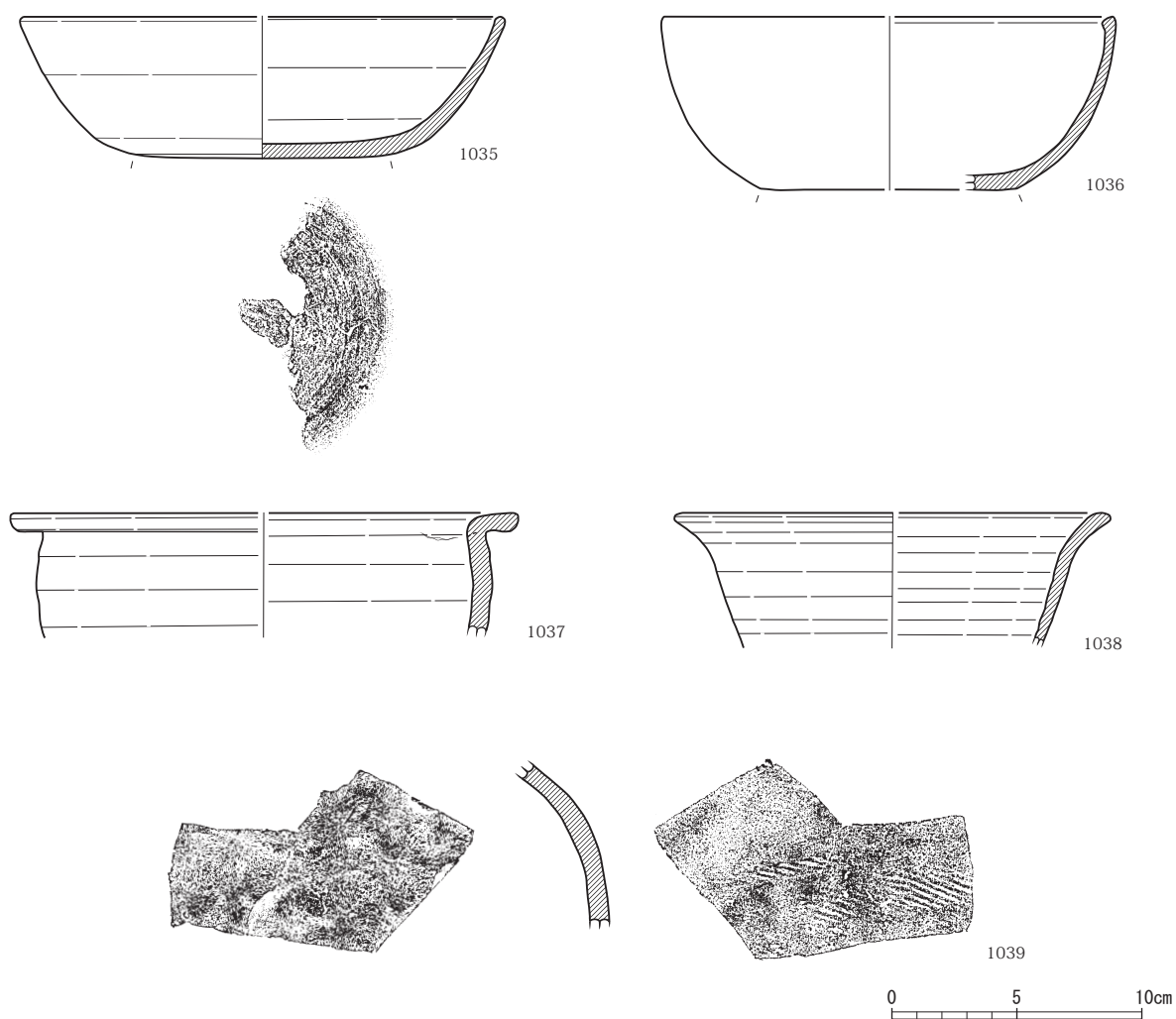
縮尺；1022 ~ 1024・1026 ~ 1029 = 1 / 3 (1025 は写真のみ掲載)

N 76 - S I 8 A ; 1030 ~ 1034 須恵器

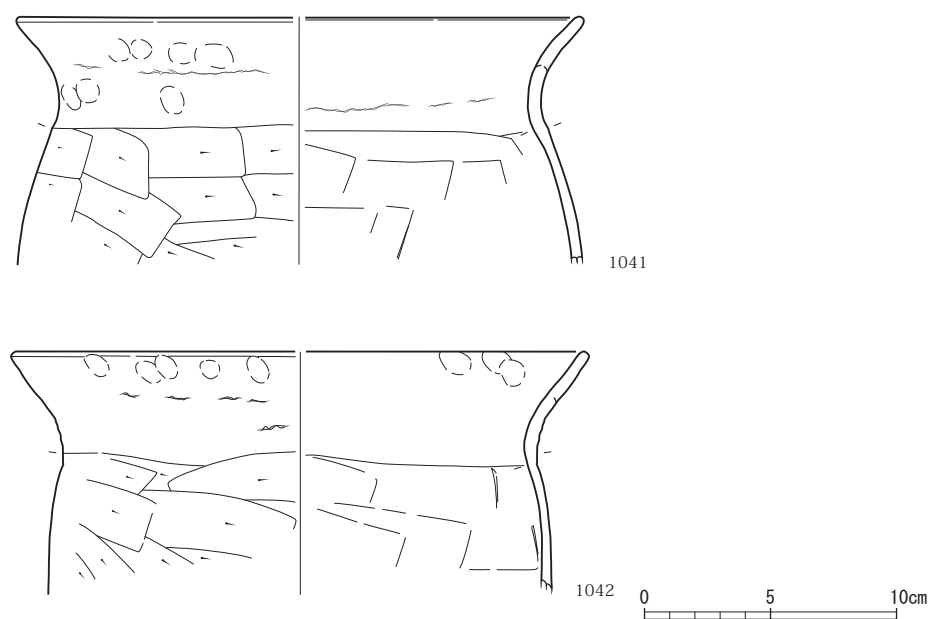


縮尺；1030・1032～1034 = 1/3 （1031 は写真のみ掲載）

N 76 - S I 8 A ; 1035 ~ 1038 須恵器, N - S I 8 B ; 1039 須恵器

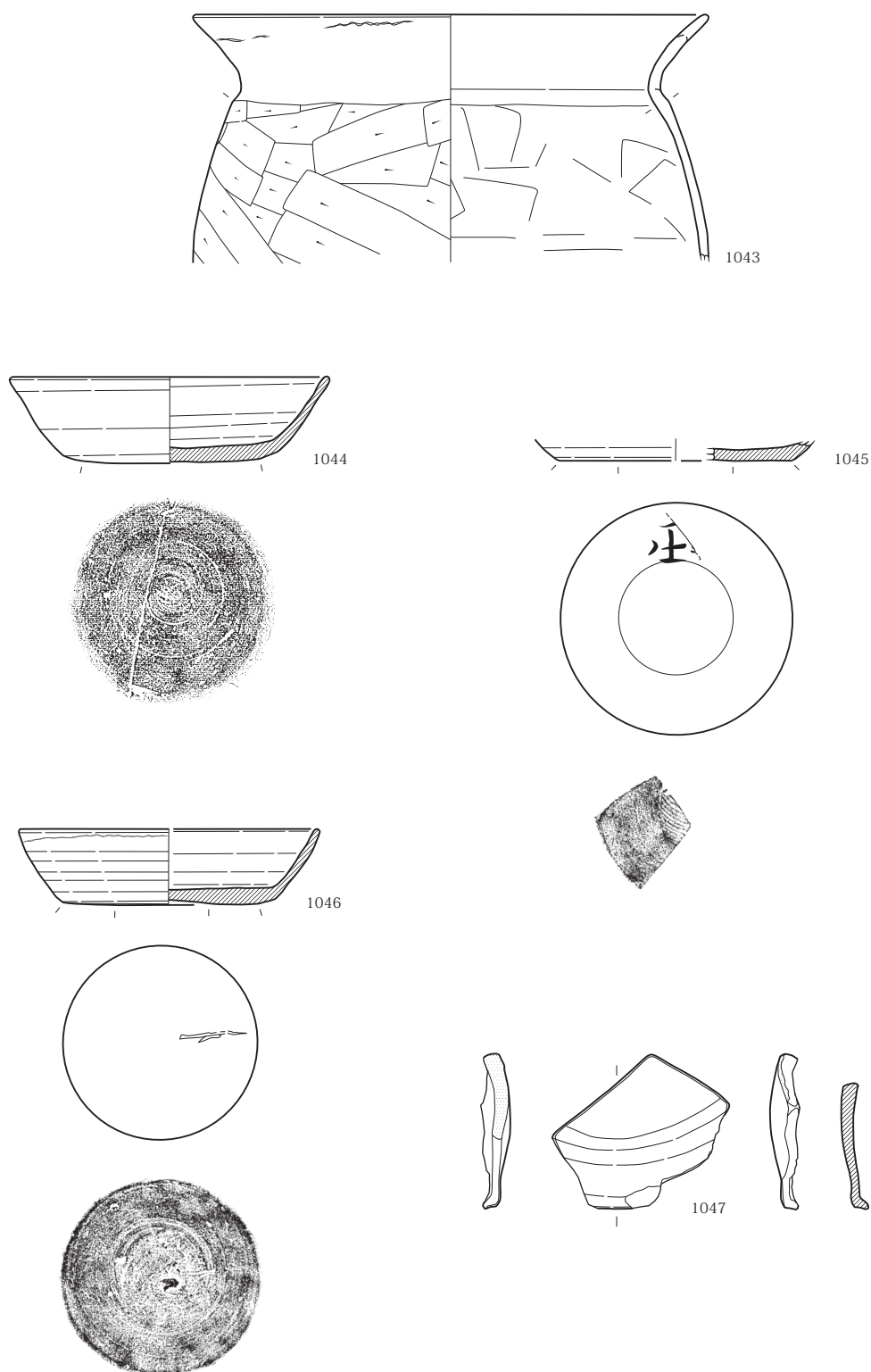


N 76 - S I 9 ; 1041・1042 土師器



縮尺 ; 1035 ~ 1039・1041・1042 = 1 / 3 (1040 は写真のみ掲載)

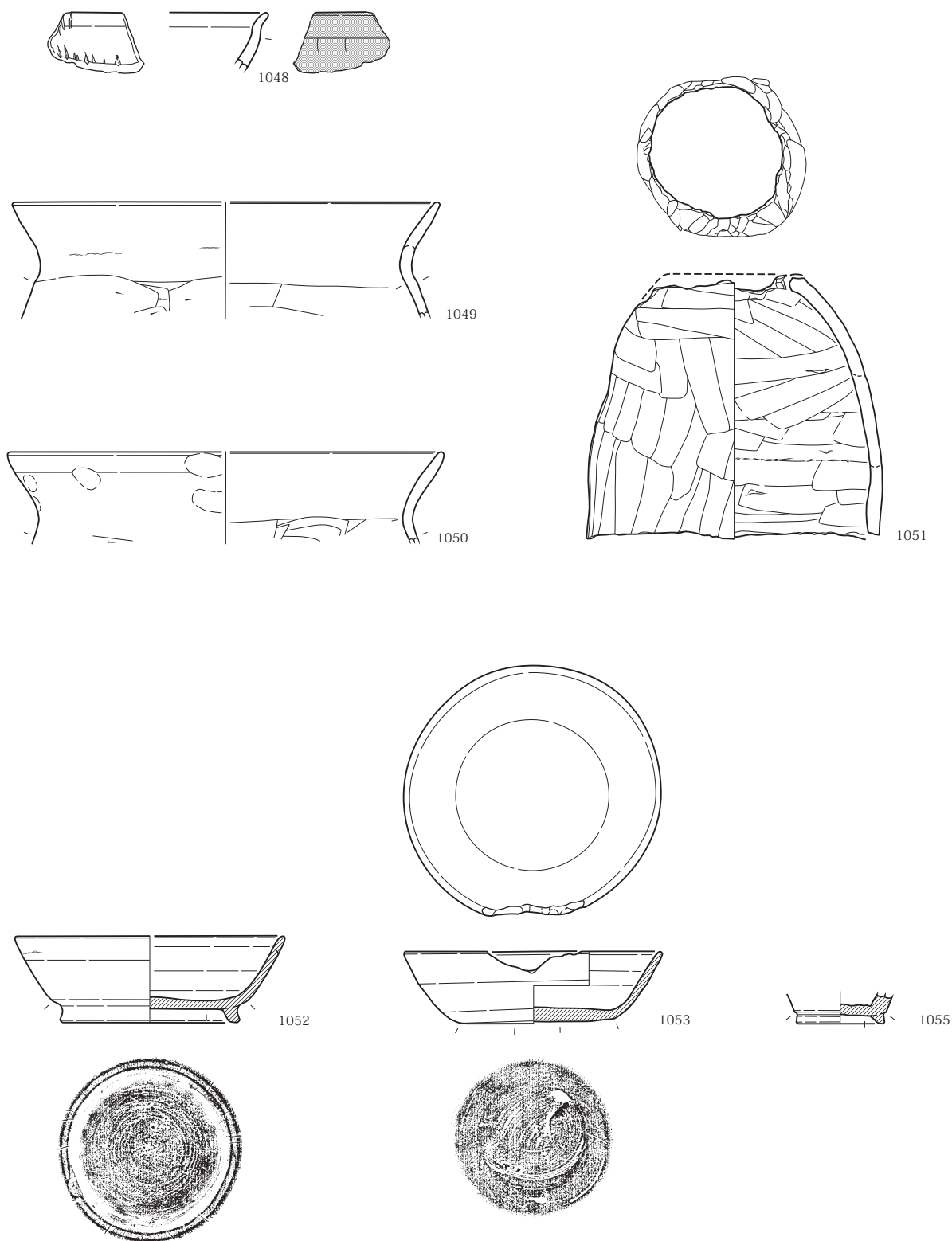
N 76 - S I 9 ; 1043 土師器, 1044 ~ 1047 須恵器



0 5 10cm

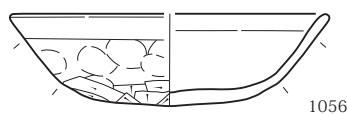
縮尺 ; 1043 ~ 1047 = 1 / 3

N 76 - S I 10 ; 1048 ~ 1051 土師器, 1052 ~ 1055 須恵器

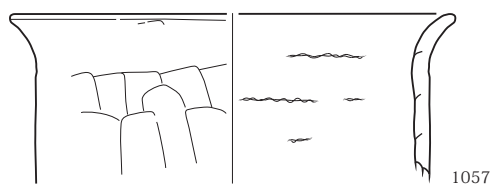


縮尺 ; 1048 ~ 1053・1055 = 1 / 3 （1054 は写真のみ掲載）

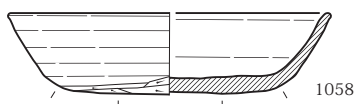
N 76 - S I 11 ; 1056・1057 土師器, 1058～1060 須恵器



1056



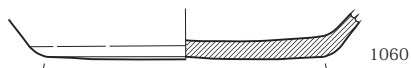
1057



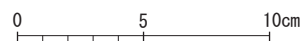
1058



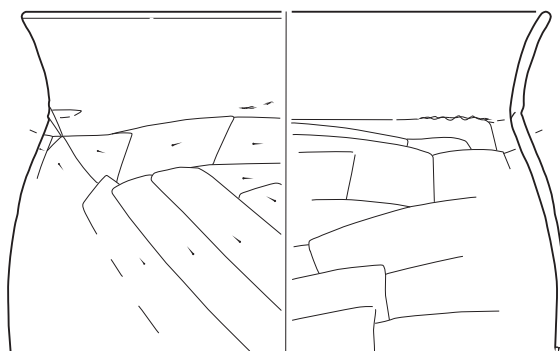
1059



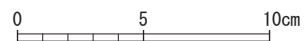
1060



N 76 - S I 12 ; 1062 土師器

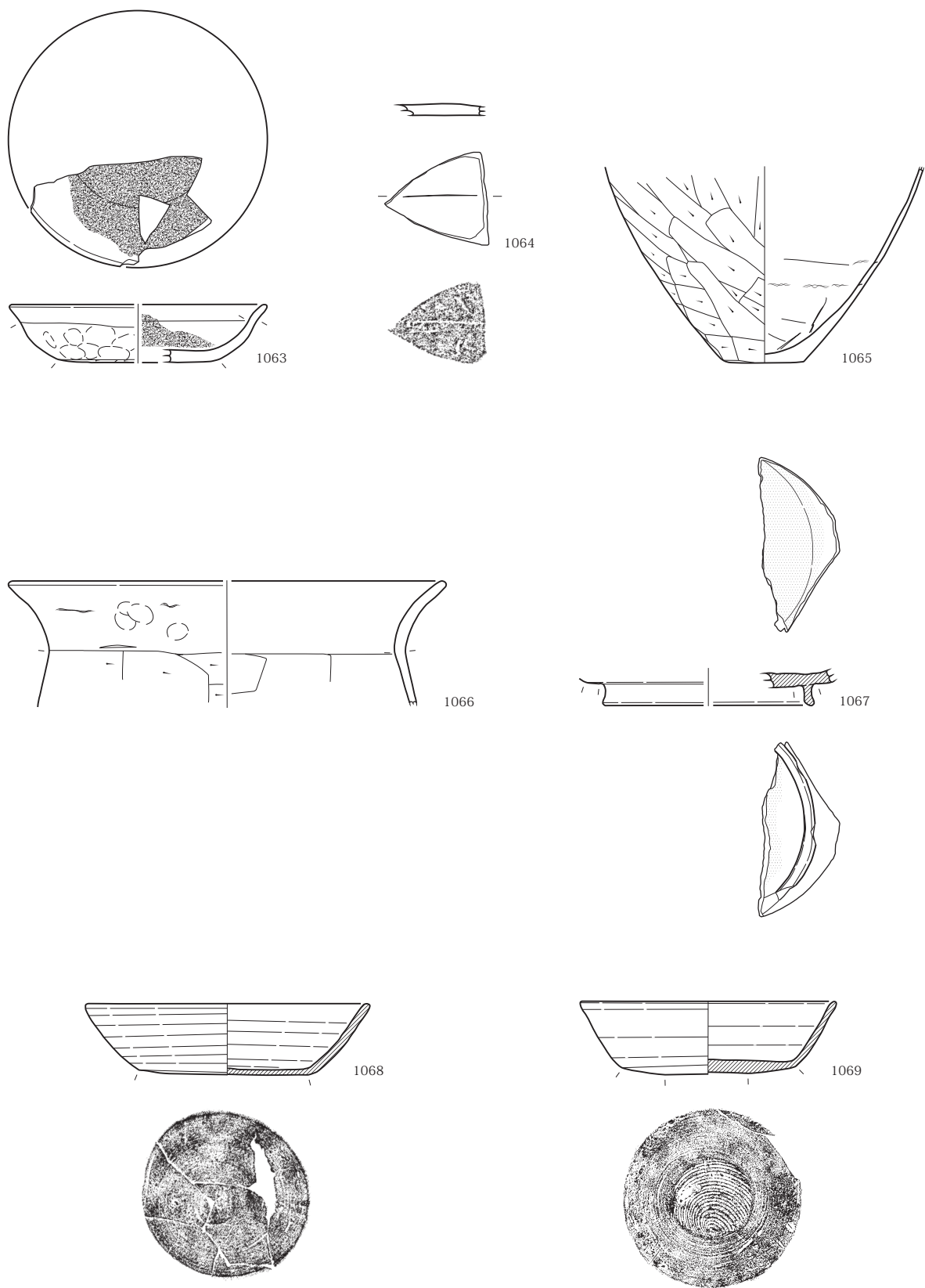


1062



縮尺 ; 1056～1060・1062 = 1/3 (1061 は写真のみ掲載)

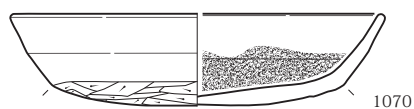
N 76 - S I 14; 1063 ~ 1066 土師器, 1067 ~ 1069 須恵器



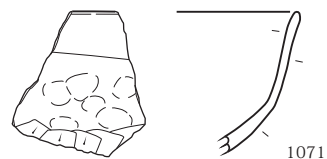
0 5 10cm

縮尺; 1063 ~ 1069 = 1 / 3

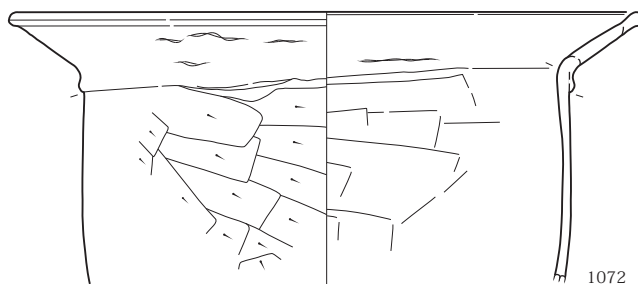
N 76 - S I 15 A ; 1070・1072～1075 土師器, 1076 須恵器・N 76 - S I 15 B ; 1071 土師器



1070



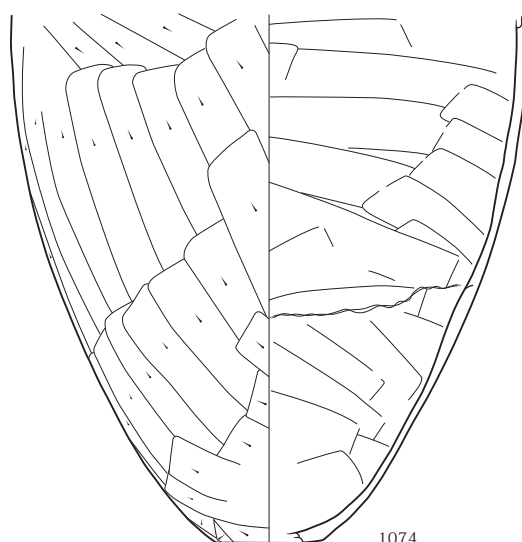
1071



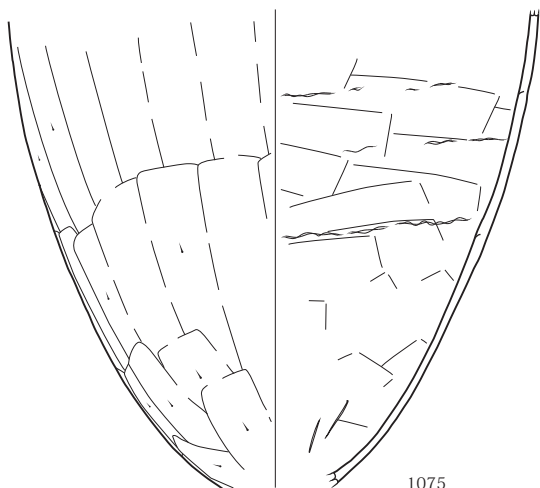
1072



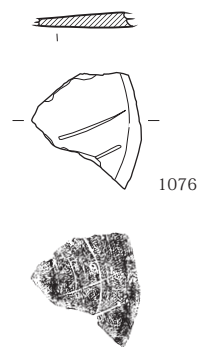
1073



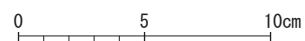
1074



1075

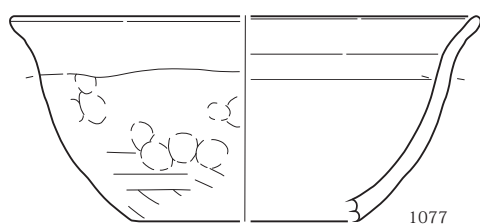


1076



縮尺 ; 1070～1076 = 1 / 3

N 76 - S I 16 ; 1077 土師器, 1078・1079 須恵器



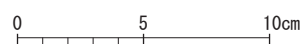
1077



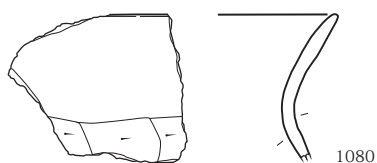
1078



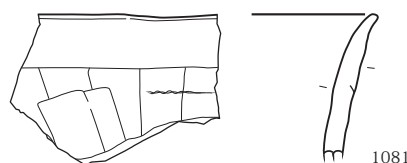
1079



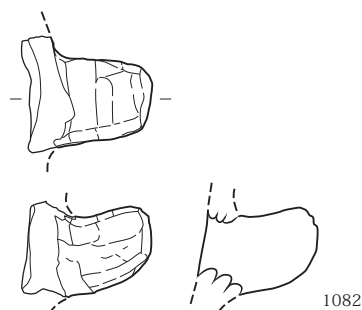
N 77 - S I 42 ; 1080 ~ 1083 土師器



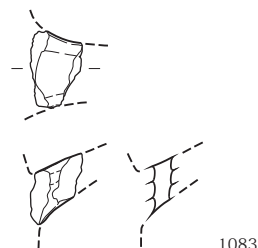
1080



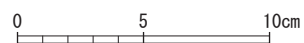
1081



1082

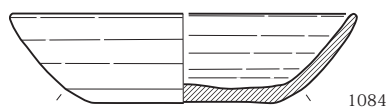


1083

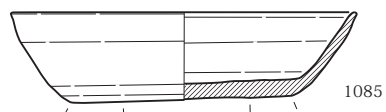


縮尺 ; 1077 ~ 1083 = 1 / 3

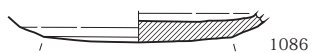
N 77 - S I 42 ; 1084 ~ 1087 須恵器



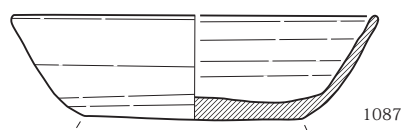
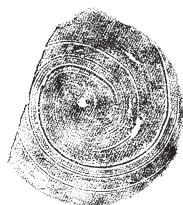
1084



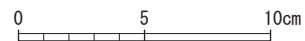
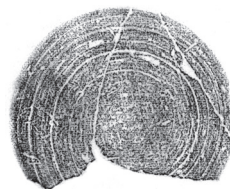
1085



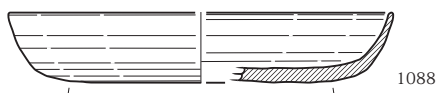
1086



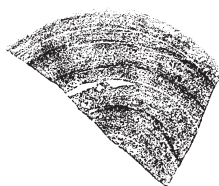
1087



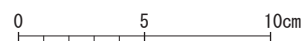
その他の出土遺物（古代）；1088・1089 須恵器



1088

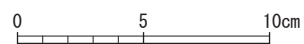


1089

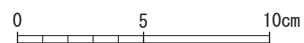
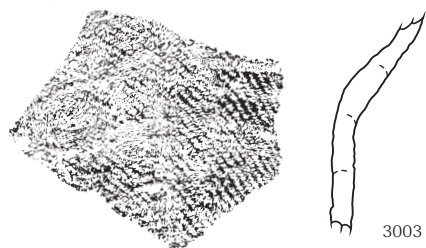
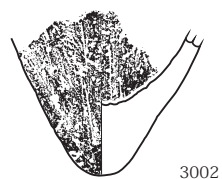


縮尺；1084 ~ 1089 = 1 / 3

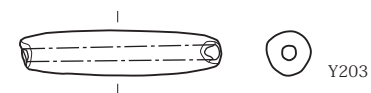
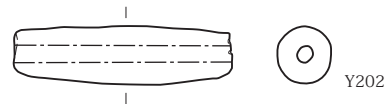
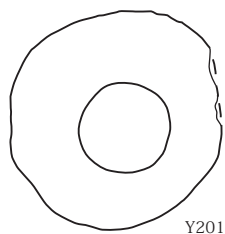
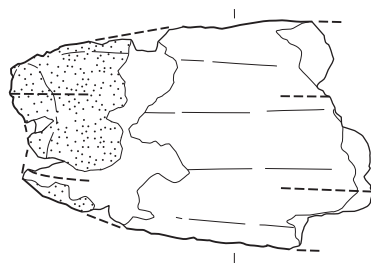
N 77 - S X 15 ; 2001 陶器



その他の出土遺物（縄文）；3001～3004 縄文土器

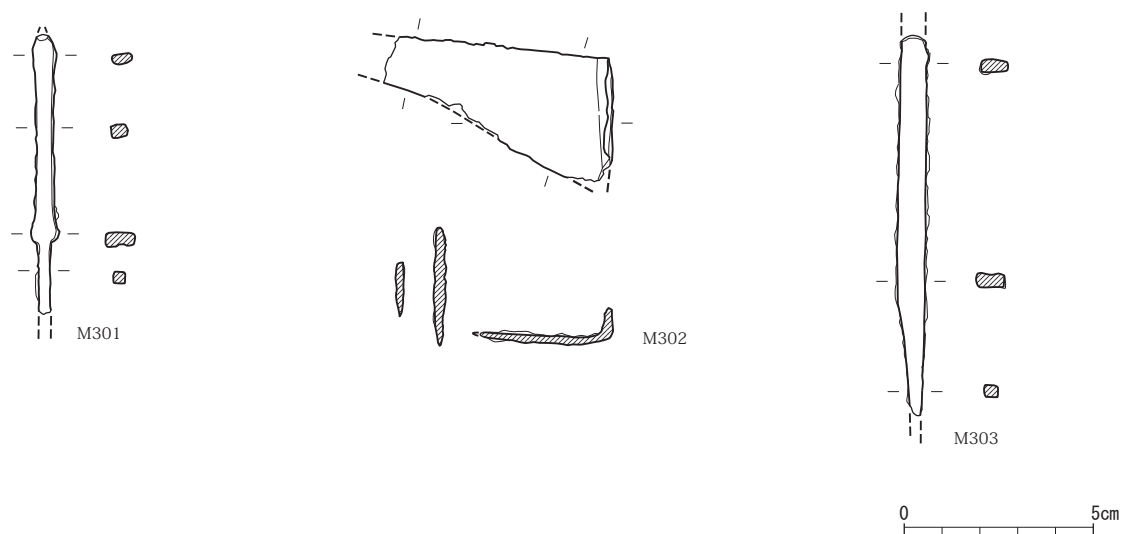


N 76 - S I 8 A ; Y201～Y203 土製品

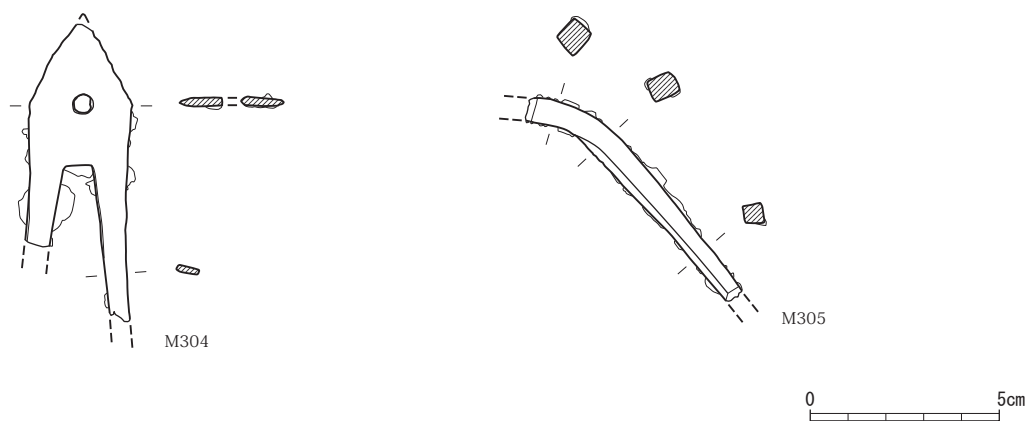


縮尺；2001・3001～3004 = 1/3, Y201～Y203 = 1/2 （Y204～Y220 は写真のみ掲載）

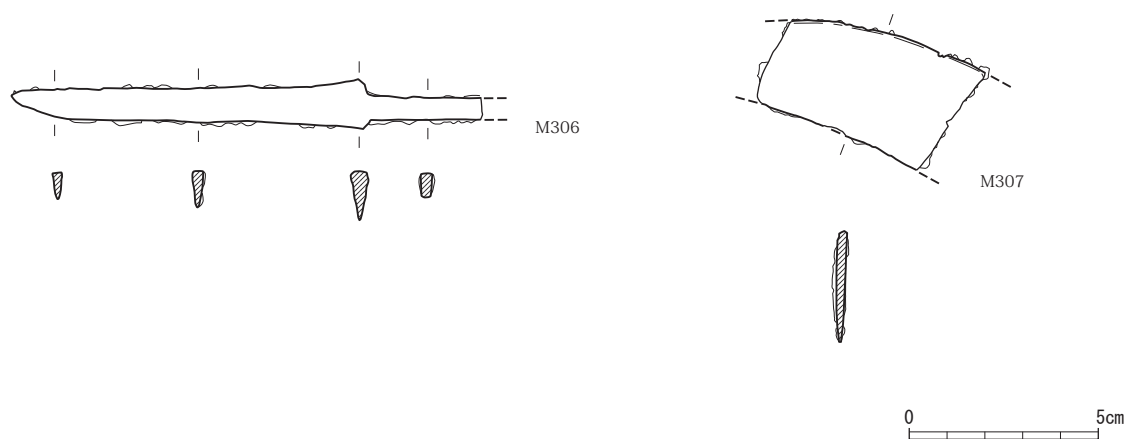
N 76 - S I 8 A ; M301 ~ M303 鉄製品



N 76 - S I 10 ; M304 鉄製品, N 76 - S I 14 ; M305 鉄製品

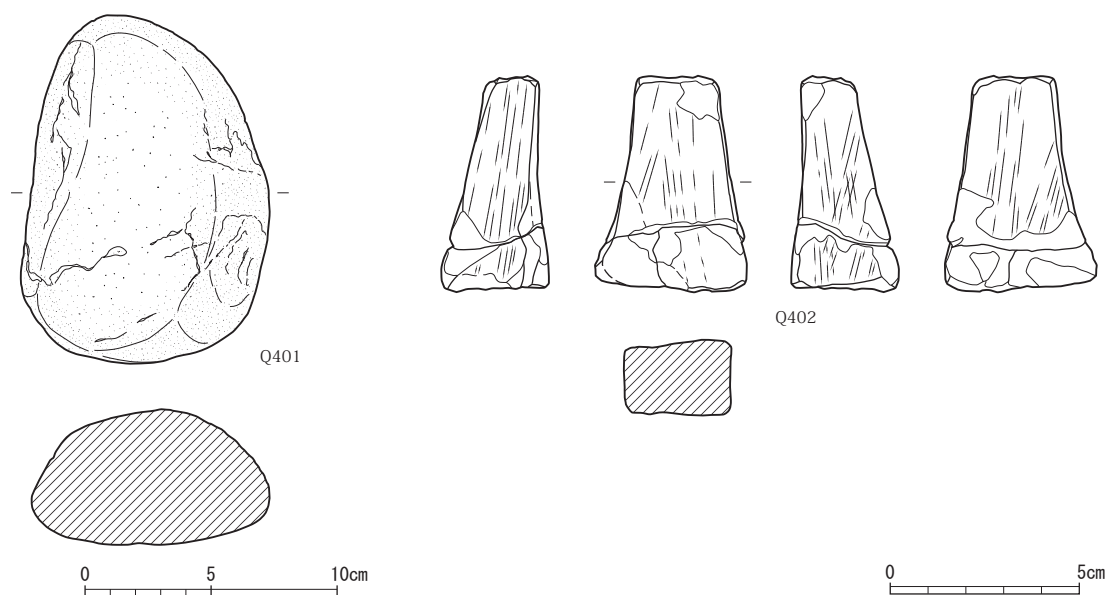


N 76 - S I 15 B ; M306 鉄製品, N 77 - S I 42 ; M307 鉄製品

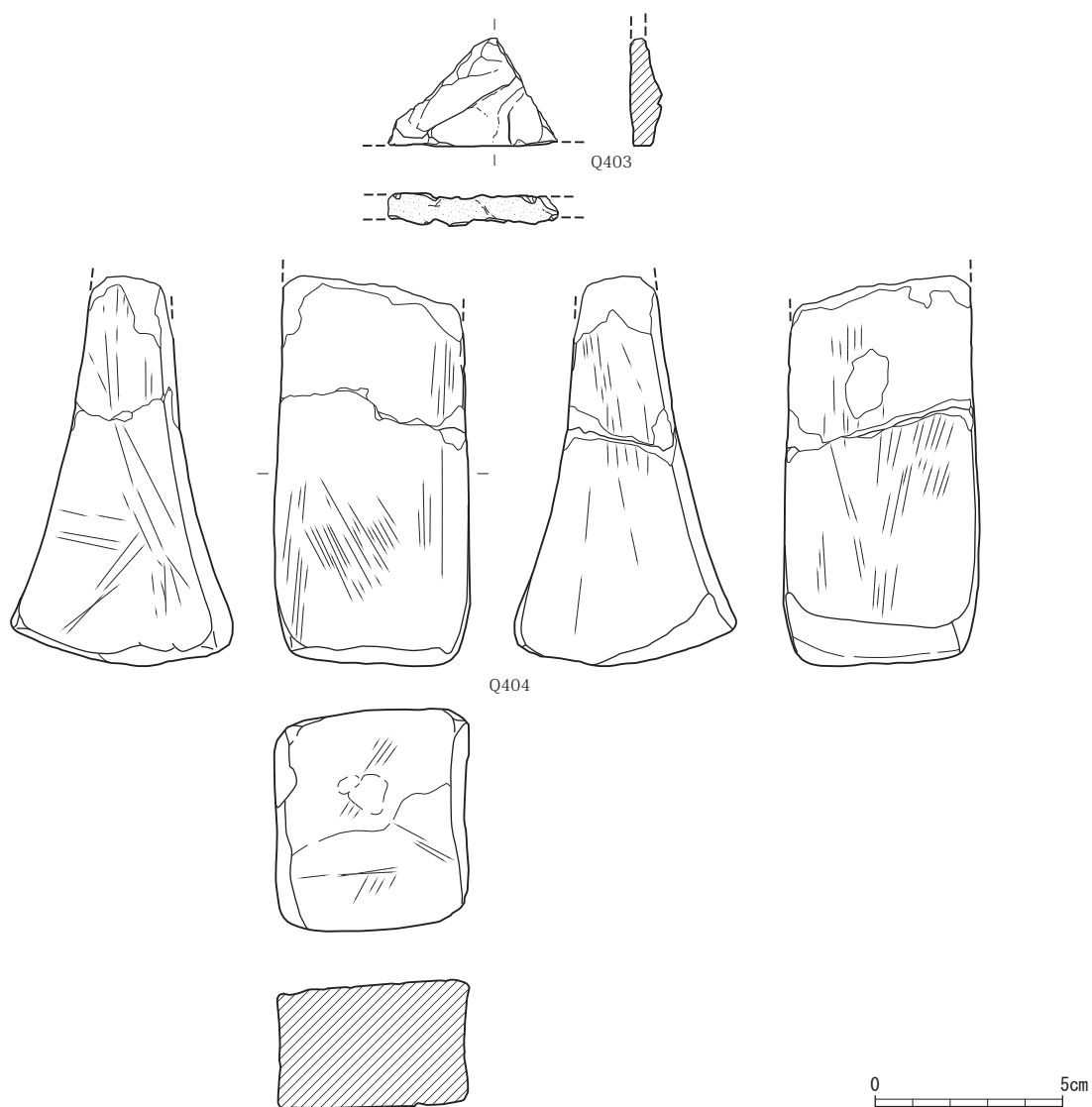


縮尺 ; M301 ~ M307 = 1 / 2

N 76 - S I 10 ; Q401 礫, Q402 石製品

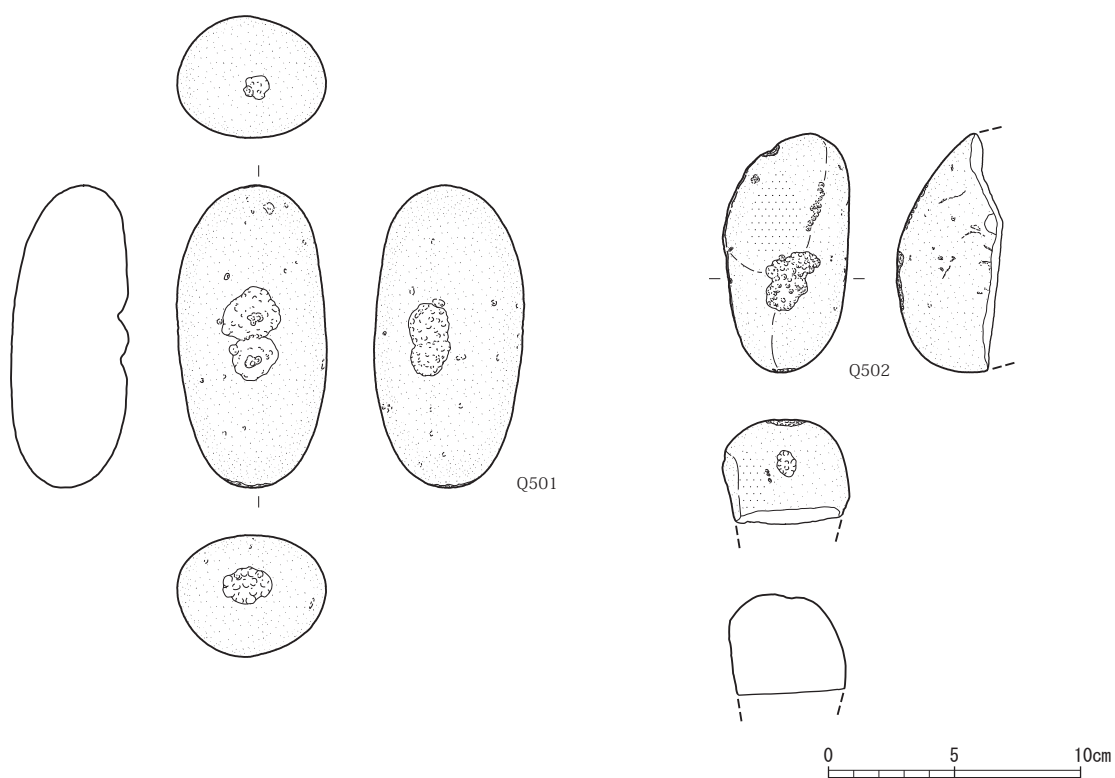


N 76 - S I 11 ; Q403 不明石製品, N 76 - S I 14 ; Q404 石製品

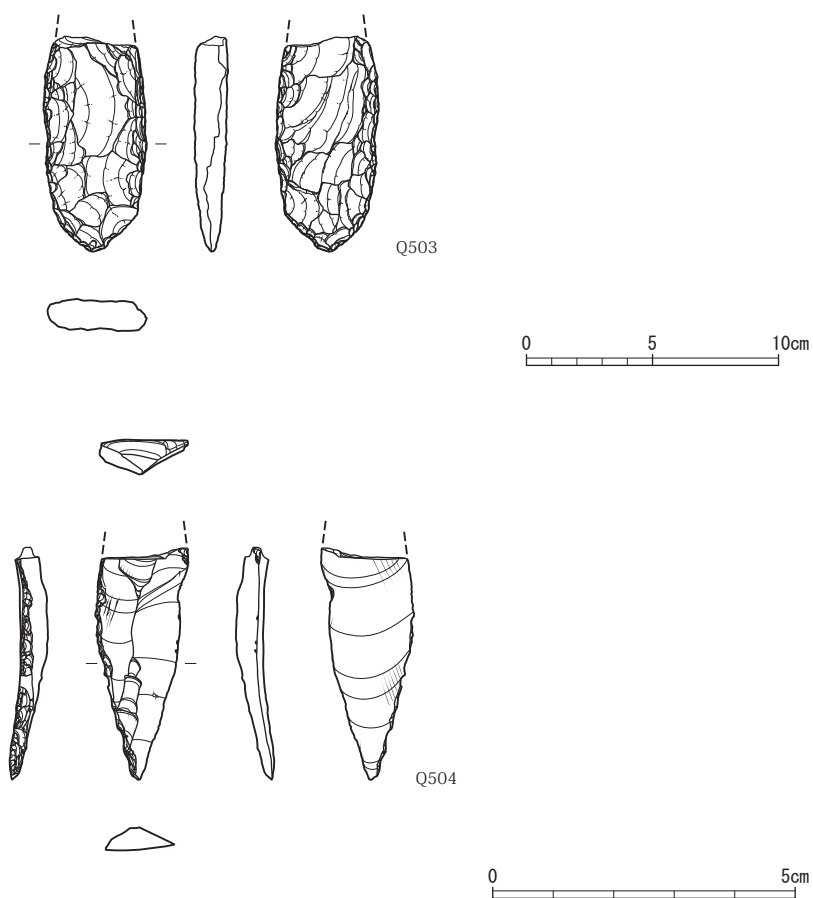


縮尺 : Q401 = 1 / 3, Q402 ~ Q404 = 1 / 2 (Q405 は写真のみ掲載)

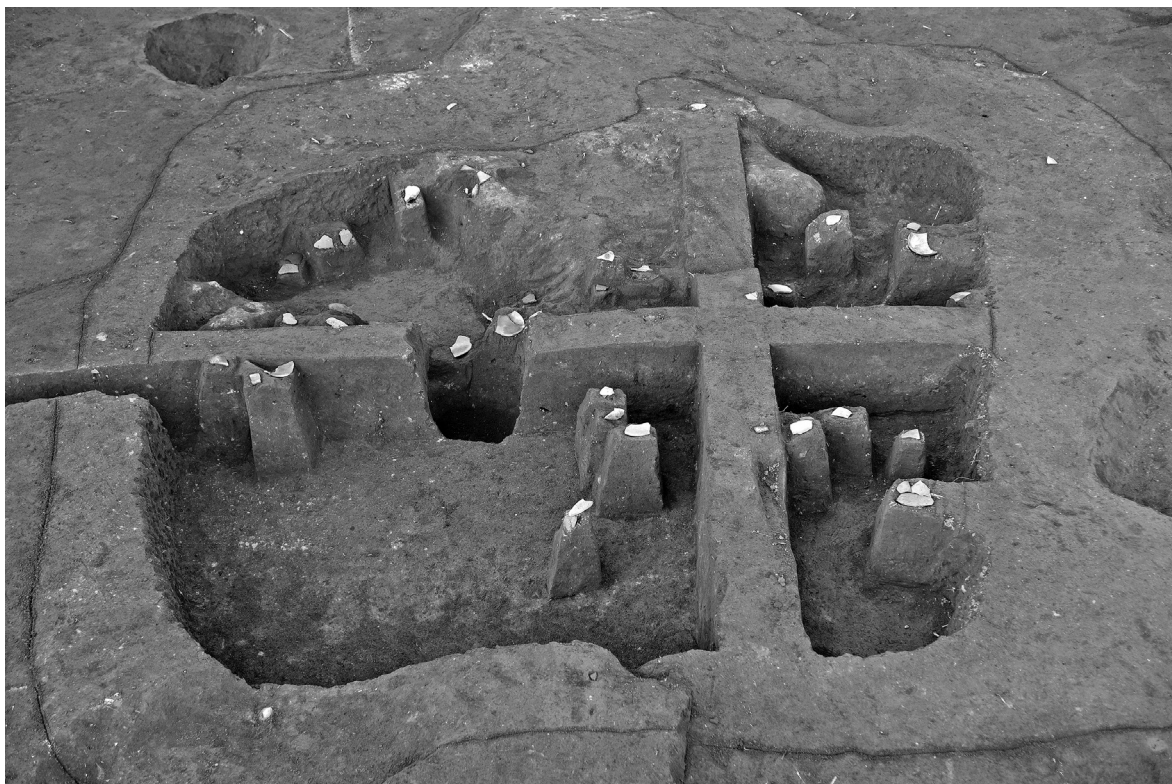
N 76 - S X 5 ; Q501・Q502 石器



その他の出土遺物 ; Q503・Q504 石器



縮尺 : Q501 ~ Q503 = 1 / 3, Q504 4 / 5



1. N 76 - S I 8 A 上層遺物出土状態全景（南より）



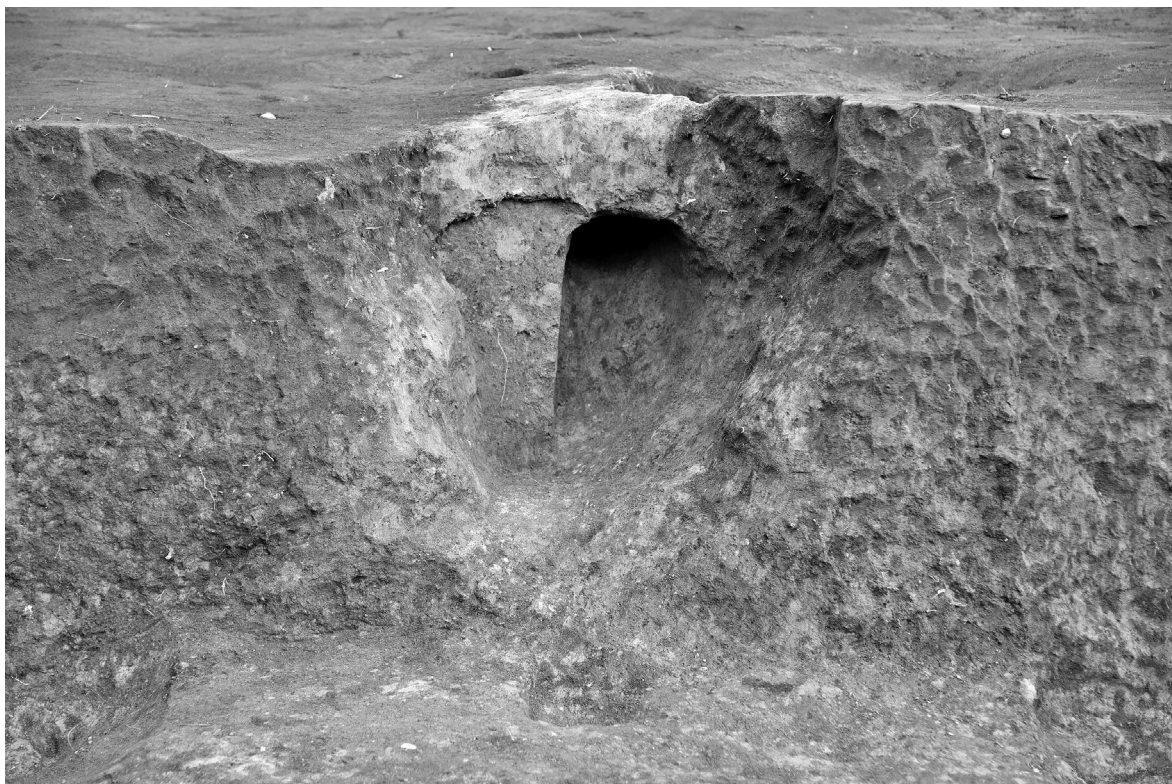
2. N 76 - S I 8 A 竈遺物出土状態近景（南より）



1. N 76 - S I 8 A ・ B 全景 (南より)



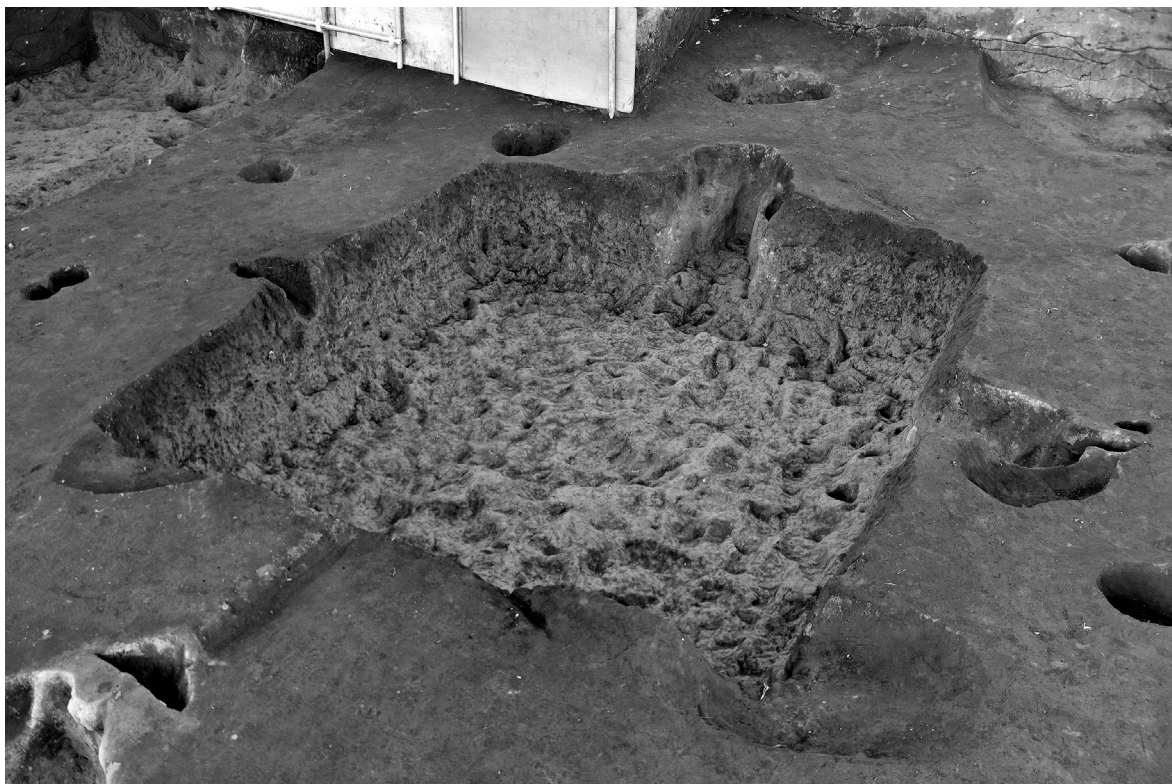
2. N 76 - S I 8 A 竈近景 (南より)



1. N 76-S 18 B 竈近景 (西より)



2. N 76-S 18 B 竈掘り方近景 (西より)



1. N 76 - S 18 A・B掘り方全景（南より）



2. N 76 - S 18 A・B掘り方工具痕近景（南より）



1. N 76 - S 1 9 全景 (南より)



2. N 76 - S 1 9 竈近景 (南より)



1. N 76 - S I 9 竈掘り方近景（南より）



2. N 76 - S I 10 遺物・炭化材出土状態全景（西より）



1. N 76 - S I 10 全景 (西より)



2. N 76 - S I 10 竈東西断面 (南より)



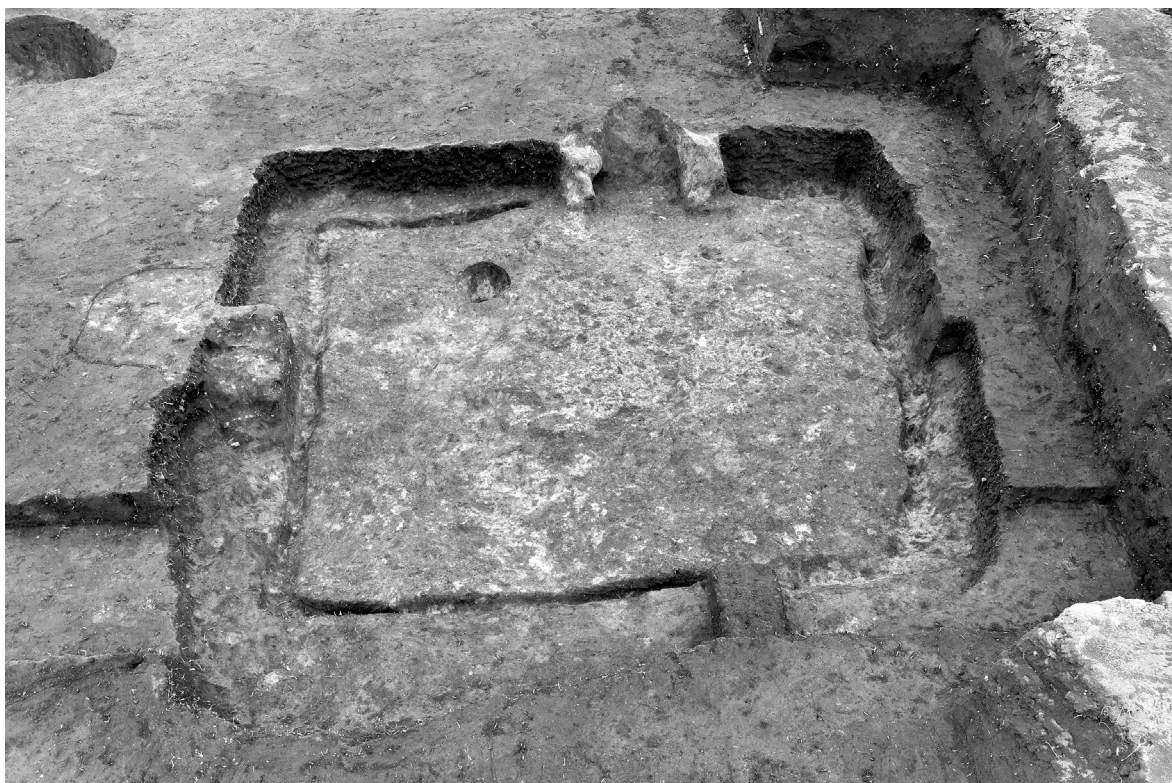
1. N 76 - S I 10 竈遺物出土状態 (西より)



2. N 76 - S I 10 竈遺物出土状態近景 (西より)



1. N 76 - S I 10 竈近景 (西より)



2. N 76 - S I 11 全景 (西より)



1. N 76 - S I 11 掘り方及び床下粘土土坑検出状態全景（西より）



2. N 76 - S I 11 竈近景（西より）



1. N 76 - S I 12 全景 (南より)



2. N 76 - S I 12 竈近景 (南より)



1. N 76 - S I 12 掘り方全景 (南より)



2. N 76 - S I 13 全景 (西より)



1. N 76 - S I 13 竈近景 (西より)



2. N 76 - S I 13 掘り方全景 (西より)



1. N 76 - S I 14 全景 (西より)



2. N 76 - S I 14 竈遺物出土状態近景 (西より)



1. N 76 - S 1 14 竈近景 (西より)



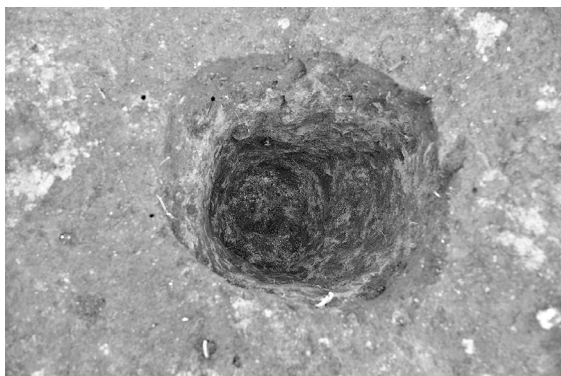
2. N 76 - S 1 14 竈袖部構築南北断面 (西より)



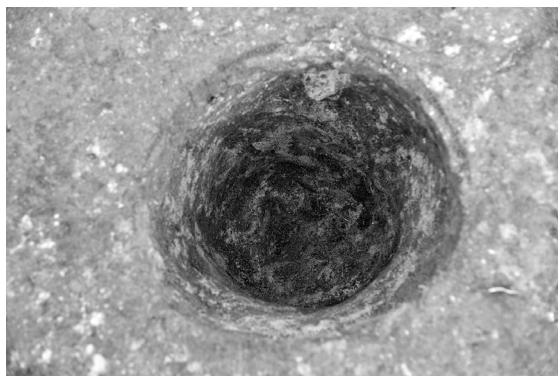
1. N 76 - S | 14 P 1 全景 (西より)



2. N 76 - S | 14 P 2 全景 (西より)



3. N 76 - S | 14 P 3 全景 (西より)



4. N 76 - S | 14 P 4 全景 (西より)



5. N 76 - S | 15 A 全景 (南より)



1. N 76 - S I 15 竈遺物出土状態近景 (南より)



2. N 76 - S I 15 竈近景 (南より)



1. N 76 - S I 15 B 全景 (南より)



2. N 76 - S I 16 全景 (南より)



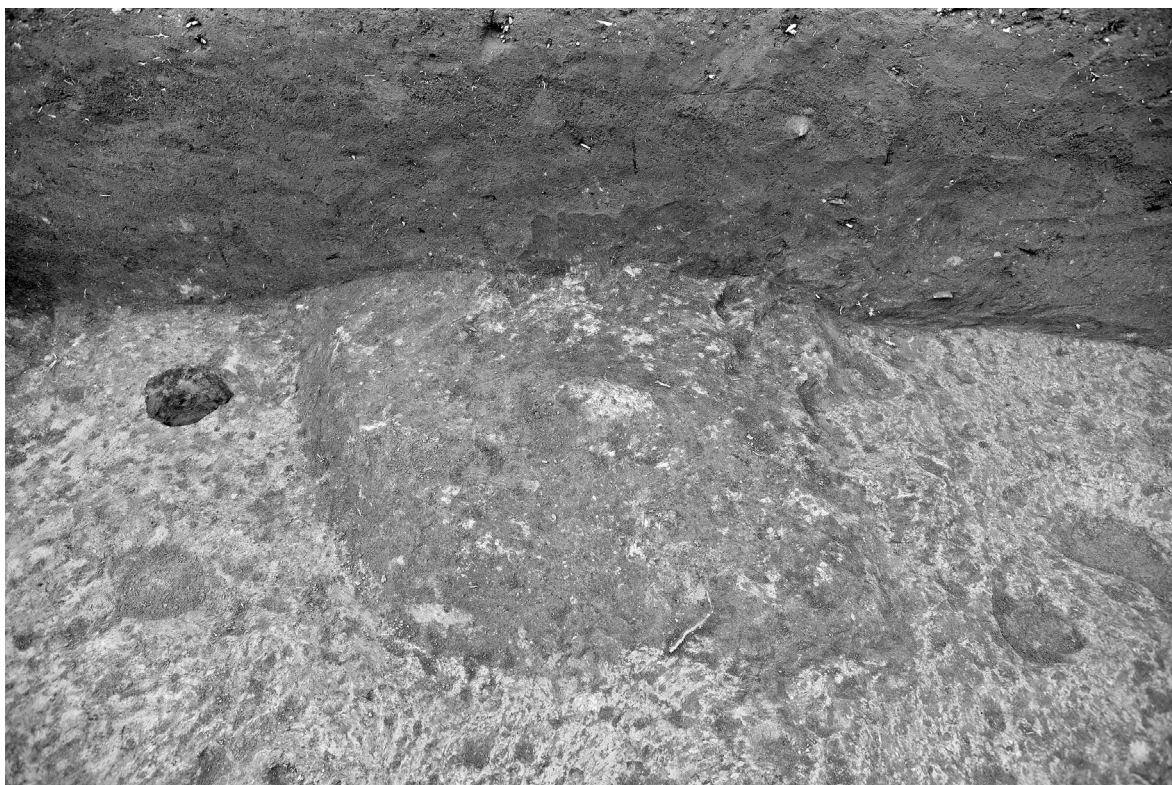
1. N 76-S I 16 竈近景 (南より)



2. N 76-S I 16 掘り方全景 (南より)



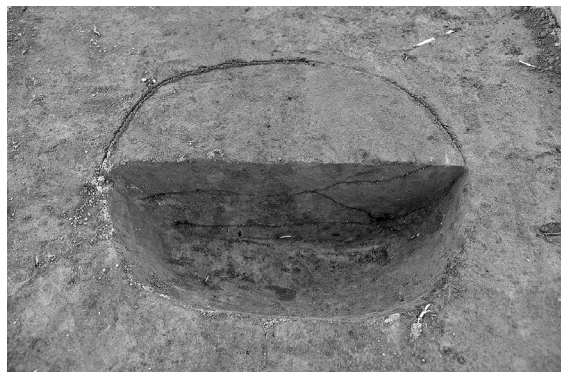
1. N 77 - S I 42 全景 (南より)



2. N 77 - S I 42 粘土検出状態近景 (南より)



1. N 77 - S I 42 掘り方全景 (南より)



2. N 76 - S K 8 南北断面 (東より)



3. N 76 - S K 8 全景 (東より)



4. N 76 - S K 9 南北断面 (東より)



5. N 76 - S K 9 全景 (東より)



1. N 76-S K 10 南北断面 (東より)



2. N 76-S K 10 全景 (東より)



3. N 76-S K 11 東西断面 (南より)



4. N 76-S K 11 全景 (南より)



5. N 76-S K 12 南北断面 (西より)



6. N 76-S K 12 全景 (西より)



7. N 76-S K 13 南北断面 (西より)



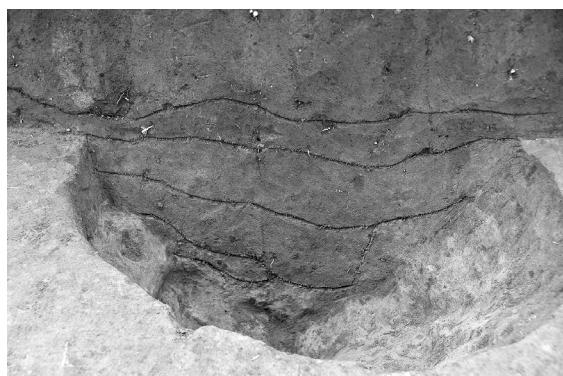
8. N 76-S K 13 全景 (西より)



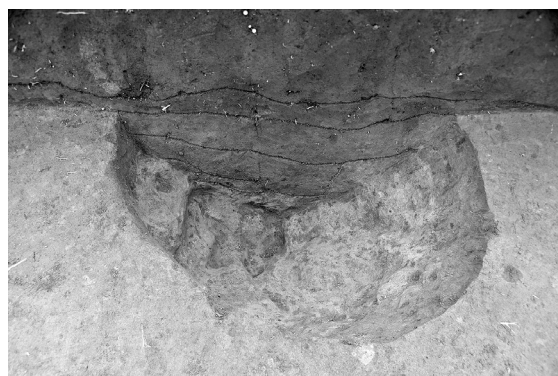
1. N 76 - S K 14 南北断面 (東より)



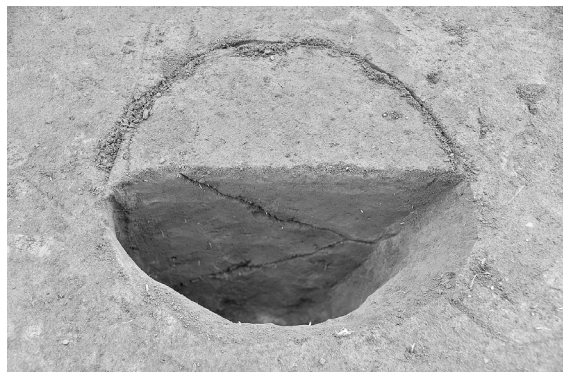
2. N 76 - S K 14 全景 (東より)



3. N 76 - S K 15 東西断面 (北より)



4. N 76 - S K 15 全景 (北より)



5. N 76 - S K 16 東西断面 (北より)



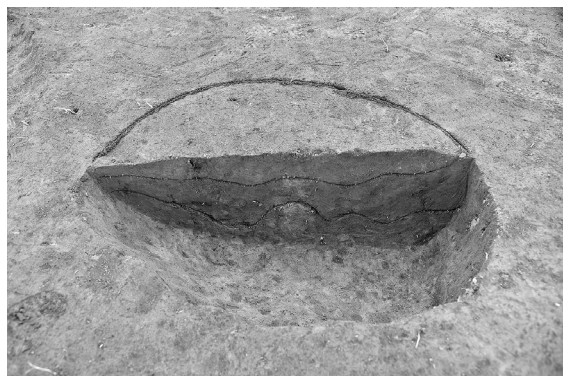
6. N 76 - S K 16 全景 (北より)



7. N 77 - S K 57 東西断面 (北より)



8. N 77 - S K 57 全景 (北より)



1. N 77-SK 58 南北断面 (南東より)



2. N 77-SK 58 全景 (南東より)



3. N 77-SK 59 東西断面 (南より)



4. N 77-SK 59 全景 (南より)



5. N 77-SK 60 東西断面 (南より)



6. N 77-SK 60 全景 (南より)



7. N 77-SK 61 東西断面 (南より)



8. N 77-SK 61 全景 (南より)



1. N 77 - S K 62 東西断面 (南より)



2. N 77 - S K 62 全景 (南より)



3. N 77 - S K 63 南北断面 (西より)



4. N 77 - S K 63 全景 (南より)



5. N 77 - S K 64 東西断面 (南より)



6. N 77 - S K 64 全景 (南より)



7. N 77 - S K 65 南北断面 (南東より)



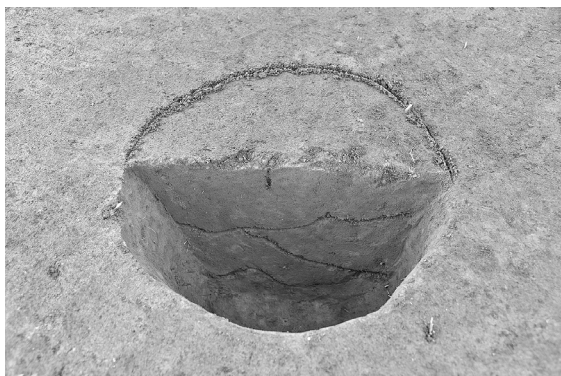
8. N 77 - S K 65 全景 (南東より)



1. N 77-SK 66 南北断面 (北西より)



2. N 77-SK 66 全景 (北西より)



3. N 77-SK 67 南北断面 (西より)



4. N 77-SK 67 全景 (西より)



5. N 77-SK 68 東西断面 (南より)



6. N 77-SK 68 全景 (南より)



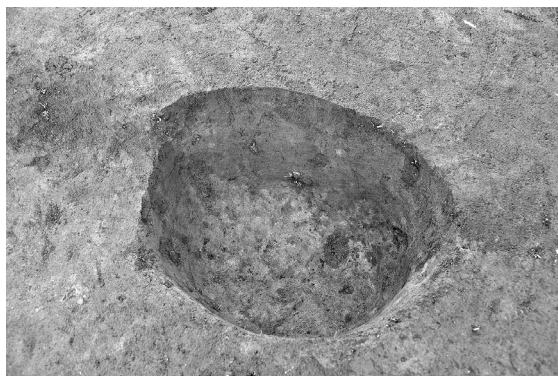
7. N 77-SK 69 東西断面 (南より)



8. N 77-SK 69 全景 (南より)



1. N 77-S K 70 東西断面 (南より)



2. N 77-S K 70 全景 (南より)



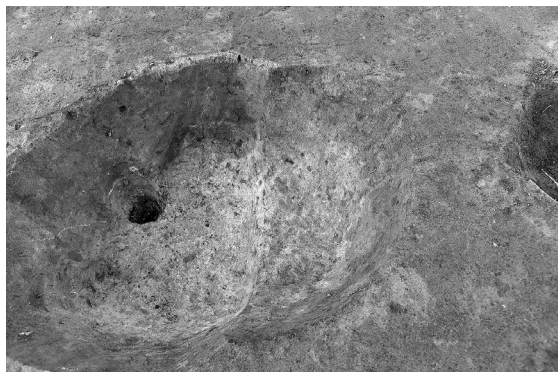
3. N 77-S K 71 南北断面 (南東より)



4. N 77-S K 71 全景 (南東より)



5. N 77-S K 72 南北断面 (北西より)



6. N 77-S K 72 全景 (北西より)



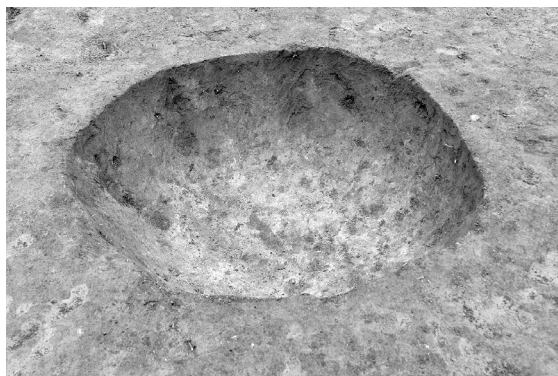
7. N 77-S K 73 東西断面 (南より)



8. N 77-S K 73 全景 (南より)



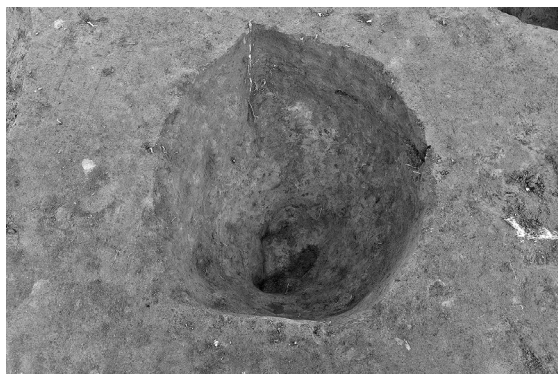
1. N 77-S K 74 東西断面 (南より)



2. N 77-S K 74 全景 (南より)



3. N 77-S K 75 東西断面 (南より)



4. N 77-S K 75 全景 (南より)



5. N 77-S K 76 南北断面 (西より)



6. N 77-S K 76 全景 (西より)



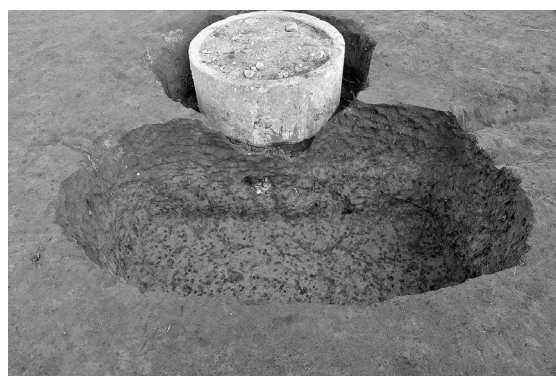
7. N 77-S K 77 南北断面 (西より)



8. N 77-S K 77 全景 (西より)



1. N 77-S K 78 南北断面 (西より)



2. N 77-S K 78 全景 (西より)



3. N 77-S K 79 東西断面 (北より)



4. N 77-S K 79 全景 (北東より)



5. N 77-S K 80 東西断面 (北より)



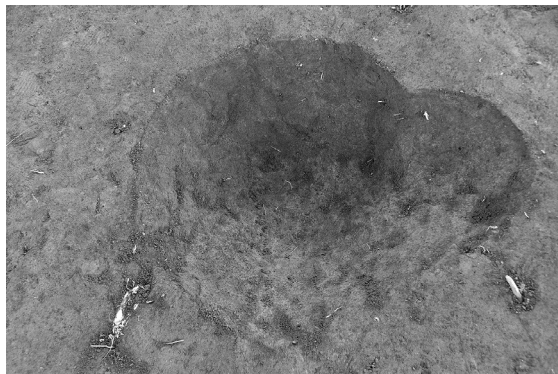
6. N 77-S K 80 南北断面 (西より)



7. N 77-S K 80 全景 (西より)



1. N 77-S K 81 南北断面 (西より)



2. N 77-S K 81 全景 (西より)



3. N 77-S K 82 東西断面 (北より)



4. N 77-S K 82 全景 (北より)



5. N 76-S X 5 検出全景 (北より)



1. N 76-S X 5 東西断面 (北より)



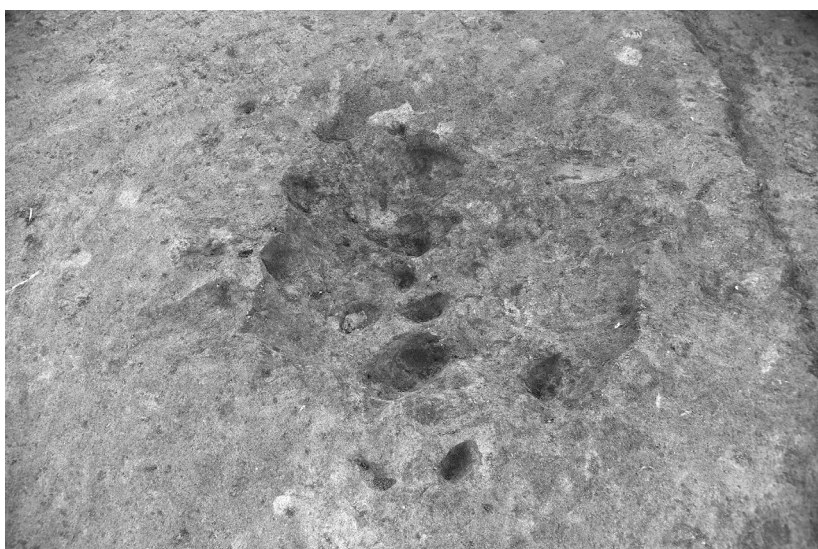
2. N 76-S X 5 全景 (北より)



3. N 76-S X 6 検出全景 (北より)



1. N 76 - S X 6 東西断面 (北より)



2. N 76 - S X 6 全景 (北より)



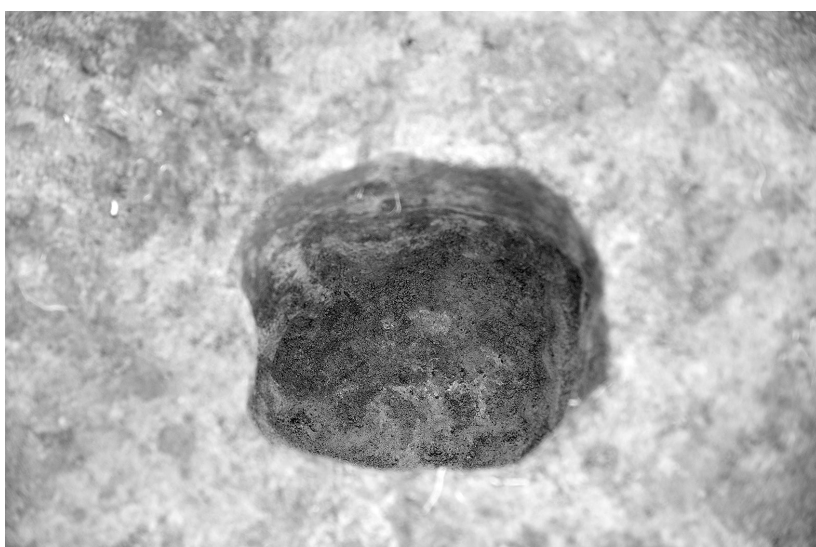
3. N 77 - S X 15 東西断面 (北より)



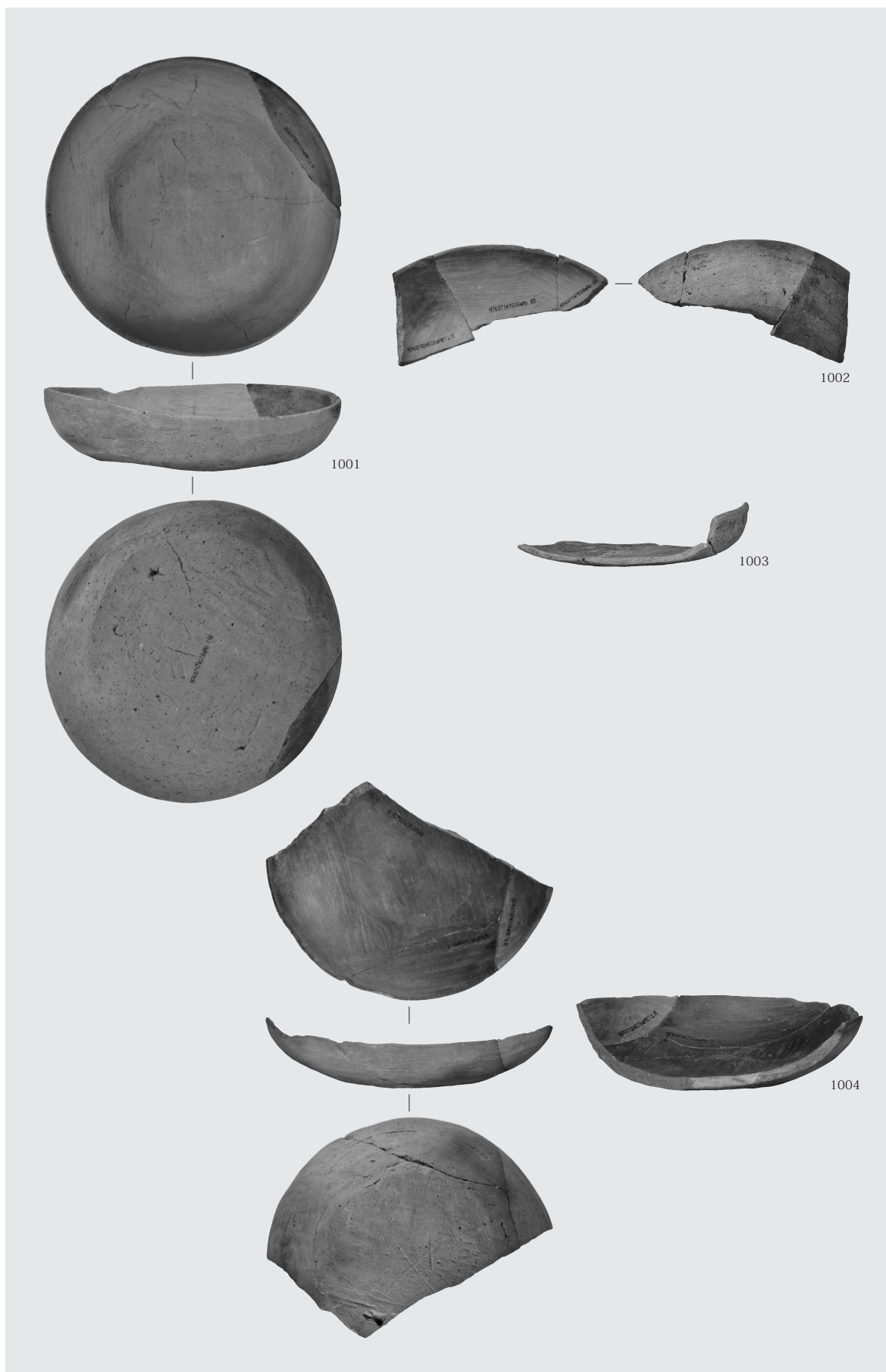
1. N 77 - S X 15 南北断面 (西より)



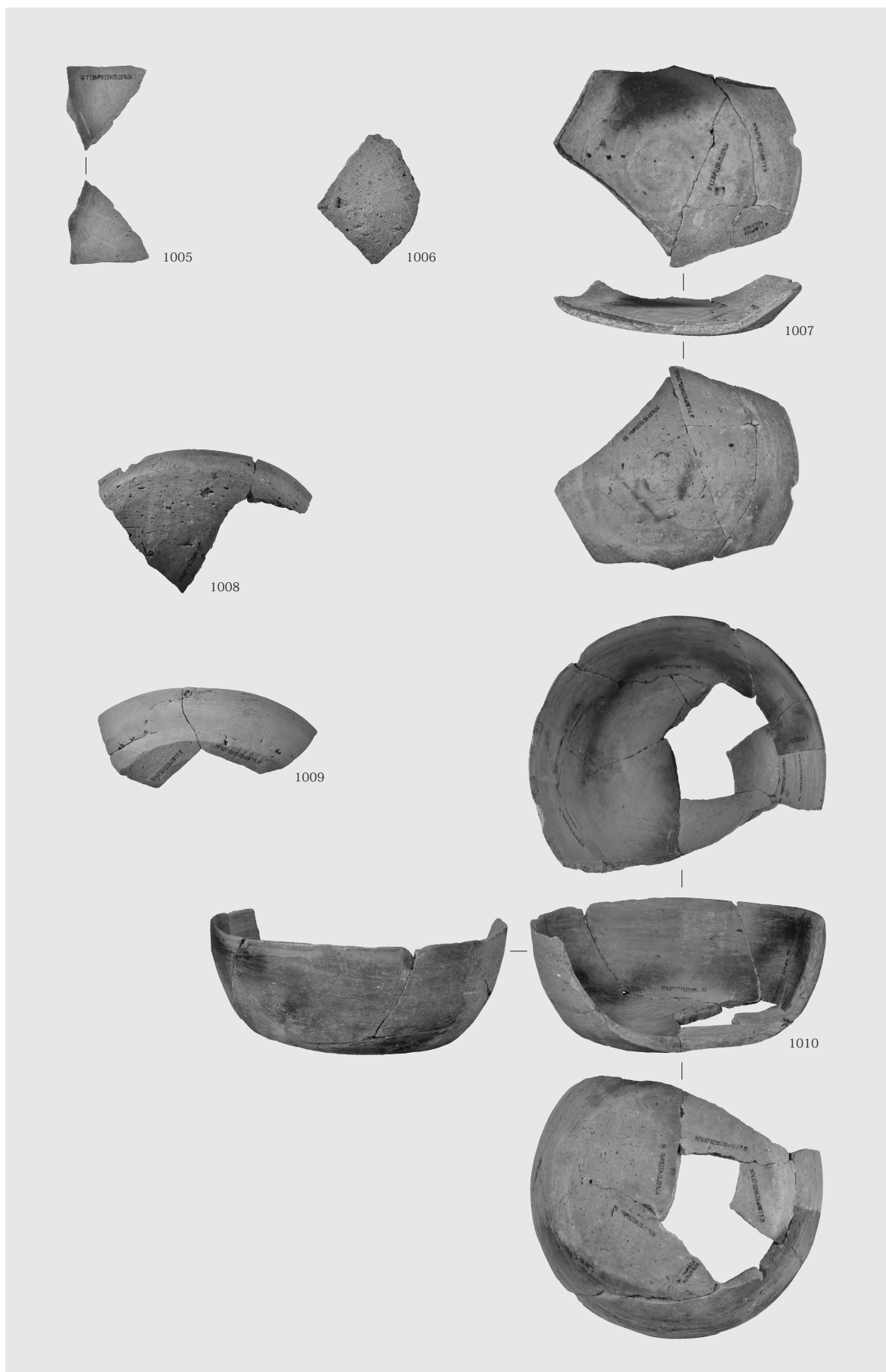
2. N 77 - S X 15 全景 (西より)



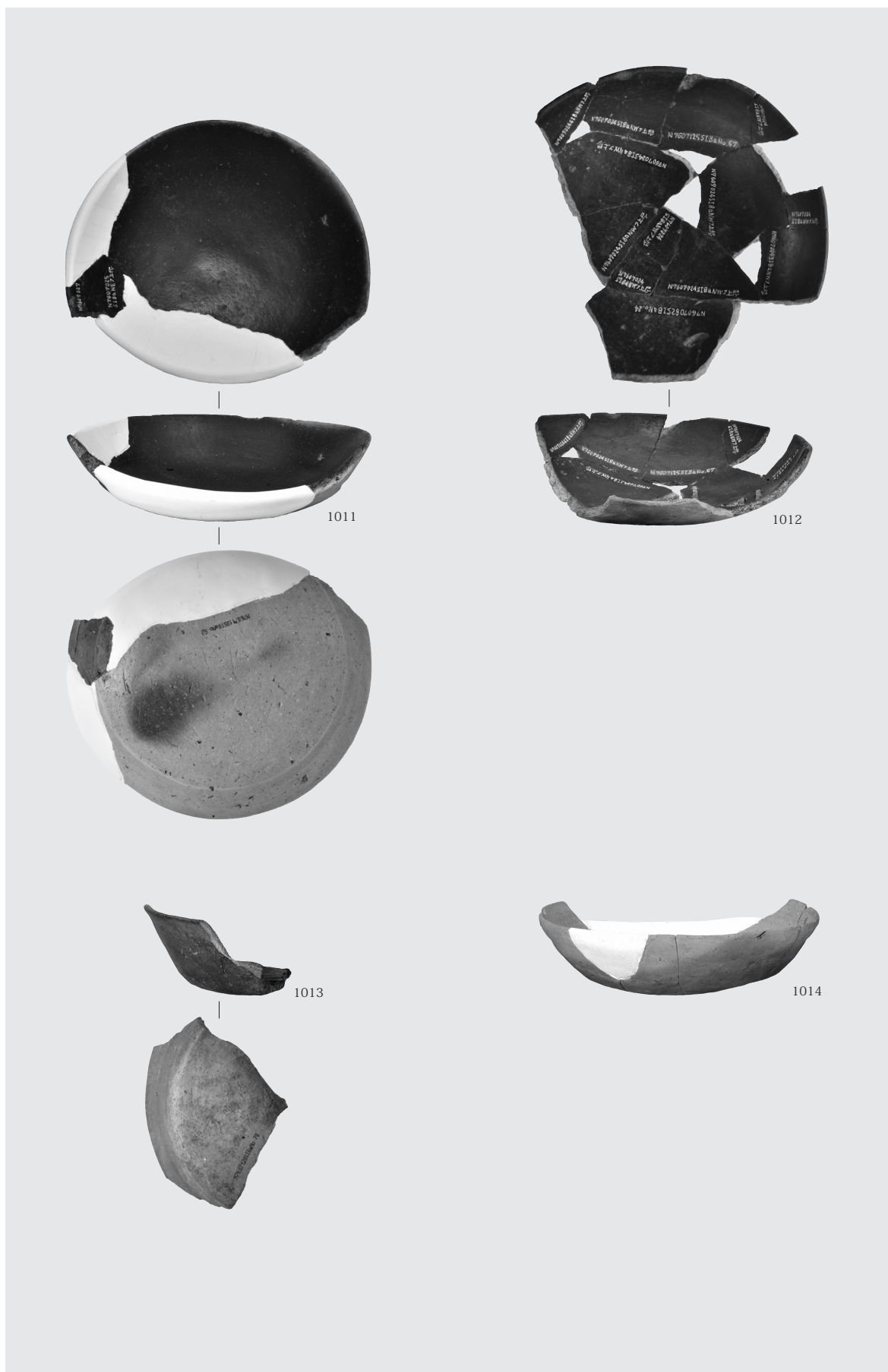
3. N 77 - S X 15 P 1 全景 (北より)



N 76 - S I 8 A (1001 ~ 1004)



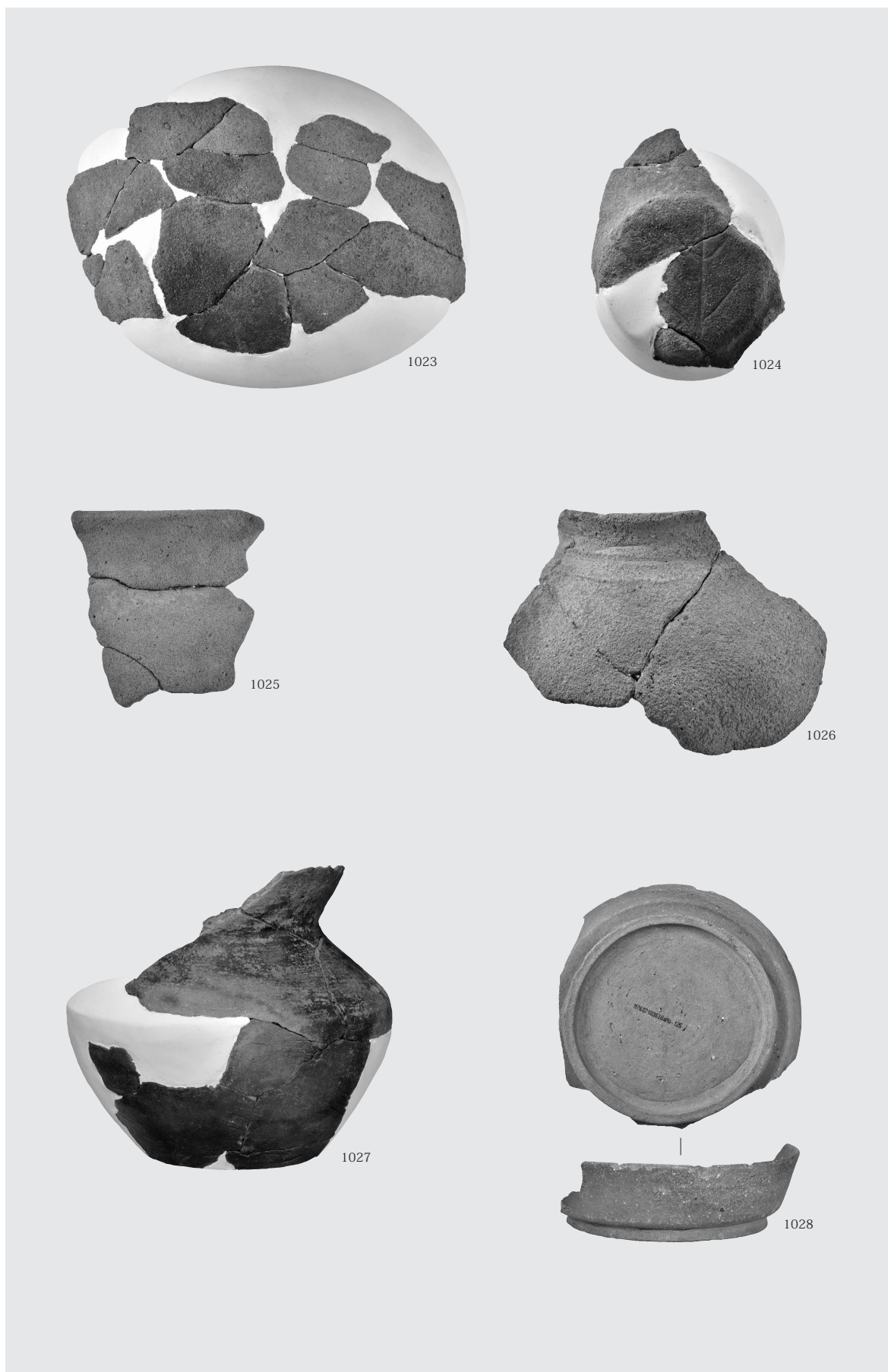
N 76 - S I 8 A (1005 ~ 1010)



N 76 - S I 8 A (1011 ~ 1014)



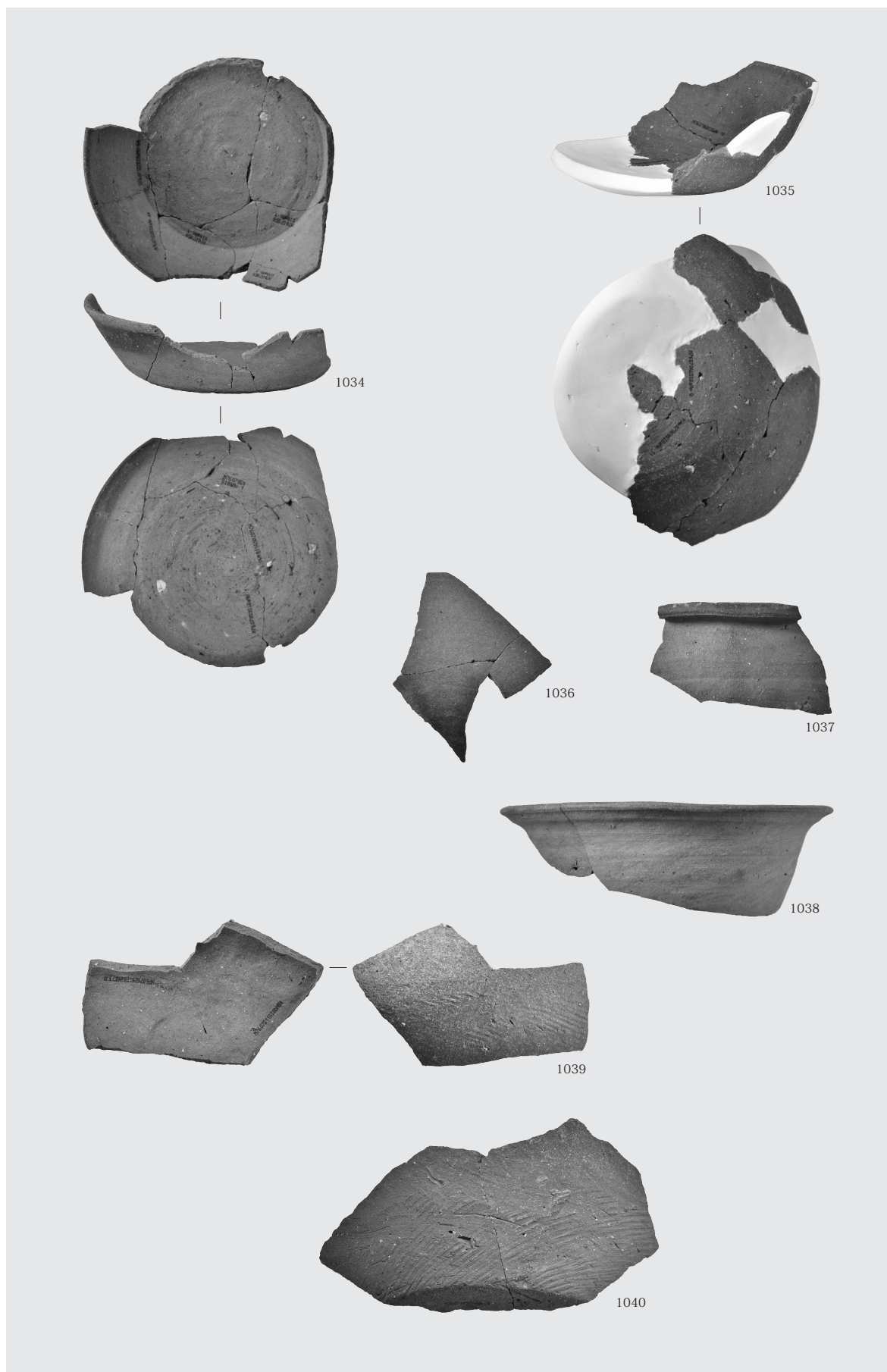
N 76 - S I 8 A (1015 ~ 1022)



N 76 - S I 8 A (1023 ~ 1028)



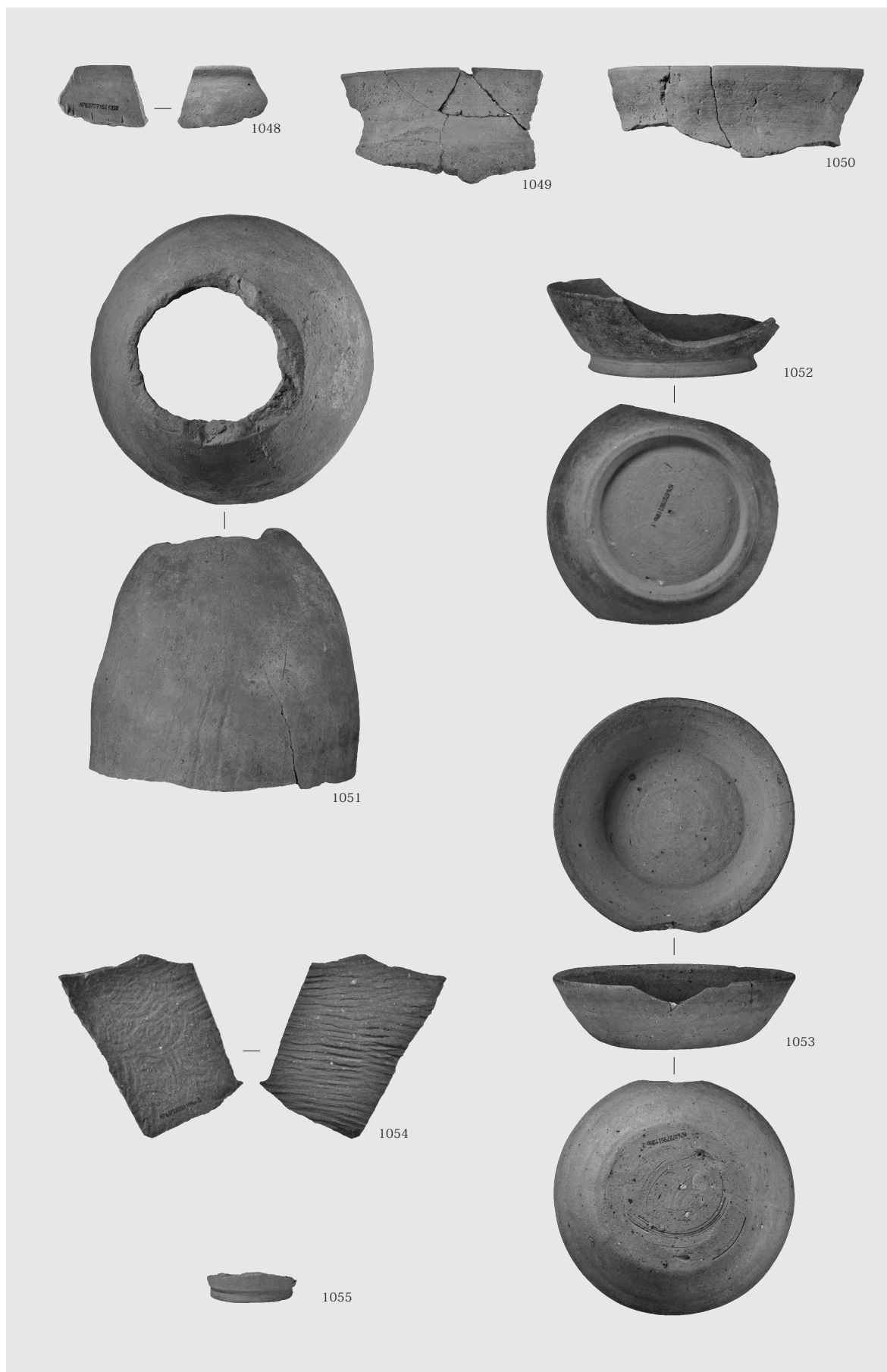
N 76 - S I 8 A (1029 ~ 1033)



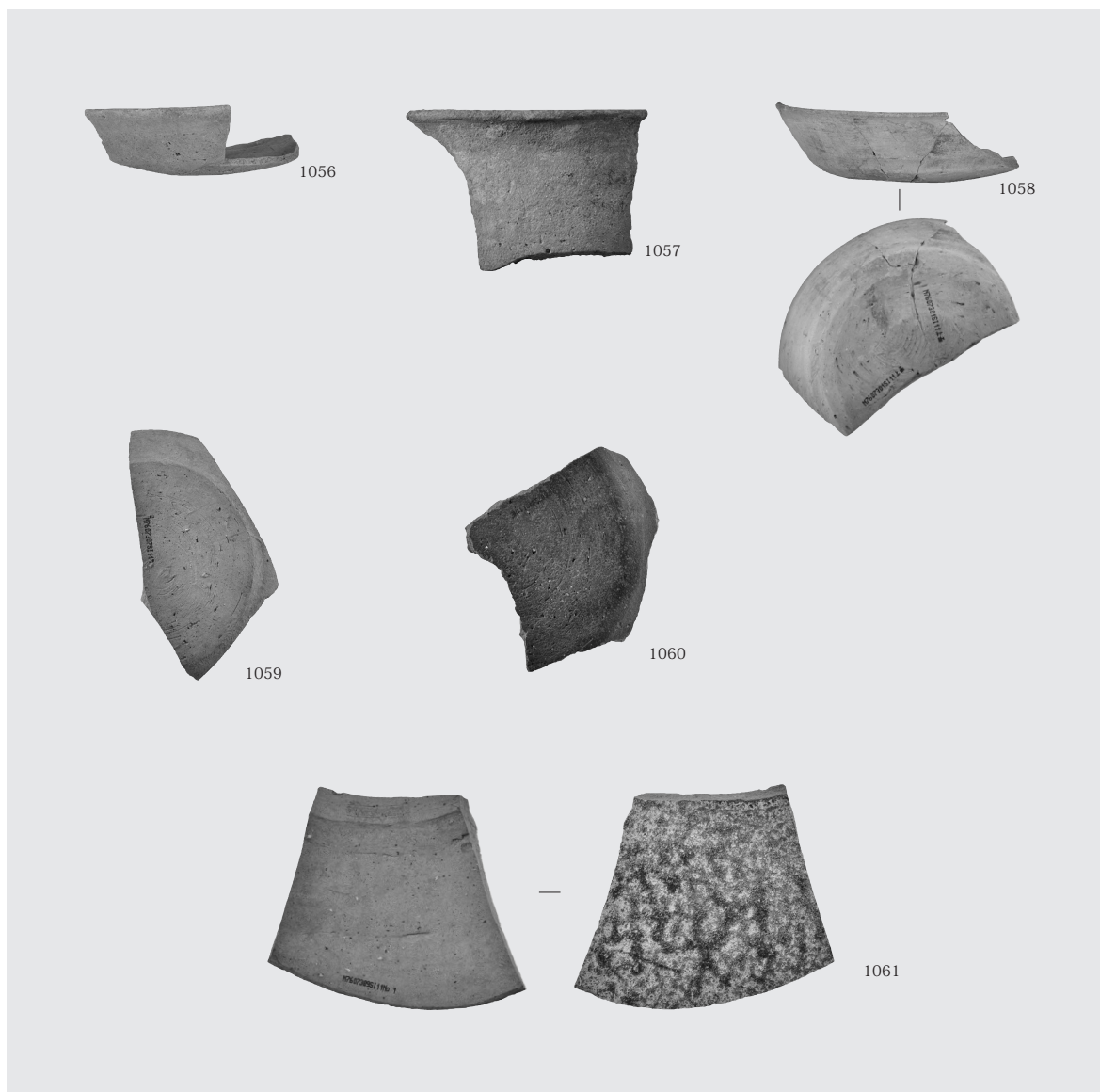
N 76 - S I 8 A (1034 ~ 1038) • S I 8 B (1039 • 1040)



N 76 - S I 9 (1041 ~ 1047)



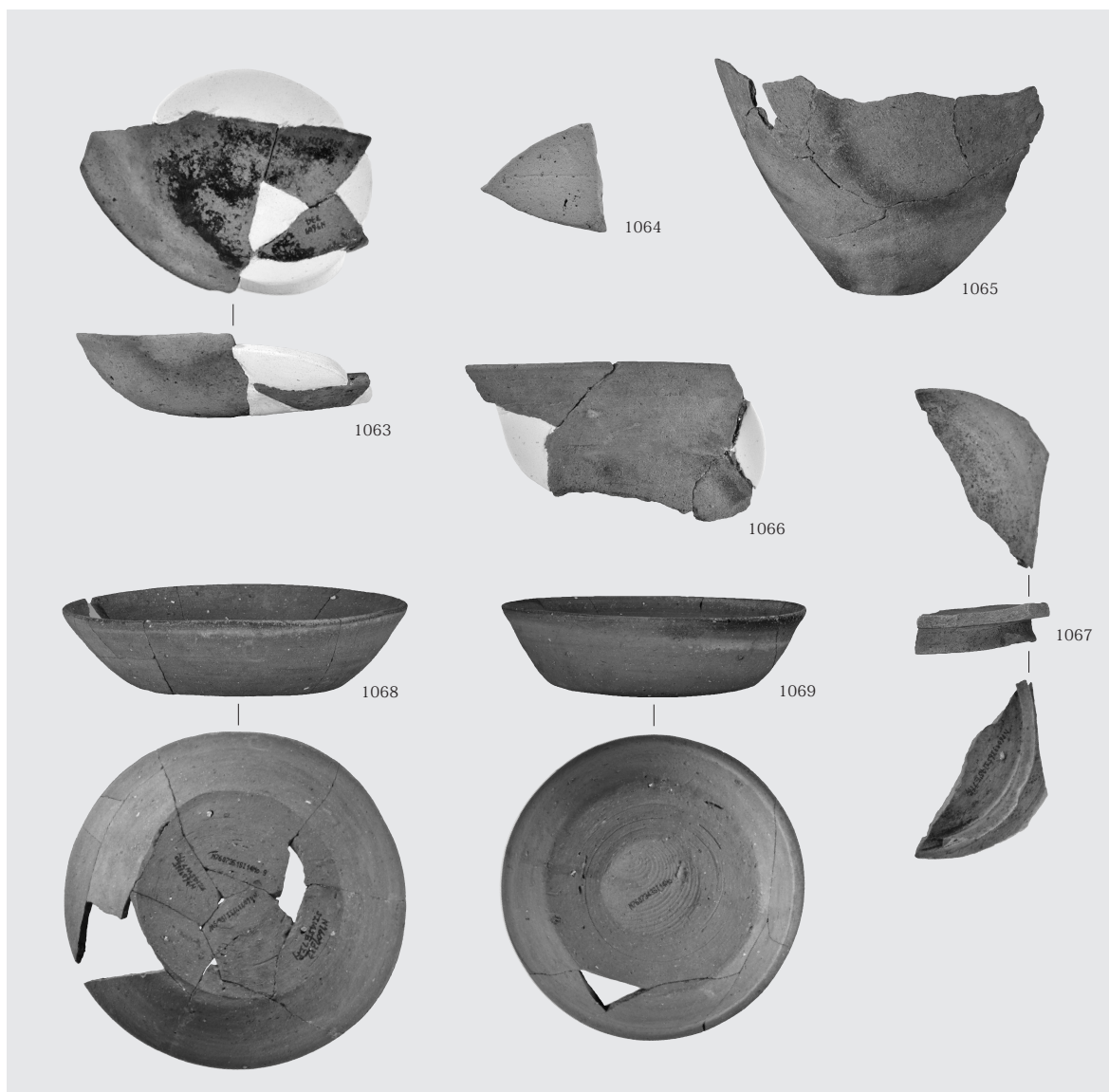
N 76 - S I 10 (1048 ~ 1055)



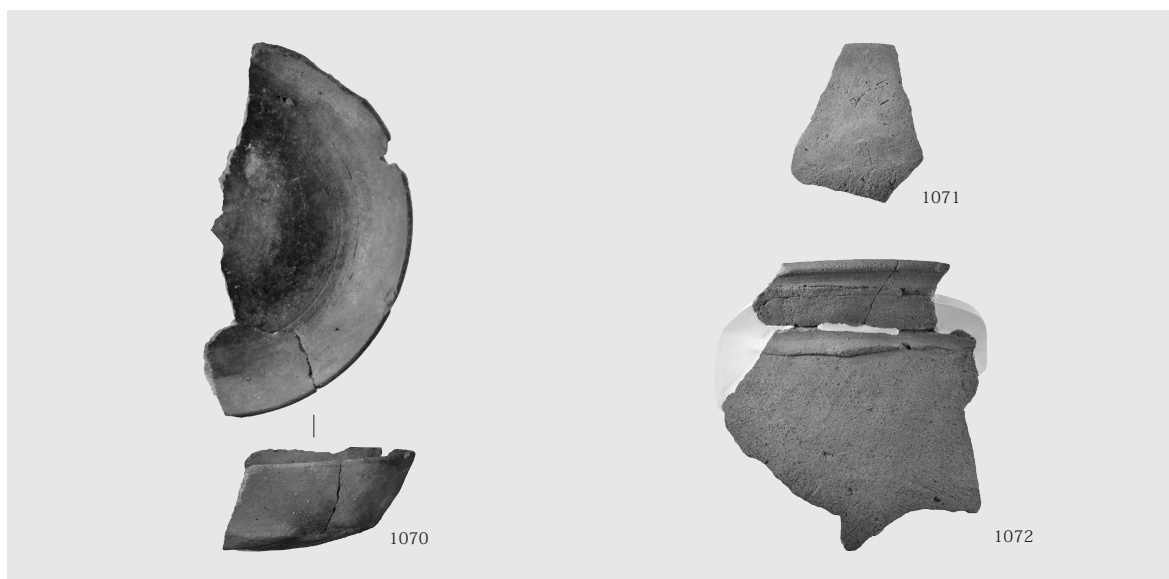
N 76 - S I 11 (1056 ~ 1061)



N 76 - S I 12 (1062)



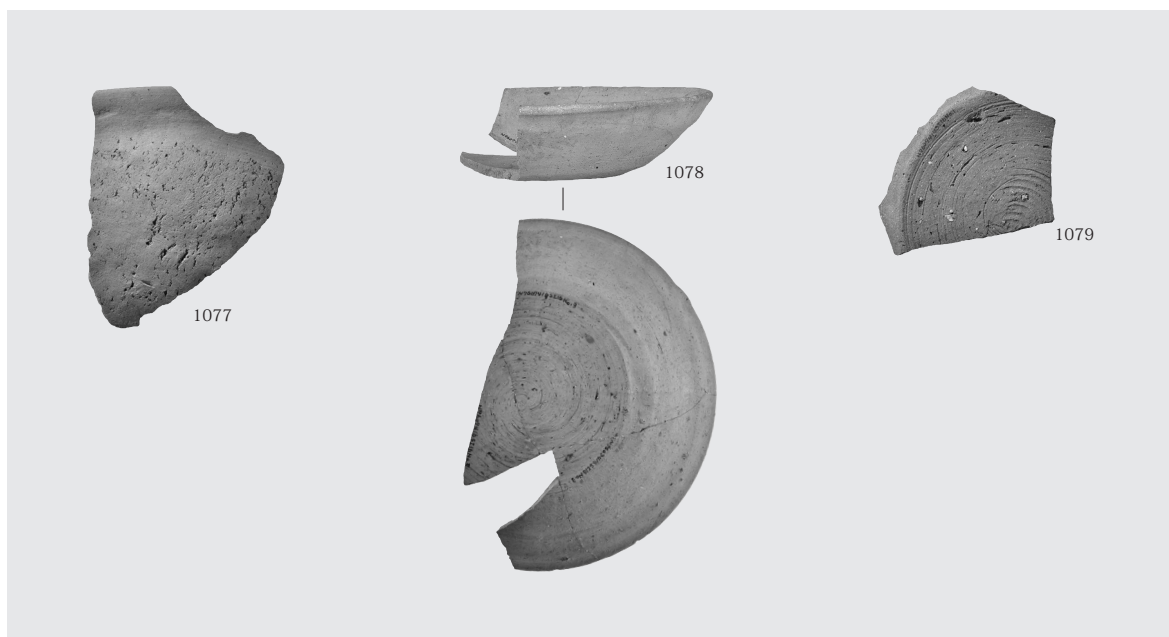
N 76 - S I 14 (1063 ~ 1069)



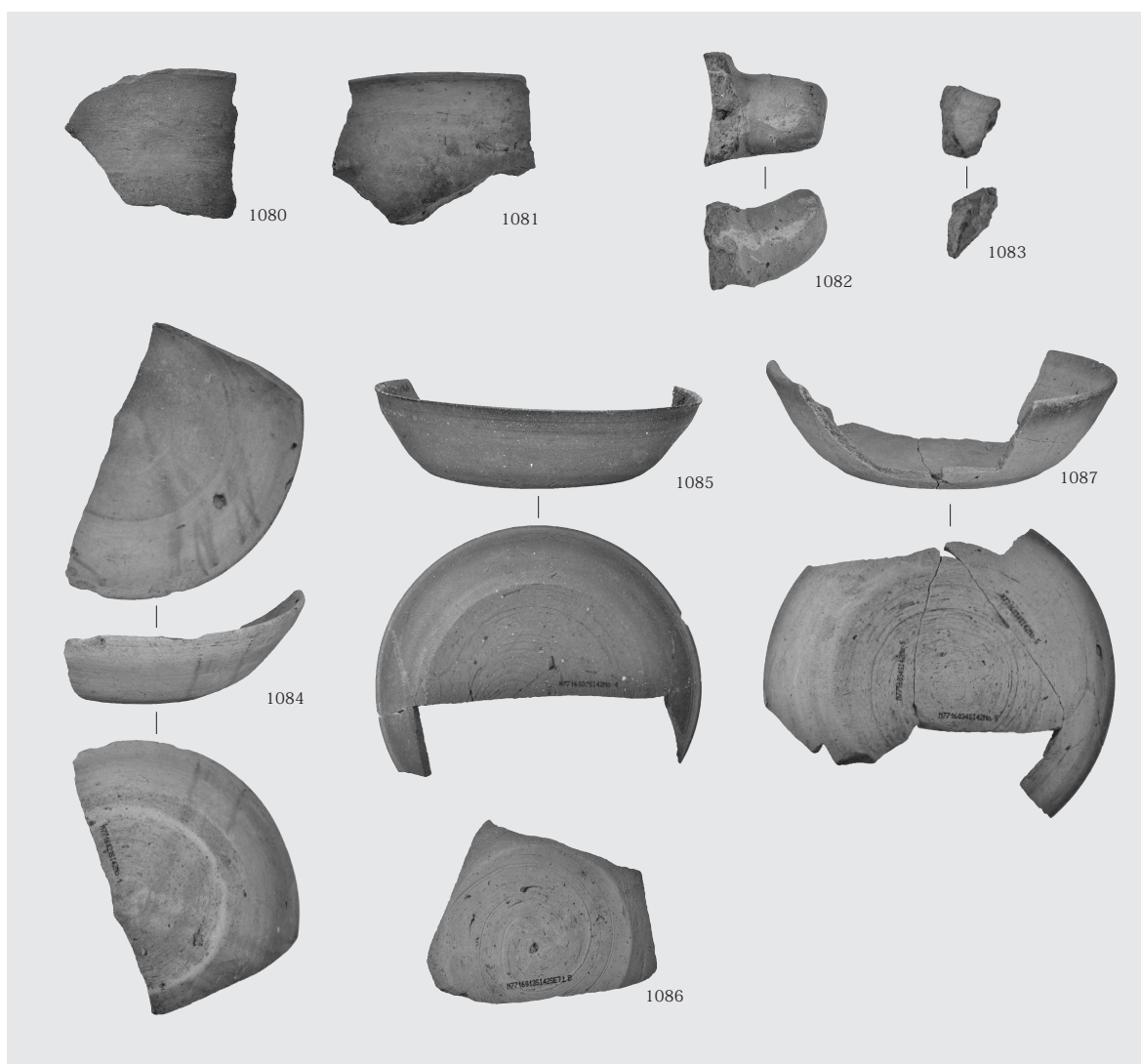
N 76 - S I 15 A (1070・1072)・S I 15 B (1071)



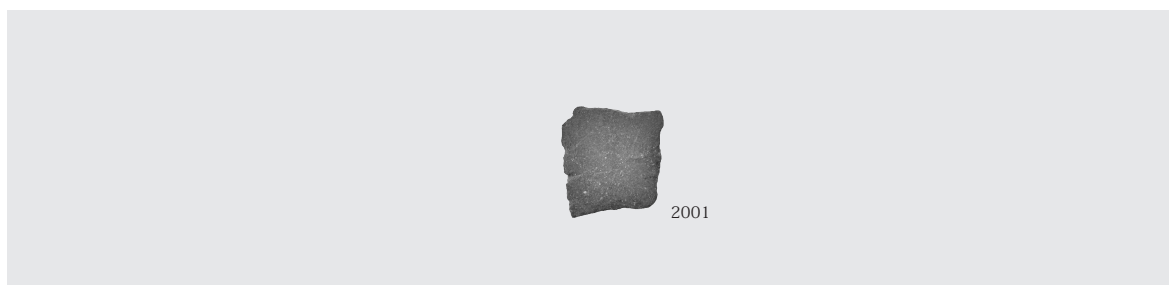
N 76 - S I 15 A (1073 ~ 1076)



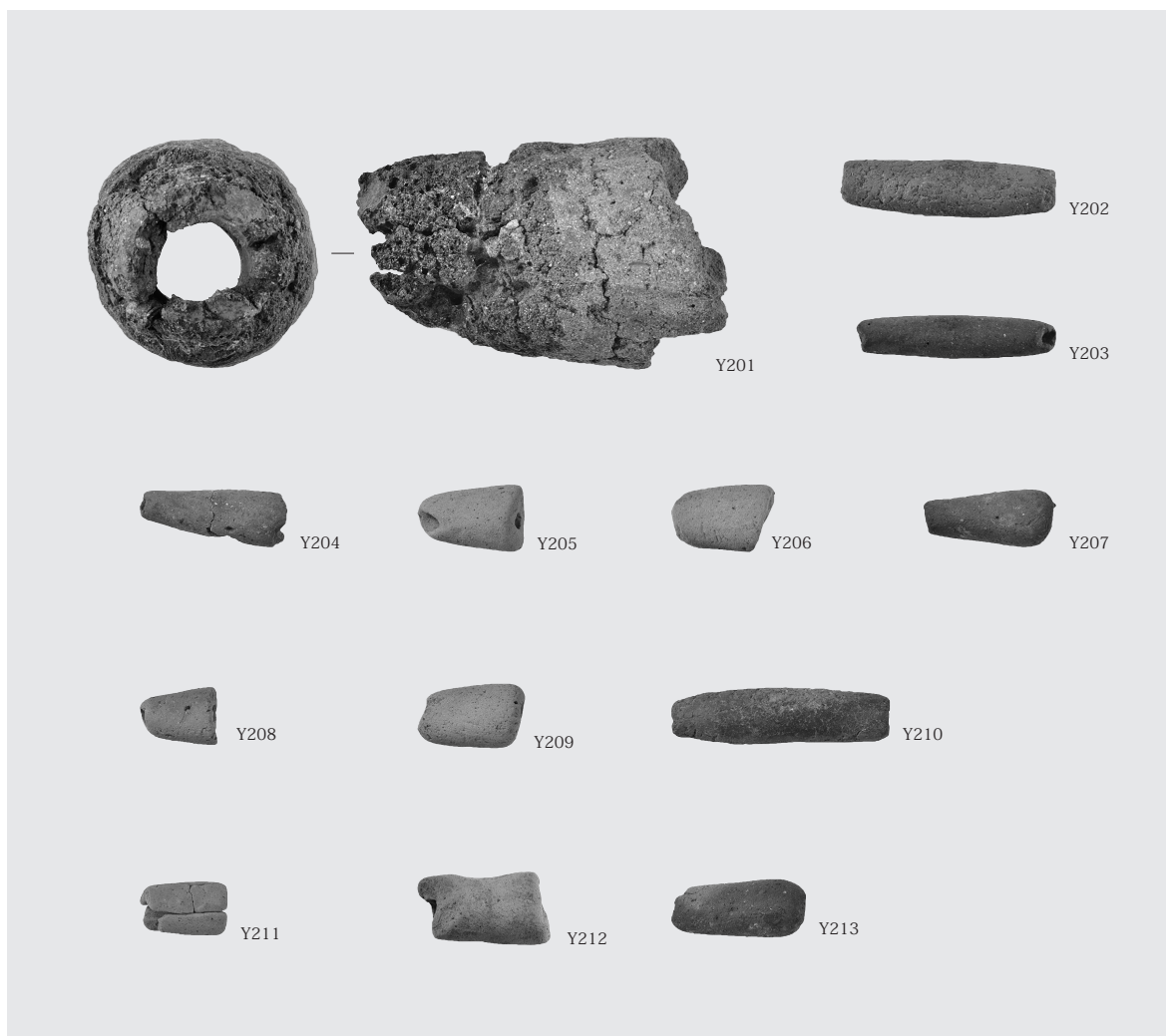
N 76 - S I 16 (1077 ~ 1079)



N 77 - S I 42 (1080 ~ 1087)



N 77 - S X 15 (2001)



N 76 - S I 8 A (Y201 ~ Y212), N 76 - S I 8 B (Y213)



N 76 - S I 9 (Y214 ~ Y216)



N 76 - S I 10 (Y217)



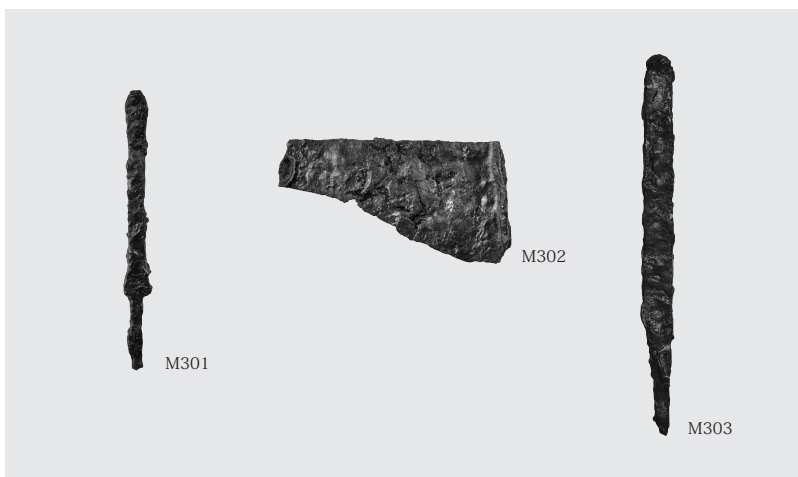
N 76 - S I 11 (Y218)



N 76 - S I 14 (Y219)



N 76 - S I 15 A (Y220)



N 76 - S I 8 A (M301 ~ M303)



N 76 - S I 10 (M304)



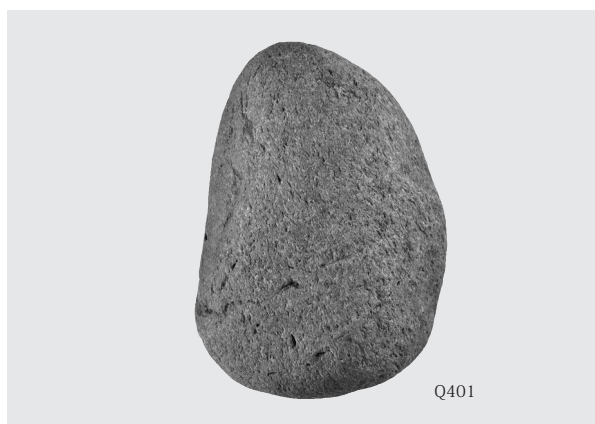
N 76 - S I 14 (M305)



N 76 - S I 15 B (M306)



N 77 - S I 42 (M307)



N 76 - S I 10 (Q401)



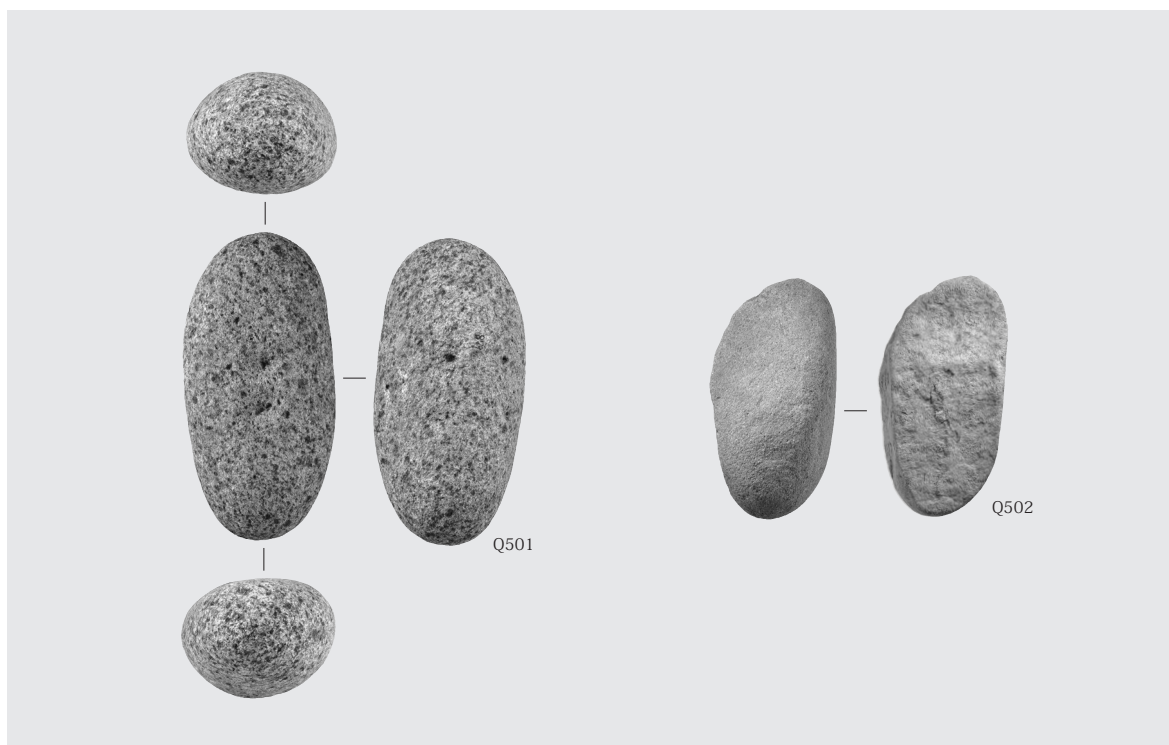
N 76 - S I 10 (Q402)



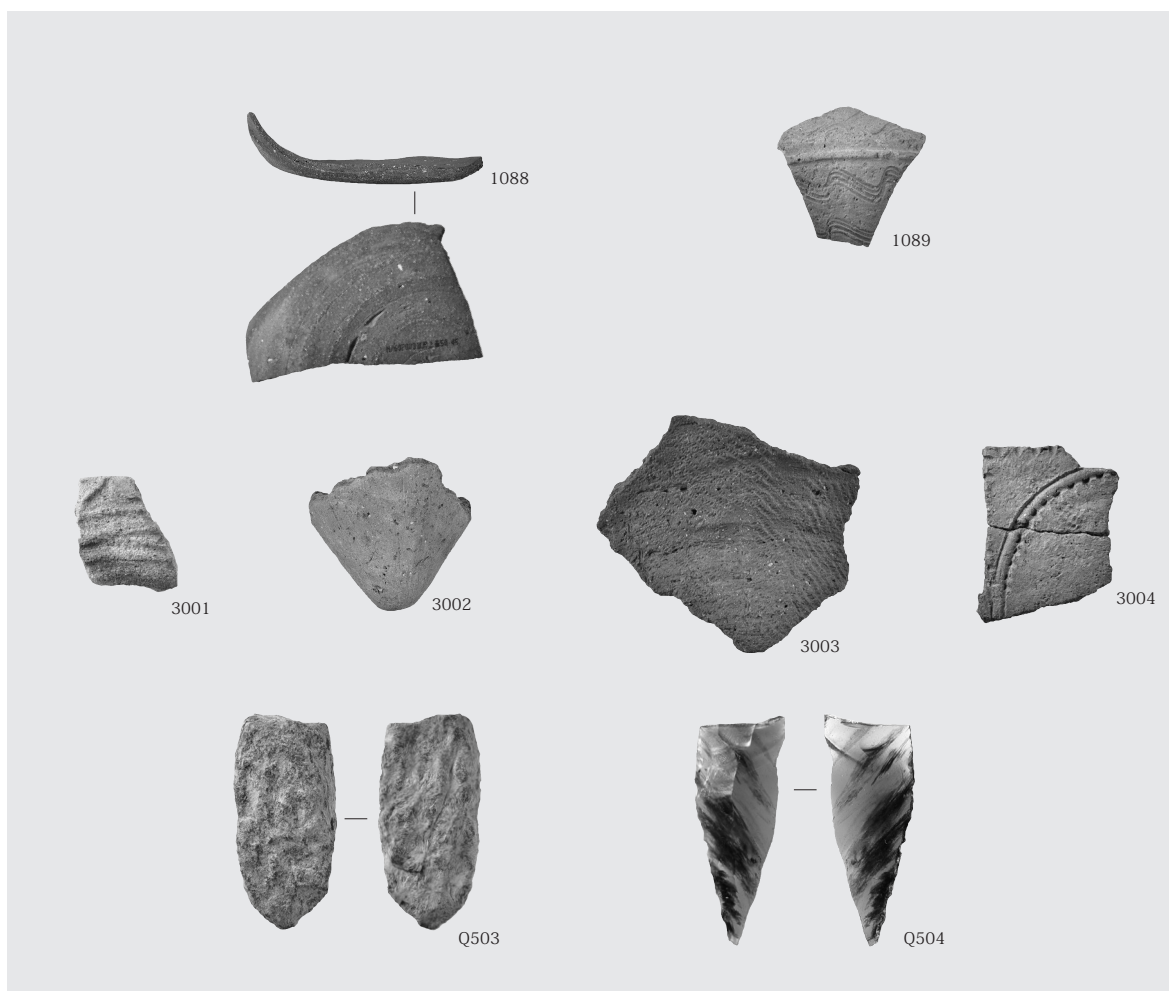
N 76 - S I 11 (Q403)



N 76 - S I 14 (Q404 • Q405)



N 76 S X 5 (Q501・Q502)



その他の出土遺物 (1088・1089・3001～3004・Q503・Q504)